

パブリック・コメントについて

・意見の件数 554件（延べ件数）

・意見の概要

①通学距離について

統合に伴い、通学距離が長くなることを懸念するといった意見がありました。また、この対応としてスクールバスの運行を希望する意見がありました。

②地域への影響について

地域から学校がなくなること、若者や子育て世帯の転出が加速し、一方で新たに転居してくる者がいなくなること、地域の衰退、過疎化の進行につながることを懸念するといった意見がありました。

③小規模校、少人数学級について

ひとりひとりの習熟度にあわせた学習指導や児童生徒へのきめ細やかな気配りが可能であること、子ども同士が大変仲が良いこと等から現状の小規模校・少人数学級の存続を希望する意見がありました。

一方で、少人数であるがゆえに一度人間関係が壊れた場合に修復が困難であることを指摘する意見もありました。

④障害や不登校児童生徒の受け入れについて

障害の有る子どもや大規模な学校に馴染めなかった児童生徒の受け入れ先としての小規模校の存在意義を強調するといった意見がありました。

一方で、他校区から不登校児童等を多数受け入れていることについて、本来の通学区域から通学する児童保護者からは疑問を呈する意見も寄せられました。

・その他

今回パブリック・コメントを募集したところ、意見を取りまとめられた地域（別紙1，2）や、SNSで意見の提出を呼びかけがなされたこともあり、短期間に非常に多数の意見が寄せられました。

令和3年11月5日

地域住民 各位

山田地域教育振興会
会長 小西 良進
山田地域自治振興会
会長 山田 憲彰

富山市立小中学校再編計画に関する意見書提出のお願い

拝啓

秋分の候、山田地域の皆様には、ますますのご清栄のことと存じます。

日頃から、教育振興活動並びに自治振興活動にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、皆様方もご存じのことと思いますが、富山市では小中学校の再編協議が行われてきており、先般10月15日には「再編計画の原案」が示されました。その内容につきましては新聞で報道されました通り、『山田地域から小中学校が無くなり、八尾の小中学校に再編統合する』といった内容になっております。

山田地域から八尾小中学校までの通学となると、一番遠いところで1時間30分もの時間がかかってしまいます。低学年の児童や高校受験生はもちろんのこと、父兄の負担も大きくなることが予想されます。

また、地域から小中学校が無くなると、地域間コミュニケーションも低下し、地域防災機能の低下や人口流出も始まり、過疎化がより一層深刻になると同時に、高齢者ばかりとなってしまう、地域の崩壊にも繋がりがねません。

山田地域に何としても小中学校を存続させたいと、教育振興会・自治振興会・保育所保護者会・小学校中学校PTA・同窓会のみなさんと一緒に、これまで「学校のあり方検討会」で議論を重ねてまいりましたが、大変残念でなりません。

今後も、山田地域に学校を残すべく活動を続けていきたいと考えておりますので、山田地域のみなさんにはご支援くださりますようお願いするとともに、まずは『富山市立小中学校再編原案に関する意見書』を多くの方に記載していただき、市教育委員会へ提出したいと考えておりますので、ご協力をお願い申し上げます。

敬具

記

内 容 ・別紙の様式に、富山市立小中学校再編原案に関する意見を記載していただき、総代へご提出ください。(A4 用紙であれば書式は自由です。)

・総代への提出期限は、令和3年11月10日(水)までをお願いします。

※住所・氏名を必ずご記入ください。(例-山田中村 姓だけでも可です。)

※富山市への提出期限が11月15日(月)となっていますので、急なお願いですが、ご協力願います。

(以下裏面をご参照ください。)

現状の山田の小中学校

小中一貫校……富山市に2校しかない小中一貫校。小学校と中学校が一つの建屋の中にあり、児童生徒同士の顔を合わせる機会が多く、職員室も小学校と中学校が同じルームに有り小中の連携の取れた教育の充実した学校。
運動会や学習発表会を合同で行っているなど親の負担も少ない。地域とのふれあい学習や体験学習も行っている。
コミュニティバスでの通学時間も短い。

小学校再編案①

八尾小学校と統合……八尾小と統合しても小規模校で市の目指す適正規模校にはなりません。しかも、新しい山田の学校から古い八尾の学校に通学することになります。
さらに、通学距離が遠くなり、山田地域の児童は全て遠距離通学となり、コミュニティバスで1時間30分もかかる児童が何人もいるようになります。保護者負担が大きくなります。冬期間の通学が問題となります。

小学校再編案②

八尾地域と山田のすべての小学校が統合し八尾地域統合中学校併設小学校
大規模校になります。通学距離が遠くなり、山田地域の児童は全て遠距離通学となり、コミュニティバスで1時間30分もかかる児童が何人もいるようになります。
保護者負担が大きくなります。冬期間の通学が問題となります。

中学校再編案①

八尾地域統合中学校と統合
八尾と山田の中学校が全て八尾地域統合中学校に通学することになります。山田中学生は全て遠距離通学となり、コミュニティバスで1時間30分もかかる生徒が何人もいるようになります。高校受験生にとっては大変苦痛になるかと思えます。
部活にも影響を及ぼします。保護者負担が大きくなります。冬期間の通学が問題となります。

統合による問題点(一部を記載します。)

- ① 学校がなくなる。通学距離が遠くなり時間がかかるようになる。
- ② 地域間コミュニケーションが無くなる。地域防災機能の低下。
- ③ 人口流出が進み、より一層過疎化になる。地域の崩壊。
- ④ 保護者の負担が大きくなることが予想されます。

(世帯配布)

令和3年11月5日

細入地域在住の皆様

細入自治会連合会

会長 江 尻 裕 亮

富山市立小中学校再編計画に関する意見提出のお願い（至急）

細入地域の皆様には、ご健勝のことと存じます。日頃より、当会の運営にご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、富山市では小中学校の再編協議が行われており、10月15日に再編計画の原案が示されました。これによると神通峡地域から小・中学校が無くなり、大沢野小学校、大沢野中学校に再編統合する案となっております。

児童・生徒は、適正規模とされる学校へ行くことはできますが、様々な心配事があります。

先ず、小・中学校がなくなると、地域間コミュニケーションも少なくなり、同時にさらなる人口流出が進み、高齢化が著しくなるほか、生活環境の悪化など地域の崩壊にもつながりかねません。

また、この神通峡地域は南北に長く、最も南側である東猪谷、蟹寺からの距離は、大沢野小まで約16km、大沢野中まで約18km、スクールバスを利用しても片道約1時間を要すると考えられます。低学年のお子様や高校受験生にとっては大変な苦痛ではないかと思われるほか、冬季間を含めて、保護者の負担も大きくなると心配をしています。

細入自治会連合会としては、地域の衰退はどうしても避けねばならないと考えており、今後も関係する団体と協力し、神通峡地域に学校を残すべく、活動を続けていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

つきましては、この富山市の小中学校再編計画に対する、ご意見（パブリックコメント）をお願いいたします。回答期限まであまり日数がありませんが、なにとぞ、よろしくお願いします。

記

内 容 小中学校再編計画に対するご意見（パブリックコメント）
別紙の用紙にご意見を記載し、提出して下さい。

回答期限 11月11日（木） 【市当局への提出期限がある為、期限厳守です。】

回収方法 地区役員（自治会長）まで届けてください。（地区でまとめてもらいます）

（以下、裏面を参照ください。）

(富山市教育委員会が策定した基本方針)

望ましい学級数	小学校 12～18 学級	中学校 9～18 学級
望ましい学級規模	1 学級少なくとも 21 人以上	
望ましい通学距離・時間	徒歩 2～3km、自電車 6km、スクールバス・公共交通機関の場合は、おおむね 1 時間以内	
早期に適正化を検討する学校	複式学級が存在する学校 全学年が単学級である学校	

(小・中学校再編の原案)

神通碧小学校	⇒	大沢野小学校へ統合
楡原中学校	⇒	大沢野中学校へ統合

(現在の神通碧小学校・楡原中学校)

小学校、中学校が併設されており、「一人一人を大切にしたいきめ細かな指導」、「自然豊かな環境を生かした体験学習」、「小中連携による様々な行事」が大きな特徴。県内に 11 校しかない「ユネスコスクール」の活動も特筆される。また、「地域に根差した学校」として、様々な活動を通じて住民の方々の協力をいただいている。

(地域の衰退)

学校の消滅により、さらなる人口流出が進み、地域の衰退が一気に加速する。生活環境の悪化や耕作放棄地の拡大など、集落の維持・管理さえも難しくなる可能性がある。

(神通碧小学校の再編)

大沢野小に再編統合。市の目指す適正規模の小学校に通学することになります。
一方で、スクールバスを導入しても、通学には往復 2 時間を要する児童がいます。
特に低学年のお子さんには、大変な苦痛となるばかりか、保護者のバス乗降場所での送り迎えなども大きな負担となります。特に冬季間にはバスが遅れることの懸念があることから、全体的に通学の安全・安心に心配があります。
また、小規模校ならではの「きめ細やかな指導」は難しくなります。

(楡原中学校の再編)

大沢野中に再編統合。市の目指す適正規模の中学校に通学することになります。
部活動では、団体競技などで部員数が充足されると見込まれます。
一方で、スクールバスを導入しても、通学には往復 2 時間を要する生徒がいます。
受験生は、勉強時間の確保が気になりとなります。特に冬季間にはバスが遅れることの懸念があることから、全体的に通学の安全・安心に心配があります。
また、小規模校ならではの「きめ細やかな指導」は難しくなります。

「富山市立小・中学校の再編原案」に対するパブリック・コメント結果

意見数（延べ件数）

554 件

（意見の内訳）

地域の指定がない意見	195 件	1 P
富山中央地域に対する意見	4 件	30 P
富山北部地域に対する意見	9 件	32 P
和合地域に対する意見	5 件	34 P
呉羽地域に対する意見	5 件	36 P
富山西部地域に対する意見	4 件	40 P
富山東部地域に対する意見	8 件	41 P
大沢野・細入地域に対する意見	152 件	44 P
大山地域に対する意見	5 件	82 P
八尾・山田地域に対する意見	171 件	84 P
婦中地域に対する意見	7 件	121 P

565 件 （重複意見含む）

寄せられた意見は、意見者等を特定できる情報及び他校を中傷するような表現を除き、原文のまま掲載しています。

パブリック・コメント 指定なし

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
1	10/16	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	学校統合に強く反対します。もっと子供のこと、地域のことを考えていただきたいです。そして、集約化するのではなく教師の方々がゆとりをもち、子供と関わることをできるようにしてください。	指定なし
2	10/16	メール	市内に在住、又は通勤・通学している個人	学校再編への一意見 （児童精神科医として） 小規模校は、児童の力関係が6年間、または9年間変わりにくい。一桁以下の同性との人間関係で6年間、または9年間過ごす子たちも存在する。ある子にとっては、信じられないような苦しい環境である。自分を抑えて何年も振る舞うことを強いられ、情緒発達に多大な悪影響が及ぼされる。いじめ、荒れたクラス、高圧的な児童集団などの問題があっても、クラス替えで対応することが出来ない。そのようなケースを何例も目にしてきた。 クラス替えでシャッフルできれば問題は好転するのに、小規模校ではそれが出来ず、問題が遷延していく。小規模校での狭い固まった逃げ場のない対人関係の中で育つことは、あきらかに児童の情緒発達に悪影響を及ぼすと思われる。いろいろなタイプの子どもたちの中で過ごすこと、自分の心の発達過程で、その時々にはマッチする対人関係を形成すること、そしてその環境が用意されていることが、心の成長に必須である。 地域のつながりといった老い先短い年寄りのエゴなどよりも、行政は、これからこの国を担う将来のある子どもたちのために、何が子どもたちの心の成長に重要かを、第一に考えてほしい。担任が決まらないとかいう信じられない状況も、学校再編により解消（軽減）出来ると思われる。教師を探すよりも、スクールバスの運転手を探す方が簡単でコストもかからないはず。新校舎など待たずに、最初は既存の校舎利用でもいいので、一刻も早く（来年でも再来年でも）、子どもたちのために、再編を進めてほしい。 児童精神科医として、また富山市で子育てするものとして、一意見を述べさせていただきます。	指定なし
3	10/18	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	通学時間・距離ですが、小学校1年生から中学校3年生まで、一律基準は、いかがなものか？再編自体は、理解しましたが、通学手段など小学校低学年の過度な運動量に考慮して下さい。スクールバスなど御配慮されるのであれば、小学校・中学校の併設が、長い目でもベストと思います。	指定なし
4	10/20	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模校であるという理由で地域性を鑑みない小学校統廃合に反対します。家の周りにいくつも空き家がありますが、それらに対して行政の対応を求めても全く動いてくれず、それらの空き家対策は地域ではどうすることもできず、結果、景観も損ない、新しく家を建てる土地も探せないなどで廃れてしまう地域に対して、小学校まで取り上げるのは、地域に居住する人も含めて、行政がその地域を殺すのと同じだと思います。小学校が無くなると、その地域で子供を産む人、子育てする人がいなくなるのは確実です。その地域の将来がなくなってしまう。将来がなくなる地域にも、今現在人は住んでおり、この先、何十年も生産性は乏しいが、住民サービスは必要な地域がいくつも残り、市の財政的にも芳しくないのでは？と思います。 三大都市圏のどことも同じくらいの距離の富山県の立地を生かして、都市部からのUターン、Jターンなどの誘致を行なっているのは知っていますが、全然結果が伴わないのは、まさしく今回統廃合の対象となっている中山間地や海辺の、都会には無い好環境の地域に対しての魅力を創造してこなかった行政の怠慢ゆえに、富山県及び県内各市町の人口減が止められないのではないのでしょうか？ 富山市は金沢市みたいに世界から観光客を呼べる観光都市にははなれませんが、住環境は間違いなく全国でも有数だと思います。水が良く、野菜も魚も肉も美味しいですし、災害も少ないです。前市長が進めたコンパクトな街づくりの結果、公共交通機関も発達していますし、車を使用する場合でも渋滞もあまり無いですし、新幹線と空路で東京と繋がっているので、首都圏へのアクセスも良好です。 このように、富山は非常に住み良い都市であり、地域毎に伝統芸能や祭りなど、魅力に溢れています。小学校統廃合はそれら魅力を行政が摘んでしまうことになってしまいます。市として、市内の地域を、このように終わらせてしまっても良いのですか？終わらせると二度と復活はありません。 地域を、「無くす」ではなく、「育てる」ようにお願いします。	指定なし

パブリック・コメント 指定なし

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
5	10/29	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	子供の数が少ないけど、先生の日も届くから子供にとってはいいと思う。学校中の子供がみんな友達。大きな学校はそうはいかない。学校選択制の中学校は学校のPRもあってもいいのでは？子供が伸び伸び学校生活できるのが一番と思います。	指定なし
6	10/31	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	学校統合に関しては理解します。通学方法や通学路に関しては、よく検討していただきたいです。直線距離で3kmを基準に考えているようですが。道のりで2km位が妥当と考えます。	指定なし
7	10/31	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	学校統合によって児童数が増えれば、不登校やひきこもり問題がさらに深刻化するもの考える。感覚過敏のある子どもにとっては密な空間やざわめきは辛く、教室に入りづらい一因となっている。不登校の子どもが年々増え、個別な配慮を必要としている子どもがクラスに何人もいることを鑑みると、アメリカのように1クラス20人程度で配慮の行き届きやすい人数編成を実現すべきではないだろうか。そうすることが、現在問題視されている教員の負担軽減にも繋がる。	指定なし

パブリック・コメント 指定なし

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
8	11/4	メール	市内に在住、又は通勤・通学している個人	1 児童生徒の成長のため、良好な教育環境を提供するため、小規模の学校を統合し、適正規模とすることは必要であり、再編を否定するものではない。 2 複式授業が行われる少人数の学習集団では子供同士の切磋琢磨の機会も少なく、教育効果を得にくく、統合が必要な場合が多い。統合の場合は、安全な通学手段の確保、教育水準等の保障等が必要である。 3 学校の統合により、長距離の通学が強いられると、居住地域で過ごす時間が限られ、子供の居住地・ふるさとに対する知識や興味・関心が高まりにくく、将来地域を支えることが期待される人材を育成することが困難になる虞がある。統合した学校においては、複数の地域から通学する児童を対象に、故郷に対する愛着の心を育て、地域への認識を深めるふるさと教育を展開することは大変難しいと思われる。結果として、地域への関心を持つ住民が少なくなり、地域コミュニティの活力が失われる心配が増す。事例として、祭礼などの地域の伝統行事の伝承などが、難しくなる。また、災害を回避する知恵の伝承にも差しさわりがあることなどである。このため、地域コミュニティにかかわる問題もあり、教育委員会事務局とともに、市長部局の担当も参画し、学校の再編とともに地域の振興を検討すべきである。地域コミュニティ、住民自治に関する問題も大きく、居住地域を超えた学校の統合は慎重に検討することを希望する。 4 小学校については、2～3学級が適正規模とされているが、無理にすべての学校をその規模にすることが「適正」であるとは言えないのではないか。旧大沢野町と旧細入村の学校の統合などの、地域横断の統合が典型であるが、長距離の通学が必要な案については、「統合ありき」でなく、小規模のままで、児童生徒へ良好な教育を提供できる方策を模索すべきである。過疎地は切り捨てられるように感じてしまう。小規模の学校で、これまで以上の効果をあげることができる、教育方法を開発すべきである。遠隔授業、他の学校との合同授業、実物に触れる機会を得る体験授業など。 5 統合後の学校の予想学級数が、再編先の学級数を上回る。つまり、統合校の学級数が再編先学校の教室数では不足する組合せがあげられている。この場合、教室の増築などが必要となる。このような増築が実際に行われるのか、増築の時期はいつになるのか、統合はいつになるのかなどが明確でない。不明確のまま、統合するという結論を導き出す姿勢を感じてしまう。 6 「適正規模」の学校は、ある範囲の学級数を持つ学校である。その範囲を超える「大規模校」は適正でないことになる。大規模に対する対応は考えなくてよいのか。 7 全体として、「統合ありき」で検討を進める姿勢を感じる。再編原案の記述には、分かりにくく説明してほしい部分が多い。「原案」という語が用いられており、この案のうちから、再編統合が実施されると感じてしまう。再編先学校の周辺地域状況が示されているが、意味がよく分からない。再編対象の学校周辺の地域が、居住するのに不適であると言っているようにも感じられなくもない。 8 学校再編の考え方をまとめるに際し、地域住民、保護者等の意見を十分に聞いてもらいたかった。教育委員会としては、アンケートを実施し、地域の意見は聴取したと考えているようにうかがえる。だが、「子供たちが十分に切磋琢磨できない小規模の学校は統合すべきであるか。」と問えば、多くの人は、一般論・総論として、「統合は賛成である」と回答すると思われる。一方、「小規模の学校同士を、旧市町村の境界を越えて統合させるのに賛成か。」また、「3キロメートルを超える通学となる統合は賛成か。」というように、個別の具体的事例として問えば、多くの人にあっては、即座に「賛成」と答えるのには躊躇するのではないだろうか。子供たちにとって、また地域にとって小規模校をどうすればよいかは、教育委員会だけでなく、地域の住民もよく考え納得することが重要であるとする。「手順に従い粛々と統合に向けて作業を進めます。」といった説明は、血の通った人の言葉とは受け取られず、反発を招く。地域の考えをよく聞き、相談していくこと姿勢であることを理解してもらうことが大切である。 令和3年10月28日	指定なし

パブリック・コメント 指定なし

[illegible]

パブリック・コメント 指定なし

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
11	11/11	メール	市内に在住、又は通勤・通学している個人	富山市教育委員会事務局 学校再編推進課 ご担当様 表題の件について意見具申いたします。次の理由により、当方は小中学校の再編に反対いたします。 1.「適正規模」について 小中学校の再編、つまりは統廃合の根拠として「適正規模」とありますが、そもそも「適正規模」とは何でしょうか。法の規定では、1学級あたり40人とか35人とか言われていますが、現場を預かる教員としては、1人でも少ない方がよいのは明かです。理想の教師像として今なお語り継がれる壺井栄の小説「二十四の瞳」は児童数12人だからこそ成立する物語です。70や80もの瞳を相手に理想の教育など絶対不可能です。統廃合推進派の皆さんに伺います。あなた方に40人の子どもがいるとしたら、全員等しく目をかけて、全員まともに育てることが出来ますか。児童生徒数が少なくて生じる問題もありましょうが、児童生徒数が多すぎて息が詰まる日々を送っている子どもたちがいるのも事実です。そういう子たちを学区を越えて小規模校で受け入れる、という手段も採り得るのではないのでしょうか。 2.部活動について 人数が少ないと部活動が成り立たないとの意見もあるようですが、学校は学びの場であり、部活動は生徒個人個人の任意参加による課外活動に過ぎません。スポーツや文化活動をしたいのであれば、地域のチームやサークルなどに加入して、運動施設や文化会館など学校以外の施設で、教員ではなく経験や資格等を持った地域住民指導の下に行えばよいのです。教員の過重労働軽減が叫ばれる中、学校部活動を直ちに、根本から見直さなければいけません。 3.通学距離増大にかかる諸問題 統廃合により通学距離が伸びれば、登下校中に事故や事件に巻き込まれるリスクがそれだけ大きくなります。特に、連れ去りやわいせつ目的事案等のほとんどは登下校中に起きており看過できません。今冬のような豪雪時には歩道が雪で埋まり、危険極まりない車道を延々と歩かなければなりません。市は豪雪時の通学路確保を保証されるのでしょうか。歩道除雪をくまなく実施されるのでしょうか。 スクールバスの運行も経費がかかり現実的とは言えません。保護者による送迎についても、学校周辺への迷惑駐車が問題となります。通学距離の増大は、それだけ時間がかかり、また、体力も使うため疲労による授業中の集中力低下、自宅学習時間の短縮化を招き、結果として学力の低下につながります。放課後に友達と遊ぶ時間が少なくなってしまうのは、特に小学生にあっては致命的であり、その後の人格形成や人間関係構築に支障が出るのは避けようがありません。 4.防災拠点の喪失 学校統廃合により校舎がなくなる＝地域住民の避難所がなくなる、ということです。最近では1つの自治体の住民全員に対して避難勧告や避難指示が出されるくらい大規模かつ激甚な災害が数多く、毎年のように発生しています。仮に富山市指定なし全住民に対して避難勧告や避難指示が発令された場合、40万人を超える市民全員が避難所に収容できるのでしょうか。ただでさえコロナ対策で収容人数を制限しなければならない中、小中学校校舎＝避難所を減らすのは住民の生命財産を守る基礎自治体としての責務放棄です。児童生徒も教員もいなくなった「元」校舎をいつでも避難所として使えるように日々維持、修繕、管理されるのであれば話は別ですが。校舎内に災害対策用品を備蓄している場所もあり、災害時には援助物資や生活支援物資の配布配給拠点としても使用されます。避難所や防災拠点を失った住民が避難も、物資の供給もままならずに犠牲になったら、誰が、どのように責任をお取りになるのか、お聞かせ願いたい。 役所の都合ではなく、子どもたちと地域住民、そして教育現場に携わる方々の立場と実態をご高配の上、再編計画を撤回くださいますよう切に願います。	指定なし
12	11/11	入力フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	通学距離があり、生徒の負担が増える。保護者としては不安です。学童が充実させるなど、もっと議論が必要だと思います。地域の方々や保護者の方々への説明の機会などはないのでしょうか。	指定なし

パブリック・コメント 指定なし

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
13	11/12	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	当局の計画には絶対反対です。藤井市長が目指すみんなの富山市という基本理念に反しています。前市長の私の富山市というおごった日本を弱体化している自民党のような政治手段では富山市という日本の県庁所在地のモデルとし、地方都市では珍しく住んでいたい都市NO1だが住みたいまち、住んで見たいまちNO1には到底なれません、それは一番重要な子育て、教育の場に重点を置いてないからです、最終案ありきで、このままでは、さらに人口の流失に拍車がかかります。生徒の数を想定されていますが、若い夫婦が住んでみたい、住みたいという施策も同時に進めるべきであり、例えば小規模学校では、船嶺小をを例に意見としてまとめますが小規模の特徴ある学校として残すには近年子供の発達障害が話題になりますが、1人、2人ではかえって、改善にはなりません、地域の拠点となるよう、充実を図るころみも通学を配慮すれば可能です、また不登校、いじめの撲滅にも集中化により改善できる案もあるとおもいます。最後に適正な人数とは何かをさらに議論することも提案します、主体は官ではなく児童それぞれだと思います、再考を強く願います。	指定なし
14	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	住み慣れた地域を離れて通学するのは子供にとっても良くないと思う。	指定なし
15	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	過疎化が進んでいる地域の学校の廃校に反対します。県外から嫁いできましたが富山で誇れるのは街ではなく田舎の景色や生活の知恵、暮らし。今の子供たちに必要なのではないのでしょうか？	指定なし
16	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模校を減らしていくのには反対です。こどもたちの大好きな学校を守ってあげて下さい。	指定なし
17	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	地域の学校を無くすのは反対です！通えなくなるご家庭の事は何も考えてないんですか？自分がその立場になった時のことを考えてみてください！	指定なし
18	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模校を無くすのは反対です。	指定なし
19	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	富山市の小規模校をなくすのは反対です。 効率化は、大人の都合。子供の時間を移動時間に費やすこと、不馴れな環境で教育を受けて多感な時期をストレスとさせるよりは地域で子供を支えていくことが大事。不登校も増える原因となり、ひきこもり、やがてニートの増加になると思います。自分で選択していくぶんには構わないけど、選択肢はなくしてはいけません。みんながみんな親が出迎えたり送迎できるわけでもない。帰ってくる時間も遅くなります。小学生には酷ではないでしょうか？小学生に孤独な時間は与えてはいけないと思います。時間の使い方も考えさせるのは大事ですが、そんなところだけ都会化をしても果たして教育県、子育てしやすい県なののでしょうか？心の余裕というものも、成長過程の中で重要だと思います。 合併をして、よかったこともあれば、市内だけが美化され郊外の河川敷や、街路樹の剪定、草むしり等地域に委託した結果、雑草だらけ、河川敷も整備されてない状態です。道路や橋も老朽化しているのに朽ちるまで放置。防犯に関してもよくないと思いますし、通学する生活環境を整えても生活する地域の環境を見過ごしているのもどうかと思います。声をちゃんと聞いてください。	指定なし
20	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模校を無くすのは反対です。	指定なし

パブリック・コメント 指定なし

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
21	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模校を無くすのは反対です。	指定なし
22	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模校を無くすのは反対です。	指定なし
23	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模校を廃止するのは反対です。 小規模校へ現在通っている子供たちに寄り添って考えてみてください。	指定なし
24	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模小・中学校をなくすことに反対です。 学校がなくなったら、過疎化少子化が進み、富山市全体が取り返しのつかない状態になると思います。小さな学校も大事だし、子供たちの通学距離が長くなるのも問題だと思います。	指定なし
25	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模校を無くすのは反対です。 子供たちの選択肢を奪わないでください。	指定なし
26	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模校を無くすのは反対です。	指定なし
27	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模校を無くすのは反対です。	指定なし
28	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模校の廃止に反対します。 小学校から遠い学校に通うことのストレスを与える必要はないと思うし、小さい学校には小さい学校なりの良さがあると思います。あえてそこを選んで住んでる人もいますし。高校になればいやでも通学に時間がかかるのですから、小中学はそのまま通わせてあげてほしいです。	指定なし
29	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模校を無くすのは反対です。	指定なし
30	11/13	メール	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模校の存続をお願いします	指定なし
31	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模校を無くすのは反対です。 いろんな子供たちがいて、大勢いる大きな学校に通えない子が小さな学校なら通えるということもあります。学校に行けることが自信につながることもあります。	指定なし
32	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模校を無くすのは反対です。	指定なし

パブリック・コメント 指定なし

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
33	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模校を無くすのは反対です。	指定なし
34	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模校は反対します。	指定なし
35	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模校を無くすのは反対です。	指定なし
36	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模校を無くすのは反対です。 我が子も小規模校へ通っていますが、地区に安心して通える学校があることはとても大切なことだと思います。統廃合されれば、子ども達の通学時間は増え、その分親の仕事や家事の時間を削られることにもなります。また、支援級においても、大規模の学校では子どもも多く通級の機会を奪われている子が多いと聞きます。どの子も平等にその子に合った充実した教育を受けれるように小規模校は必要だと思います。中学校の学校選択制でも親として、子ともに適した教育環境を考えた場合、地域の小規模校を選択すると思います。	指定なし
37	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	富山市の小中学校再編に反対します。特に、山村地域の小中学校の統廃合に反対します。 以前旧大山町地域で勤務していました。若い世代がコンパクトシティ計画で通勤や通学ができず街から離れ、山には人がいなくなり、荒れていく所を沢山見ました。獣の被害も人が住むことで食い止められているところもあります。若い世代で、自然の中で暮らしたい人も沢山います。しかし、学校がなければそれも叶いません。 テレワークも進み、やり方によっては人口を増やすことも可能だと思います。飲食店へのキャンペーンや観光のキャンペーンに、予算を使うのも必要かと思いますが、山村地域を守ることも同じくらい大切です。ご検討いただければと思います。	指定なし
38	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模校を無くすのは反対です。 たとえ少数であっても、通う小学生のことを一番に考えてください。	指定なし
39	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模校を無くすのは反対です。 あまりにも編成先までの距離が遠すぎます。	指定なし
40	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模校を無くすのは反対です。 その学校が必要な子供たちのことを考え、残すべきです。無くなれば、その地域に住もうとする若い人がいなくなると思います	指定なし
41	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模校を無くすのは反対です。	指定なし
42	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模校を無くすのは反対です！	指定なし

パブリック・コメント 指定なし

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
43	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模校をなくすのは反対です！	指定なし
44	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模校をなくすのは反対です。 長野県のように特色を持たせて、校区外、県外へ魅力を発信してはどうでしょうか。	指定なし
45	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模校をなくすのは反対です。 私の子どもが行く学校ではありませんが、これからの子供たちのために残してあげてほしいです。大きな学校に馴染めない子もいるかもしれない。うちの子たちもそうならないとは言えません。そういった子たちの受け皿的な存在も公立学校の役割として残してほしいと思います。よろしくお願い致します。	指定なし
46	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小中学校の再編には驚きました。高校と違い通学距離や親の負担もあり大変なことと思います。また小規模小学校に通う事で自分らしく生活できる児童もおられるとか。うちの子達も幼稚園が小規模で初めはこれで良いのかと悩みましたが結果的には大変良い環境でした。難しい問題だとは思いますが合併は賛成出来ません。	指定なし
47	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模校をなくすのは反対です！	指定なし
48	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模校をなくすのは反対です！	指定なし
49	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	富山市の小、中学校の再編について自身の意見を伝えさせていただきます。人口の減少、過疎化により小規模の小中学校がなくなるという危機を聞きました。長くからその土地に住み、色々な助け合いをして過ごしてきた風景や人とのつながりが、小中学校がなくなること、町、村そのものがなくなってしまう。だからといって、その土地に住む人たちはすぐに土地を離れることができるわけではない。子供たちも、地元から離れた小学校へ通学するのに時間がかかり、心身ともに健康的に、教育を十分に受けれるのか不安です。 小規模で、同じように十分な活動などとはできないかもしれません。ただ、一人一人に丁寧に寄り添ってケアしてくれたり、子供たちは少人数だからこそ、みんながお互いを思いやり助け合える環境だと思います。それは本当に小規模の学校ならではの事です。 その土地に住む人たちの暮らしがより良くなる策とは思えません。学校がなくなることは、次第に町から子供の姿がなくなり、地域活性化ではなく、衰退です。どうしてそんなことができるでしょう？ 自然や、人とのつながりを求めてその学校を選ぶ、代々伝わる家を継ぐという人たちもいらっしゃいます。どうか1人も取りこぼさず、1人1人がより良い未来へ、安心して生活できるためにも残していただきたいです。	指定なし
50	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模校であっても、通学時間が30分以上かかる子どもが出てくる場合は廃止はやめてもらいたい。小さい子どもにとって通学時間は短い方がいい。子どもを持つ、又は持とうとする家庭は小学校のない地区に住もうとは思わない。過疎化が進む。大規模校に通わせているかが、行き届かないことが多くデメリットを感じるが多く、校区を跨いでも小規模校に通わせることを検討している。	指定なし

パブリック・コメント 指定なし

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
51	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模校をなくすのは反対です。	指定なし
52	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	富山市による市立小中学校の再編案には反対です。30代の未婚の子（いずれも男性）を二人持つ60代です。不安の残る地域経済の状況と富山市のような中心市街地への偏りをみせる再開発・経済効率優先の行政への信頼が薄いのかこの二人の息子たちは子育て世代の仲間入りに興味を示していません。少子化の加速を助長する要因となりかねないよう行政当局には再考を求めたいと思います。	指定なし
53	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模校をなくすのは反対です	指定なし
54	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模校を無くすことに反対です。 その学校には県外から通っているお子さんもいると聞きました。学校がなくなると近隣の小学校までバスで片道1時間もかかるとのこと。通学だけでも大変です。また、様々なストレスの中、少人数の学校だから学校に通えている子もいると聞きました。子供たちにとって何が1番良いのか、子供を中心に考えていただきたいです。	指定なし
55	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模校を無くさないでください。 富山市のコンパクトシティ構想は富山市中心部だけが恩恵を受けているように思います。どうか廃校地域に目を向けて、地域の子供達、住民の意見を真摯に聞いていただきたいのです。地区に学校がなくなってしまったら、その地区のコミュニティーまでうすれていくように思います。どうか小規模校を無くさないでください。お願いします。	指定なし
56	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模学校廃校に反対です。大規模校で不登校になったり、環境を変えたいと考える全国の小学生を呼び込みましょう。そこを起点として、空き家問題、人手不足問題も合わせて解決していきましょ	指定なし
57	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模校を無くすのは反対です。 中心部に住んでいる人だけが市民ではありません。	指定なし
58	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模校を無くすのは反対です	指定なし
59	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	山間部の小学校は無くしてはいけません。絶対いけません！	指定なし
60	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模の小中学をなくすのは反対です。	指定なし
61	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小中学校の統合によって、遠方の学校へ通うことになる子どもたちの通学にかかる負担を心配します。特に山間地では、人口の減っていく集落が寂れていってしまうことも心配です。 入力フォームから手軽に、気軽に、意見させていただいて有り難いです。宜しく願いいたします。	指定なし

パブリック・コメント 指定なし

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
62	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模校を無くすのは反対です。	指定なし
63	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模校を無くすのは反対です。	指定なし
64	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模校を無くすのは反対です。 子どもたちの通学時間が長くなることは、長い目で見てマイナスでしかないと考えます。	指定なし
65	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	富山市立小・中学校の再編統合に反対します。教育に株式会社の企業倫理のコストパフォーマンスを持ち込むと失敗する数ある例を調べてもらいたい。中山間地域の荒廃のために数十年後に余計にかかる費用や文化的な衰退など、数年の短期的な費用対効果のコンパクトシティありきの数字を弾き出すのではなく、もっと長期的、広域的な観点で議論すべき。	指定なし
66	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模校をなくすのは反対です。 そこがなくなること通学に時間のかかる子ども達、小規模校だからなんとか通学することができている子ども達、そういう子達がいることも理解してください。核家族・共働き世帯が増えている中、親の送り迎えが必須になるような状況になることもあまり良いこととは思えません。ぜひ考えて頂けるとありがたいです。	指定なし
67	11/13	メール	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模校をなくすのは反対です。 通学する子供たちのことをもっと考えていただきたいです。	指定なし
68	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模校を無くすのは反対です	指定なし
69	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	細入地域などの小規模校を統合して無くしてしまうのは反対です。小規模校の良さを再確認すべきです。	指定なし 細入
70	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模校をなくすのは反対です。	指定なし
71	11/14	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模学校には必要な役割があります。その場にしか居場所のない子が1人でもいるなら、無くさないでほしいです。	指定なし

パブリック・コメント 指定なし

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
72	11/14	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	私が住んでいるところは幸いにも再編対象ではなかったのですが、過疎地域で再編対象となってしまう住民は可愛そうだなと思いました。特に小学校は地域文化の伝承という意味でもなるべく存続させるべきではないかと思います。近年は、コンパクトシティ政策で、総曲輪や駅北を整備しておられるようですが、郊外や山間部は恩恵が薄いというのが実情です。しかし、都市部が賑わって税収が増えれば、その財源を郊外や山間部に回せるという市の説明を受けて、郊外や山間部の住民は我慢していたのではないかと思います。しかし、その我慢とは裏腹に、小学校を統廃合という結果に陥ったのはとても残念ではないかと思います。それなのに、申し訳ないという姿勢が感じられず、「適正人数のほうが学習の質が上がる」とあたかも良いことをしているかのように振る舞っていたのには、いささか疑問を感じます。 ここからは、具体的な再編内容の話です。私は、婦中地域に住んでいるのですが、朝日小学校が児童の割に校舎が広く、設備維持費が余計にかかっているように思えます。そこで、同じく朝日小学校校区にある安田城跡資料館を朝日小学校の移転することで、設備維持費が減らせないでしょうか？資料館を小学校に併設することで、教育的に活用できるという効果も期待できます。また、速星や鵜坂校区の希望する児童は朝日小学校に通学できる制度があってもいいかもしれません。素人考えなので、うまくいくかはわかりませんが、検討のほどお願いします。	指定なし 婦中
73	11/14	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模校をなくすのは反対です。 通学に時間をかけるのは子どもたちの大事な時間をもったいないと思います	指定なし
74	11/14	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模校を無くすことは反対です。 結果的に里山や山あいの人口が減ることによるリスクは予想しにくいと思いますが大きいと思います。小規模校だから出来ることはあると思います。	指定なし
75	11/14	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模校を無くすのは反対です。 今通っている子たちは理由がありそこに通っています。今あるものも大切に今通っている子を大切にその学校を存続して頂きたいです。効率コンパクト重視の世の中に私は反対します。	指定なし
76	11/14	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	人口減少が止められない以上、再編は致し方ないと思うので賛成しますが、通学路の長さがとても通える距離ではないので、通学バスの導入を早急に進めるべきと考えます。通学バスに関しては、千葉県トラック児童死傷事故以降、国からも推進を進める動きもありますし、富山県は車が多いため交通弱者にとって非常に暮らしにくいこと、車通りが多くても通学路に歩道がない箇所がほとんどで危険なこと、全てにおいて今後未来を担う富山の子供たちが安心・安全に暮らしていくためにとても重要であると思います。	指定なし
77	11/14	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模な学校を無くすのには反対です。 地元だからこそ通える、そんな子供たちが、子供にとって遠い学校へ通わなければならないのは、家族にも負担になるし、子供たちのストレスになる可能性もあります。沢山のお友達の中で過ごせる利点もありますが、生活する家族の負担も考慮すると、残していただいた方が良いと思われます	指定なし
78	11/14	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模校をなくさないで欲しいと思います。 通学距離や時間が長くなるほど、子供にも親にも負担は増えると思いますし、夏は暑く冬は大雪になるこの地で、近くの学校をなくしてしまうと、通学するにはとても不便だと思います。子供たちが大人の都合で負担を背負うのは違うと思います。子供たちのことを1番に考えた決断をしていただけたらと思います	指定なし
79	11/14	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	統合に反対です。	指定なし

パブリック・コメント 指定なし

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
80	11/14	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模校をなくすのは反対です	指定なし
81	11/14	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	どんどん合併されて小学校や中学校がなくなっていく寂しさを感じています。子育て世代が町の方へ流れてしまいます。高齢者の方ばかりになるとその地域は寂しくなり、やっぱり子供がいるとみんな生き生きするのではと思います！下手な文章ですみません。子供たちの明るい未来のためだと思います。	指定なし
82	11/14	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模小学校の廃止に反対です。 通学にどれだけの時間が無駄になると思いますか。子どもたちの大事な時間を奪わないでください。また、親の働き方も考えなくてはいけなくなります。それによって減少してしまう収入は保障していただけるのでしょうか。子どもの中には大人数の生活が困難な子どももいます。子どもや働く親に寄り添ったものを希望いたします。	指定なし
83	11/14	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模校を無くす事に反対します。	指定なし
84	11/14	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模校を無くすのは反対です。 まとめられてしまうことで、生活が大変になったり、困難になったりする人たちがいるからです。小規模校の良さをなくさないでほしいです。	指定なし
85	11/14	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模校を無くすのは反対です	指定なし
86	11/14	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模を無くすのは反対です。	指定なし
87	11/14	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	多数の意見や効率によって、小規模校をただなくしていくのは反対です。少数であっても、そこに大事な生活があると思います。何か方法がないか、私も一緒に考えていきたいです。	指定なし
88	11/14	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小中学校統廃合について、反対します。多様化する子どもたち、大人たち、社会に対応する受け皿の選択肢を減らすのは止めてください。	指定なし
89	11/14	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	富山市松野に在住です。小学校の統廃合にあたり就学後の学校から又は、学童保育、利用後の自宅までの送迎はあってほしいと思います。※また、そのための連絡ツールも県や市からのアプリなど作ってほしいです。	指定なし
90	11/14	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模校を廃校にするのは反対です。 地元の小学校がなくなって、登校に何倍かの時間がかかってしまうこと、親にとっても負担が増えることは明らかに不平等です。子どもたちは均等に教育を受ける権利があるはずで、その権利は守られるはずで。小さな学校を残す方法を富山市全体で考えていくべきです。	指定なし
91	11/14	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模校をなくす事に反対します。 笑えるも小規模校でした。小さい学校ならではの良さは沢山あります。あの学校だから行けると、いう子どもたちのために残してほしいです。	指定なし

パブリック・コメント 指定なし

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
92	11/14	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	＜権利主体はあくまでも子どもたち＞ 再編に関して、保護者などの意見を聞く以前に、当事者である子どもたちの意見にしっかりと耳を傾けるべきではないでしょうか？再編によってもっとも影響を受けるのは、子どもたちです。そして子どもたちは、大人と同じように、自分の意見を主張する権利があります。当然のことですが、憲法に規定されている義務教育は、「子どもたちが教育を受ける権利」のことであり、権利主体は子どもたちです。当事者であり権利主体である子どもたちの意見を無視した学校再編はあり得ず、憲法違反であると考えます。 ＜少人数学級の文科省の方針とも齟齬をきたすのでは？＞ 文科省の方針でも、今後少人数学級を進めるとされています。そんな中で、あえて、現在少人数学級として運営されている小規模校を、大規模校に再編するということは、文科省の方針とすら齟齬をきたすのではないのでしょうか？むしろ行うべきことは、大規模校にはなじめない子どもたちが、主体的に小規模校を選択できるようにすることで、全体の均衡化を緩やかに目指していくことではないのでしょうか？子どもたちに多様な選択肢を用意し、権利主体である子どもたちの自主性を育むことこそが求められているのではないのでしょうか？ ＜大人の失敗を子どもたちに押し付けていいのでしょうか？＞ そもそも、学校再編が必要とされるような社会状況、つまり人類社会でも未曾有と言える少子高齢化社会日本を生み出してしまったのは誰の責任でしょうか？目先の経済成長に目を奪われ、戦略的に国家社会戦略を構築できなかった現役世代こそが、その責を負っているはずで。しかるに、今回の学校再編は、その負の遺産を一方的に子どもたちに押し付け、尻ぬぐいされるものに他なりません。財政が足りない、教員が足りないなど、経営的な言い訳をいくら並べようが、結局は、経営に失敗した経営者が、支店を統合し、リストラすることを合理化しているのと同じです。しかし、教育は、少なくとも義務教育は経営の観点から語られるべきものでは決してありません。さらに、高等教育にしても、大学の独立行政法人化などを進めてきた結果、一体何が起きているのでしょうか？国家百年の計を考えれば、義務教育を経営的な視点から合理化するなど、ほとんど自殺行為です。 ＜地域コミュニティの核を奪うのか？＞ 地域コミュニティの核が、地元小中学校の存在に大きく規定されることは明らかです。学校再編によってその核を奪われた地域、特に再編の対象となっている富山市の周辺部地域が、ただでさえ少子化や高齢化に苦しんでいるなかで、それに追い打ちをかけることになります。つまり学校再編は、単に教育システムの問題だけでなく、そうした市街地周辺部を切り捨てることに直結するわけです。さて、ここでも経営的な視点を言うのでしょうか？周辺部はただ農林業主体の生産性のない地域だから、切り捨てても止む無しと？そんな考え方をしているのは、先進国でも日本ぐらいです。都市を囲む里山地域のもつ自然資源、それが潜在的に有している価値は、貨幣価値に換算してもものすごいものがあります。目先の現金にしか目を向けなければ、それは理解できません。 しかし、今や国連が掲げるSDGsを国を挙げて実現しようとしている最中に、それと真逆の教育政策を採用しようとするのでしょうか？ ＜残された施設をどうするつもりなのか？＞ 残念ながら日本の行政組織は、一度決めたことを中止したり、転換したりすることができません。それはかつての無謀な戦争を、負けると分かっていて誰も止められなかったのと同じです。ですから、ほとんど99%、今回の再編案はそのまま実行されるでしょう。しかし、だとすれば、再編後に、これまでの小中学校施設をどうするのか？それを誰が、どのように管理、ないしは活用するのかについて、しっかりと責任をもった議論をすべきではないのでしょうか？例えば、神通碧小学校、楡原中学校は、まだ新しい大変環境の良いすばらしい同じ校舎で子どもたちが学んでいます。これを閉校にするとしたら、その後、この施設はどうするのでしょうか？経営的視点などと言うのなら、それを含めてしっかりとプランを策定すべきではないのでしょうか？再編統合・閉校だけ決めて、後は知らない・・・などと、そんな無責任なことは絶対に止めていただきたいと思います。	指定なし 細入

パブリック・コメント 指定なし

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
93	11/14	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模校の廃止反対です。 通学時間による格差。 人口流出 地域住民とのつながりの減少 小さな小学校だから通えるということもたちもいます。 地域のこどもたち 未来のかけがえのない宝です。 温かく過ごせる場所を守ってほしいです。 よろしくお願いいたします。	指定なし
94	11/14	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	無くすのは良くないと思う。	指定なし
95	11/14	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小中学校の再編について、賛成です。少子化、人口減少が続き人口の増加が見込まれない中で、教育の質を保つことは本当に大変なことだと思います。現に、年度当初担任が決まっていない学校があるとのニュースも目にしました。現場の先生方の負担もさることながら、子供達への影響も気になります。学校というハコがあっても、そこで教えてくれる教員が不足していると、意味がありません。また、学校は勉強だけではなく、多様な考え方や社会性を身に付ける場所だともいえます。社会に出る前の小さな社会です。ある程度の人数がいることで、色んな考え方や意見に触れることもでき、友人との付き合い方等学んでいくのではないかと思います。さらに、人数が少ないと授業も複式になったり、体育の授業でできないスポーツがあったり、部活動も限られるなど子供達がやりたいことの可能性を狭めてしまうのではないのでしょうか。以上のことから、学校の再編・統合に賛成するものです。 ※因みに、SNSで「統廃合反対をパブコメに書いてください」と呼び掛けている意見を目にしました。呼び掛ける方もどうかと思いますが、その意見を拡散させている方がいることに恐怖を感じました。ネット時代において、考えもせず人の意見等を鵜呑みにし、それをまた第三者に伝えるのは、一歩間違えるとイジメや犯罪に繋がる可能性があります。これからの時代、ネットの怖さはもちろん、たくさん溢れている情報の中で正しいものを自分で取捨選択できるようにすることを、子供達にもしっかり教えて欲しいものです。	指定なし

パブリック・コメント 指定なし

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
96	11/15	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	スクールバスについて 遠方の学校への登下校の方法と言え、真っ先にスクールバスが思いつくことでしょう。すでにご存知かもしれませんが、少しばかり配慮して頂けたらと思う部分があり投稿いたしました。過疎地に住む我が子はコミュニティバスを使い登校することがあります。今年1月の大雪の朝、周辺道路は雪が大人の膝丈ほどの高さに降り積もっており、家から出かけるのも危険を感じるほどでした。全く除雪されていない道をかき分け、コミュニティバスは何とかやって来ましたが、子供をバスに乗せて送り出したものの、バスは家の近くで動けなくなり止まってしまいました。近所の人達と除雪に駆けつけ、バスが動き出したのはそれから随分と経ってからです。学校には遅刻する時間でした。我が子が最初にバスに乗る児童だったため他の乗客がいなかったのは幸いです。バスが動くまで子供を家で待たせましたが、動けるかどうか分からない状況は不安でした。また自家用車で学校に送ると言ってもバスでさえ止まってしまう道、なおさら学校に辿り着く前に止まってしまうでしょう。これがもし沢山の児童生徒を乗せたバスだったら、どうなっていたことかと思うのです。もしバスに乗るために集合場所に早い時間から家を出て歩いている生徒がいたら…。もし停留所で長時間来ないバスを寒さに震えながら待つ児童達がいたら…。バスの路線の優先的な除雪、又は融雪装置の設置など考えて頂きたいと思います。 もうひとつ。我が家からコミュニティバスで学校に行く場合、バスに乗っている時間は各バス停を経由して20～30分です。大人から見れば大した時間ではありませんが、子供は学校に着くまでに乗り物酔いをすることがあり、朝から気持ち悪いそうです。合併によりバスで毎日毎日1時間、1時間半と揺られることになる児童が出るとすれば考えものではないでしょうか。家から直通なら県外にも行けるような時間です。子供達への負担が大きくなりませんか、良く考えた上でバスの本数やルートを設定して頂きたいと思います。自分の足で歩いて行ける場所に学校がなくなる、登下校に時間がかかるようになる。社会情勢とはいえ、子供達にシワ寄せがいくこと、本当に悲しいものです。	指定なし
97	11/15	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	今ある学校の子どもたちの居場所の確保、地域のコミュニティなどは学校があるからこそだと思っています。市や財政の都合というだけで子供たちの居場所を失わないで欲しいです。小規模校には小規模校なりの良さがあります。学校再編計画に反対致します！	指定なし
98	11/15	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模校を無くす事に反対です。	指定なし
99	11/15	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	再編に賛成です。我が母校の小学校は生徒数が45人と少なく、将来は数年で生徒がいなくなると思います。市で言う大規模・小規模学校のメリット・デメリットは理解できますがそれが再編に繋がる理由が弱いと思います。もっと、コスト面を強調したらどうでしょう。生徒1人当たりの経費を考えた場合小規模学校が大規模学校より、格段に高いと思います。再編後も問題があると思います。確実に対応願います。	指定なし

パブリック・コメント 指定なし

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
100	11/15	入力 フォーム	市内に事務所又は事業所を有している法人その他の団体	小規模校をなくすことに反対します。 小学校はその所在する地域の文化を作り、継承していく重要な拠点です。子育ての拠点でもあります。その拠点がなくなれば、人口流出にさらに拍車がかかるでしょう。私は、勤務地は富山市ですが、住まいは朝日町です。朝日町も、校舎の老朽化に伴い、こどもがいるにも関わらずどんどん小学校を潰していきました。１００人以上在籍している小学校をも潰しました。結果、私が朝日町に来た３０年前と比べて８０００人も人口が減りました。３０年前はちょうど人口２００００人を切ったところでした。ざっくり計算しても４割もの減少です。富山市も人口の少ない周辺地域から潰していけば、どんどんどんどん人口は減っていくに違いありません。 コンパクトシティがなんぼのもんじゃと呆れます。ただでさえ小さい小さい富山市を、さらに小さく集約してどうするのか。効率化、経費節減等、資本主義や新自由主義の悪しき習慣を、無理やり教育に当てはめることには賛同できません。南米コスタリカでは、軍隊を廃し、浮いたお金をすべて教育に回しました。こどもたちは丁寧な教育を受け、人財が育っていています。私たちが目指すべきはそちらではないのでしょうか。こどもが少ないから学校を潰そうという発想がどうして生まれるのか、理解できません。今こそ、少人数の丁寧な教育ができるチャンスではないのでしょうか。 人がいなくなるという観点からもう一点述べますと、人が住んでいることで保たれている環境の保全、治安、獣との距離・・・すべてが崩れていくことが目に見えています。それでも市長は小学校を潰そうというのか。ＰＴＡ経験者たる者、こどもが安心してゆったりと教育を受けられること、教職員が現地に住まう保護者と身近に触れ合いながら、よりよい教育環境を整えていくことこそを目指していくべきではないのか。ＰＴＡ時代、そのように取り組んできたのではないのか！ 以上の見解から、小規模校だからといって無理やりな統廃合を進めていくことに強く反対します。	指定なし
101	11/15	入力 フォーム	再編計画に利害関係を有する者及び法人その他の団体	１ 文科省の学校再編を基にした富山市の再編案ではなく、独自の再編案として、例えば複式学級の解消は必要だが、多数校との再編統合ではなく、まずは隣校との統合など段階を踏んだものが考えられないか。 ２ 統合には大人の視点で考えるのではなく、学校に在籍する児童・生徒が今学校に何が不足しているのかの調査も必要と考えられる。 ３ 統合する学校の施設規模が適正かどうかが見えてこない。また、児童の登校手段について、どう考えているのか。	指定なし

パブリック・コメント 指定なし

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
102	11/15	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	日頃よりこども達の教育に関しご努力戴き、ありがとうございます。表題の件について令和2年度以降幾つかの資料が公開されており、先日も呉羽地区の出前講座を行っていただきありがとうございました。早速ですが、先日の出前講座では質疑応答は「検討中の事案」でもあり、受け付けないとの事で、パブリックコメントとして提出してほしい旨のお話がありましたので、私見を述べさせて戴きます。 先ず言葉の定義ですが、“望ましい”、“適正化”といった言葉が多く見受けられ、この言葉を背景に色々な案がでてきていますが、本当に子供たちにとって“望ましい”のか、或いは“適正”なのか目的が、「将来の子供たちのために」となっていますが良くわかりません。又、令和2年11月25日発出の「富山市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針」（富山市通学区区域審議会）の中で“過疎地”の文言があり、山間地は分からないでもありませんが、過疎の言葉は住民感情的には“適正な表現ではない”と思う次第です。 次に、適正化に伴う住民アンケートの結果から、色々な目標等の数値が挙げられていますが、約40万人いる富山市民のうち、わずか5000人程度を対象とした市政全般に関するアンケートで得た、回答者2211人（回収率44.2%）の回答結果を根拠に、住民にとって決して影響が少なくない基本方針等を策定するのは、果たして妥当なのかという疑問が残ります。又、適正化審議会のメンバーの一端をお聞きしましたが、地域毎に何かしらの工夫はあっても良いのではないのでしょうか。（今後の問題かもしれませんが）良く出てくる有識者の方達は確かに色んな知識をお持ちと思いますが、地域ごとの特色等を考慮する必要を感じます。 全体として目的が再編に関するものであり、仕方がないのかも知れませんが、「子供たちにとって望ましい」との理由付けが先行し、統廃合ありきの感じを強く感じるのは私一人でしょうか。（要望）現在、表題の件については市民の意識も大分変わってきているように感じます。地域毎でも良いと思いますので、地域の協力を得るなどして規模の大きい、再度のアンケート調査を実施されては如何でしょうか。幾らかでも御一考戴ければ幸いです。 ■■■■■■■■■■ ■■ ■■■■ （参考までに）これまで、地域では県や市に対し、様々な人口・住宅地施策に関する要望を行ってきたところです。人口減少が続く現状を憂い、地域が活性化し、増加に転じる一助になればという思いから、市全体に大きな税収をもたらす富山西インターチェンジや呉羽南部企業団地の造成、県道小杉婦中線のバイパス化などにも地域として、出来るだけの協力をしてきました。しかしながら、インフラ整備は着実に進む一方で、人口や住宅地の増加につながる要望に係る施策は概ね行われていない状況であります。結果として人口が当然のごとく減少し、現状の人口だけを見て学校の在り方を見直すというのは、地域住民の一人として、素直に受け入れ難いものであることを申し添えます。	指定なし
103	11/15	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小中学校の統廃合には反対です。地域がますます寂しくなっていきます	指定なし
104	11/15	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模学校の再編には反対です。 もう一度検討していただきたいです。よろしくお願いします。	指定なし

パブリック・コメント 指定なし

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
105	11/15	持参	市内に事務所又は事業所を有している法人その他の団体	【制服についての提案】 いつも世話になっております。今回富山市学校再編推進課発信の意見募集を拝見させて頂き、富山市内の制服を扱う業者として、意見提出をさせていただきます。 【提案趣旨】 学校再編による新校の制服について、富山市が主導して頂き富山市全体の標準服を制定していただけないでしょうか。（例えばブレザー形式のようなスタイル） その理由として 1、「制服価格の上昇を抑制する為の標準服の制定」 現在の学校毎の独自の制服（セーラー服等）では学校の生徒数の減少により、生産ロットが非常に小さくなり、生産コストや流通コストの上昇を招いています。その結果として制服価格が上がり、保護者負担も増えています。（実際として昨年来より学生服業界として男子詰襟は10%、女子制服は15～20%の値上げがされています。） 富山市全体としての標準服が設定されれば、生産ロットは非常に大きくなり、縫製メーカー等も生産効率の大幅な改善が期待できる。（海外生産など）また、我々地元企業においても流通コストの大幅な削減が可能となり、結果的には生徒・保護者の利益に繋がると考えられます。 2、「LGBTQ対応としての標準服の制定」 近年、市外の各中学校が女子スラックスの採用をし、我々地元企業も縫製メーカーと連動し商品供給を行っています。しかしながらLGBTQの対応は女子スラックスを採用すれば良いという訳では決してなく、極めて当たり前に多様性を認めていく環境が必要になります。その中で制服での対応は非常に重要であると考えます。（選択肢が増えたことは良い） 富山市を中心とした各学校の先生方にこの件についてお話をお伺いさせて頂くと色々なご意見があります。・セーラー服にスラックスは合わない。「トランス女性」は良いが「トランス男性」はどうすればよいのか？等々。このLGBTQの対応について真摯に考えている先生は現行の制服スタイルではなくブレザースタイルであればこの問題は解決できるだろうと考えています。 但し、学校単独で制服を変更するのは難易度が高く出来ないとのこと。（理由としては、業務が多忙である。地域の理解を得なければならない。制服業者の利権による抵抗にある。等々） 以上、大きくは上記の二つの理由により富山市が主体となり、富山市全体の標準服を制定して頂き、まずは再編する学校から導入させ、順次採用校を拡大させていけば良いと考えます。（他県では既に導入済みの件・市有り） 標準服の具体的な導入方法（あくまで一例） 1、「デザインの決定」→富山市が主体となり標準服のマスターデザインを決める。公募等で決定する。 2、「制服の製造」→希望する各製造メーカーがマスターデザインに基づいて縫製する。 3、「制服の販売」→希望する小売店が平等に販売できるようにしておく。 ※ポイントとしては希望する縫製メーカー及び希望する小売店を複数設定することにより、事業者間の競争を促し保護者、生徒利益を高めていくことが重要です。 今回の弊社の提案につきましては、学校推進課様の意図とは相違の有る意見提案であることは理解しながらも一部学校では再編統合が実務レベルとなっているようなので敢えて提出させて頂きました。もし、弊社の提案に興味がありましたらご協力は厭わないのでお申し付けください。以上。	指定なし
106	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小・中学校の再編で同学年の生徒が増え、競争心や社会性が高めれる事は、子ども達にとっても良いと思います。ただ通学等負担も大きくなるので子ども達の事を考えていない計画は反対です。	指定なし
107	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小・中学校の再編で同学年の生徒が増え、競争心や社会性を高めれる事は、子ども達にとっても良いと思います。ただ、通学等負担も大きくなるので、子ども達の事を考えていない計画は反対です。	指定なし

パブリック・コメント 指定なし

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
108	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	時代の流れ、少子化、国にはお金が無い。どう考えても、しかたの無い事です。声高にさげんでも、どうにもならないと思います。	指定なし
109	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	市の再編原案 に物申す 1) なぜ？再編しなければいけないのか？ 当方が思うには！ 1) 子供の数が少ないので学校の維持経費がかさむ 2) 生徒が少ないのでグループ活動が出来ない 3) 2) 生徒が少ないのでグループ活動が出来ない この問題に付いては現在も離れ小島などで実際に存在している その地域の運営の仕方を参考にすれば解決すると思う 1) 子供の数が少ないので学校の維持経費がかさむ この問題（財政支出）を市は前面に取り上げているのでは？ （役人から見た一方的な考え） ●再編によるデメリットは 1) 案内文にも記して有る通りに 1) 通学に時間が掛かる 時には送り迎えが必要になる 2) 親に負担が大きくなる これは一人一人の子供の親全員に負担を負わせる事になる 時には仕事を休まざるを得なくなる 3) 上記2)の現状を見れば山田地域を離れざるを得なくなる 4) 人口の減少へ向けて悪循環の始まりである 5) 人口が減れば今まで地域に根付いていた文化が維持できなくなる これはお金では買えないたいへん尊い物である 行政に係わっている皆さんにもう一度考えを改めて頂きたい 富山市を活性化させるには地域住民の負担を軽減して地域の文化を活性化させる事が最終的には市の財政が潤うことに成る 善政を施行される事を強く望みます。	指定なし
110	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	学校は地域住民の心のより所であり なくなるのは地区の過疎化にはくしゃがかり地区の崩壊に繋り反対である	指定なし
111	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小中学校が無くなるとその地域が増々崩壊していく。 遠距離通学になり児童生徒及び保護者の負担が多くなる。冬期間には積雪のため通学が大変な問題になります。	指定なし
112	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	若い世代が住まなくなり過疎化が進む懸念あり。	指定なし
113	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	再編計画の為 小中学校がなくなると若い世代が出ていくと より一層過疎化が進み地区崩壊なので絶対反対！！	指定なし
114	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	統合反対	指定なし

パブリック・コメント 指定なし

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
115	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	富山市立小・中学校の再編に反対です。 ・少子高齢化が進む中で、再編は一時的措置であり、根本的解決にはならないと考える為。 ・市内で空き校舎が増えることは治安悪化に繋がり、市のイメージダウンになる為。 ・教育環境の充実という点は、市内・県外の教員がリモートで授業を行う等で補えますし、他校の生徒・先生と交流することで、多様な考えや意見に触れられると考える為。 ・何よりも子供達がストレスフリー（大人、環境）な中で、明るく・楽しく自由な発想、自分の考えを育むことが大切だと考える為。	指定なし
116	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	再編に反対です	指定なし
117	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	富山市立小中学校の再編原案に反対です。 バス通学になること、通学時間が長くなることの欠点が大規模校の長所より非常に大きいからです。 (1)バス乗車が疲れる。 (2)帰宅タイミング時間が拘束される。 (3)子どもの自由時間が短くなり、有意義な生活が減る。 (4)保護者の負担が大きくなる。	指定なし
118	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	反対します「再編計画案」	指定なし
119	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	今まで通り続けて欲しい お願いします	指定なし
120	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	・無くなると地域がなくなります。 ・私の親は70代でなくなり私も10年+何年でいなくなるかも。	指定なし
121	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	残せるなら残ってほしいが、児童減が続く中、人数が今の半分、1／3になっても残してほしいと言うのも無理があると思う。 多人数での学校生活も利点があると思うので、いづれ統合やむなしではないのか。 親の負担、通学時間の短縮を考えたほうが良いのではないか。 十数年前から自治振興会を中心とした方々のの努力にもかかわらず人口減が止まらない中、児童・生徒数もまだまだ減ると思います。	指定なし
122	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	統合反対です 距離が遠くなり子どもが心配です	指定なし
123	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小中学校が無くなるということは、そこに住むなと言うことでしょうか。 子供の負担が大きくなることから子供を持つ親は離村を考え、将来を考える若者も離村するでしょう。そこで高齢者だけが残って生活できるでしょうか。 人口減から公共交通等のサービスは極端に悪くなり、自家用車利用でなければ生活が困難になります。昨今の高齢者の交通事故の現状、若い者に追従し町に出て、たった1年で痴呆になった高齢者を多数見てきました。 経済優先でコンパクトシティや学校統合一辺倒でなく、狭い日本で、小さな富山県で山、街、海を抱えている富山市だけでも、市長の替わった今こそ新しいユニークなアイデアで、それぞれの地域にあった生きがいのある地域づくりを考えていただくよう今一度ご検討願いたく切にお願い申し上げます。	指定なし

パブリック・コメント 指定なし

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
124	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	親の負担がかかる。 部活動の時間が短くなる。	指定なし
125	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	人口流出が進み、より一層過疎化になる。地域防災機能の低下そして、地域の崩壊に進みます。子供の姿が見る事も少なくなると本当に寂しい村にますますなります。よろしくお願いします。	指定なし
126	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	学校が無くなる事でさらに若者の流出が増し過疎化が進む 又、統合したあとの跡地の活用や過疎化にならない様、どんな対策があるか、明確にしてから議論すべきだと思います。	指定なし
127	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	私も先が長くないので孫の送り迎えに自信がない。バスがあるからといって毎日バスで賄える事でもない。私としては反対です。	指定なし
128	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	地域のために残して欲しい	指定なし
129	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	現在のまま残る様に希望します	指定なし
130	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	①原案では、統合が発表されていますが もう少し時間をかけて話し合いがあって良かったかも・・・。 ②仮に、方向性が決まっているとしても子供たちへの支援、教育方針など ていねいに説明する機会を設けてほしいです。	指定なし
131	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	地元民の意見を尊重すれば良いと思います。	指定なし
132	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	子供がいないので無感心でいます	指定なし
133	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	孫の事を思うと残していただきたいと思う。よろしくお願い致します。	指定なし
134	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	地域とふれ合うことや、地元での体験学習を行ったり、少人数ならではの充実した教育を受けたりと良いことがたくさんあると思うので、残してほしいと思いますが、統合することで楽しめることもあるかと思います。 中学生にとっての部活動は、人数が多いほど、子供達のやる気も出てくるのではないかと思いますし、練習も効率よくできるのではないかと、経験上思いました。	指定なし
135	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	時代の流れにまかせます	指定なし
136	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	学校存続できる様村民一体になってがんばりましょう。 子供達のエネルギーをいつも、もらって元気がでます。学校は存続する、しないかによって自分たちの生活が一変する事と思います。	指定なし

パブリック・コメント 指定なし

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
137	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	何とか存続をお願いします	指定なし
138	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	・存続をお願いします ・人口流出が進み、一層過疎化になる ・農地等の荒廃につながる ・大災害が起きやすくなる	指定なし
139	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	残してほしい。	指定なし
140	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	残してほしいです	指定なし
141	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	存続をお願いします	指定なし
142	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	残してほしいです。お願いいたします。	指定なし
143	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	学校がなくなる事になり若者世代が減少し、世代間の交流・連携がなくなる事による地域防災機能の低下が心配である。 遠距離通学となり保護者の負担が大きくなり、又、冬期間の通学も危険であり、問題だらけである。	指定なし
144	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	私たちは、地域のため、子供達の未来のために、一生けん命、働いています 若い世代の流出をさけるためにも小中学校は絶対に、なくしてはいけません。 子供、若者、親、老人がそれぞれ住みやすい、地域づくりをして下さい	指定なし
145	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	学校の存続をお願いします	指定なし
146	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	存続をお願いいたします。	指定なし
147	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	ぜひ残して下さい。	指定なし
148	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	残してほしい	指定なし
149	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小中学生の視点で考えていただきたいと思う。 現状続行・再編統合、各々に利点、欠点があります。よって子供達にとって何が良いかを考えていくべきだと思います。	指定なし

パブリック・コメント 指定なし

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
150	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	地域に学校がなくなるのはさみしいです 子供の声が聞こえないのでは、過疎化が進むのでは、さみしいです。学校は必要だと思います	指定なし
151	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	残して下さい	指定なし
152	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	地域から学校がなくなるとコミュニティの場がなくなり、地域の機能の低下がおこります。地域に学校は必要だと思います。小学校だけでも地域に必要だと思います。	指定なし
153	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	学校がなくなる事で若い人口の流出が進み過疎化が一層深刻になると同時に高齢者とばかりになってしまい地域の崩壊にもつながりかねません。 小規模校のデメリットばかり見るのではなく、メリットも、見出して下さい。 大人の立場ばかり考えないで小人の立場も考えて下さい。	指定なし
154	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	最優先に子供たちの将来のことを考えるならば適正なクラスのある環境の中で、子供たちの能力を最大に引き出し、育ててやりたいと思います。そして、それを可能とするためには大人が地域が万難を排して協力することが、ひいては地域の将来に寄与すると思われます。	指定なし
155	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	学校がない所には嫁がこない（過疎化がより進む） 通学距離がのびれば本当に不便、すべての親が子供の送迎が出来るわけではない。 バスにのりおくれた子供がいた場合、夜道を歩くことになり本当に危険である。 クマや変質者にあった場合どうするのか 通学時間がふえるのは勉強時間がへるので学力が確実に低下する。	指定なし
156	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	統合は時代の掟（？）であり仕方ない 世代が変わって行きます その分 子供達のことや市に対する要望もあるでしょう 中山間地にとってはまだまだ変わって行くでしょう 自分達が住み良い環境づくりに努力しましょう 行く川の流れは止められない 然し流れを変えることができる それが政治だと思う	指定なし
157	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	反対 通学の不便。	指定なし
158	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	地域から小中学校が無くなると高齢者ばかりとなり 学生や父兄の負担も大きくなるので 小中学校を存続するため きぼうします。	指定なし
159	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	長年に渡り小中学校と地域住民が寄り添いながら生活し また学校行事など地域住民とコミュニケーションを図る提供の場でもある これにより地域が一体となり地域活性化に繋がっている	指定なし
160	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	ムスコに帰ってこいといえない	指定なし
161	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	・子どもの通学に時間がかかり、たいへんだと思う ・部活ができない	指定なし

パブリック・コメント 指定なし

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
162	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	本来最も大切であるべき教育を疎かにして、経費削減ばかりを優先する政策には断固反対。子供たちに如何に良質な教育 教育環境を整えるかを議論してほしい。	指定なし
163	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	・通学距離が遠くなり、全児童がバス通勤になってしまうのは、バスに乗れない児童が出るのではないか。冬期間の通学、保護者の負担が大きくなる。児童にとっても遠くなると負担となる ・地域に学校がなくなると、地域コミュニティがなくなり、地域の崩壊が進みそう。 ・子育て世代や若い人達の定住が難しくなり過疎化が一段と進むのではないか ・小規模校の方が、先生方の指導も細やかに行われ、子ども達はのびのびと成長できると思う	指定なし
164	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	学校廃止に反対です。 少人数であっても、残すべきだと思います。	指定なし
165	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	学校がなくなり、さらに子供の通学距離が遠くなり低学年の子供には大変な苦痛になると思います。冬期間の通学は特に問題となることと思います。	指定なし
166	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	反対	指定なし
167	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	反対	指定なし
168	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	反対	指定なし
169	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小・中学校の廃校は、地域の衰退を早める。また通学でも片道1時間も要するなど特に低学年の児童に苦痛をあたえるものである。原案を引き続き検討して下さい。	指定なし
170	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	学校の消滅により地域の衰退が加速する。	指定なし
171	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	教育委員会が策定した基本方針の望ましい学級数・学級規模・通学距離・時間、早期に適正化を検討する学校の『望ましい』『適正化』は誰の目線で考えたものなのかと疑問に思います。 いろいろな市、町、村があり、その中で人口が違っていたり、集落のあり方が違っていたりするのに、それを『望ましい』もの、『適正化』するのだと言ってすべてを同じようにするには無理があります。どの地域も同じにすることができないから、行政や政治が必要なのではないですか？ 地域から学校が無くなるということは若い人が住みたくても住めなくなることになります。『望ましい』基本はあるかもしれませんが、すべてがそうできるのではないことも理解してもらいたいものだと思います。	指定なし
172	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	学校の消滅により、地域の衰退になるのはとても困ります。子供達の為にも、何か良い方法があるといいのですが…	指定なし

パブリック・コメント 指定なし

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
173	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	地域の子供達と地域住民との交流は大切な事だと思いますので、再編統合には反対です。	指定なし
174	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	通学時間が長くなりすぎる。	指定なし
175	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小・中学校の廃校は、特に若者や子育て世帯の他地域への転居、転出の要因のひとつとなり得る。地域の人口の減少が進めば、集落の維持が難しくなる。 子供達の通学に要する時間が長くなれば子供達はもちろん、親達への心身の負担も増す。冬はとくにたいへん。	指定なし
176	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	再編原案は、誰が考えたのでしょうか？ 富山市は海沿いから山沿いまで都市部から里山部まで各住んでいる場所が違ってきます。都市部は当然ながら人口密度は高く、郡部は低い。都市部は大規模校が多く、郡部は小規模校が多いのは誰が考えてもわかります。それを全て同じ目線で画一的に論じるのは、いかがなものでしょう。私の育った地域では運動会には、自分の子供や孫がいなくても参加し誰かれ構わず応援しもりあがります。応援された子供達はより一生懸命頑張ります。子供の頃から連帯感が知らず知らずのうちに養われ、思いやりのある感性豊かな子供に育ちます。この様にこの地域には学校が必要なのです。小規模校が良くないと言うのならと言う事で、義務教育学校の設立を要望しています。しかしながら、当局から何の返事もないと聞きます。少なくとも何かしら途中経過の報告もあってしかるべきだと思います。あまりにも郡部・山間部を切りすてにしているのではありませんか？先日市長さんは、学校問題について市長は意見は言えるが教育委員会が決定権があるとおっしゃってました。でもそれであっても、郡部出身の市長にはぜひ頑張って小規模校の存続に尽力してもらいたいと思っております。再編原案には断固反対です!!	指定なし
177	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	地域から学校がなくなると、一気に衰退してしまう。 通学距離も遠く、教育の為にも現在のままが良いと思う。 山間部の住民がいなくなると将来的に猿や猪による被害が市内中心部にも影響をおよぼす事になる。 地域の特殊性も考慮に入れ議論検討をお願いしたい。	指定なし
178	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小・中学校の再編に際し、どうあることが子供たちにとって最善かを念頭に検討いただきたいと切望します。 その上で今回提示された基本方針を拝読し、気になった点を記します。 【わからなかったこと】 1) 5, 000人アンケートで「再編を推進・容認する」が8割との説明 「今の学校配置が望ましいが、学校再編を進めるのはやむを得ない」という回答が59. 2%ありますが、これを「容認」と言ってよいのでしょうか？言い換えると「今の学校配置を望む」が77. 6%と言えます。 2) 望ましい通学時間が「おおむね1時間以内」との説明 現状、30分以内の通学時間が1時間となると、往復1時間が毎日になります。遠方から通学する子供たちにとって、数百時間のロスが生まれ、学ぶ機会に格差が生じると感じます。 3) 「クラス替えができない」「クラス同士の切磋琢磨ができない」 という望ましい学校規模説明がありますが、必要性が理解できません。 【検討いただきたいこと】 確かに、より多くの友達、先生との関わりを持つことは有意義です。昨今、各所でDXが叫ばれる中、学区内の複数校をIoTでつなぎ、有能な教師の授業をオンライン配信することで質を高める。また、体育や文化交流などイベント時には複数校が参加する。など。	指定なし

パブリック・コメント 指定なし

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
179	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	一極集中（的）ではなく均衡な富山市に…どこに住んでいても住みやすい富山市である様に。	指定なし
180	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	1. 再編原案の望ましい学級数については再編させる為だけの意見にすぎない 2. 通学している生徒の意見が考慮されているのか 3. 少人数の学校では上級生が下級生の面倒を良く見るなど精神面での向上が良いと思われる。	指定なし
181	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	子どもたちの事を考えて作成しましたか？保護者の事を考えて作成しましたか？全く考えていませんよね？とりあえず少ないからまとめた方が運営が楽になるからこのようなばかげた再ヘン案を作成したんですよね？子どもたちやその親御さんの事を第一に考えたらこんなばかげた再編案は出きっこない！！一度白紙にして再度考え直せ！！市の教育委員会が責任をもって送迎できるのか？どうせ送迎できません、遠方でも通って下さいって言うんでしょ？	指定なし
182	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	・地域間も大切だと思いますが、子供達への心理的不安を考えた時、生まれ育った地域の学校で学ぶ事は、肉体（精神）的にも良いと思う。小規模校に慣れてる子供にとって再編で適正規模の学校に順応していくのには時間もかかるだろうし、負担が大きと考えます。学校再編を考える前にどうしたら今ある学校を守っていけるかそれが地域にとっても子供にとっても大切だと思う。	指定なし
183	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小・中学校の廃校は地域の活性化をなくすばかりか、過疎化が進んでいる地域ではさらに過疎化が進んでいくと思います。生徒の適正人数ばかりを考えるのではなく、小人数の学校の良さを見直して子供達が楽しい学校生活を送れるようにしたほうが良いのではないかと。又、小人数の学校ならば他の大きい学校からの越境通学を模索していいのではないかと思います。子供達のことを考えて小人数の学校ならではの有効利用を考えていくべきだと思います。	指定なし
184	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	教職を退職し、3年目になります。教員として勤務した学校は、大規模校は八尾中学校10年、大沢野小学校9年、中規模校は大久保小学校8年、小規模校は楡原小学校4年、猪谷小学校6年です。 その経験から感じたことは、大規模校、小規模校それぞれに、良いところもあれば、リスクとなるところもあるということです。大規模校の良さは、それなりにはあると思いますが、とにかく担任が忙しい、できない子への細やかな配慮が難しい。その結果、学習についていけず、不適応行動を起こす子供が多く出る可能性が高くなるという現実、確かにあったように思いました。そういった子供を見た時に、小規模校で、先生の配慮が行き届く環境ならば、もしかすると、救われるのかもしれないと感じたことはしばしばありました。 教師の力量や人間性も大いに影響することもあります。まずは、教師自身が余裕を持てなければ、子供に対しても良い教育はできません。 効率化よりも、一人一人を大切にしたい教育ができる環境作りがより大切であると考えます。小さな学校こそ、ちゃんと残してほしいと思います。できれば、大規模校で、自分を生かしきれない子の受け皿にもなれたらよいのではと思っています。	指定なし
185	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	富山市が「コンパクトシティ作り」を目指しているのだから、学校の再編計画も致しかたがありません。が、通学時間がかかるとしても、大人数の学校の方が、子供にとっては、良い事だと思います。	指定なし

パブリック・コメント 指定なし

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
186	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	近年進められてきた、富山市の市町村合併などの都市集中化政策により、現実の結果はどうなっているのでしょうか？ 地域は、役所、学校等の合併により、人口の減少店舗等の閉店など、利便性が失なわれ、その上人口の流入もなく、地域の活性化にもつながらない状況になっており、限界集落となる箇所も次々と発生しています。 このように悲しい事態になったのは、特に地域から学校が失くなったということが最大の要因であることは、間違いのない事実だと思います。 学校は、子供達にとって、勉学、スポーツなどにおいて競争心、協力性、思いやり等を育ぐくみ、人間形成のためにはいちばん大事な場所であることは、だれでもが十分に承知のことと思います。いつ頃からか教育担当機関では、子供が少なくなってきたから、学校の統合という概念が優先し、地域の発展をないがしろにして進められて来たようです。学校の生徒数は、少なくとも良くない多くても良くないと思います。少なければ多いところから、多ければ少ない所へと移管して、平均的で無理のない教育方針を施行し、地域の発展と密接な関係が持たれるような社会が理想と思います。 ぜひ、そうしてもらいたい！	指定なし
187	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	行政の都合での統合には反対です。住民の都合（意見）に基づく統合としていただきたい。	指定なし
188	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	子供達の事を考え、いい方向に進んでくれればいいと思います。	指定なし
189	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	学校が無くなると若い人が町、市へ出て行き子供がいなくなり老人ばかりの過疎化になり（地域）が衰退してしまいます。	指定なし
190	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	・学校の消滅により、さらなる人口の流出が進み地域の衰退が加速する。	指定なし
191	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	教育の目的は、将来の日本を担う人を育てることです。 学ぶこと（知）、豊かな人間性（徳）、たくましい体（体）を重視する教育を考える上で、重要なことは教育の主役である子どもたちが学ぶ環境づくりであると考えます。 人生１００年時代において、７歳から始まる９年間の義務教育はその土台作りにあたっており、この時期に豊かな自然とのふれあいや地域の人々との関わり、生まれ育っている地域への愛着や歴史・成り立ちへの理會が人格形成に大きく影響すると思います。 また、多様な経験を基に、ゆとりの中で自主的・主体的な学習に打ち込む教育環境により、将来の自らの進む道を自分の力で切り拓き、生涯わたって学び続ける基礎が身に付くものと考えます。 教育は、設計図やシステムに基づき、均一な製品を生産する経済的な活動とは異なって、成果や結果がすぐ目に見える形で現れるものではなく、現在の取り組みが将来にわたって現れる、経済効率の点からははかることのできない活動です。 すべての子どもには学ぶ権利が保障されており、将来にわたる人づくりという視点から、小規模ではありますが、子どもたちを中心にきめ細かく特色ある学校教育活動を継続発展させていくことが地域や我が国にとっても大切であると考えます。 さまざまな条件がある中ではありますが、ぜひ子どもたちの立場に立った視点で教育をとらえてほしいと思います。	指定なし

パブリック・コメント 指定なし

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
192	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	○学校がなくなると地域がますます衰退していく。 ○学校の建物が改築して立派になったのに利用されなくなるのはもったいない。 ○大規模校小規模校それぞれのメリットデメリットがあるので画一的な学校を作るのではなくそれぞれの良さをPRして保護者が希望する小学校中学校に子供を入れるようにしたらよい。	指定なし
193	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	通学時間が長くなる。	指定なし
194	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	大きな学校では救われない子供達が小さな学校ですくわれることも多々あります。 地域のためにも子供たちのためにも学校を残してほしいです。	指定なし
195	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	通学時間が長くなる。	指定なし

パブリック・コメント 富山中央

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
1	11/3	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	柳町小4年生の子を持つ母です。再編の話はニュース等で聞きますが、地域説明でなく、当事者の説明がないのが、納得いきません。変わらず卒業できるのか、不安です。	富山中央
2	11/4	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	・和合地区の統合について 実家が八幡地区で、和合中学校まで通学していたが3kmは直線距離の話で実際の通学路で学校まで行った場合4.6kmあった。気候の良い時期は自転車でも問題ないが、雪の降る日は歩いて学校に行くのは困難でした。パブコメの所にあった資料を確認した所、3km以上通学する児童がなるべく少ない所に統合先ができるといいと考え、八幡小学校の位置を統合先にすることがいいと思いました。八幡小学校に通学していたときは、県道7号線の交通量が多く地鉄バス通学でした。（料金は各家庭負担）希望者だけでもよいし、冬季限定でもいいので、スクールバス（運賃希望家庭負担）通学ができればいいと思います。 ・大泉中学校について 今住んでいる地域が、堀川小学校、大泉中学校校区なので大泉中学校が1クラスしかないのに再編の対象から外れていることに違和感を感じました。堀川中学校は9クラスある学年もあり、どちらも徒歩圏内にある中学校であるが人数に偏りがありすぎると感じます。 1学年1クラスだと入りたい部活動がなかったり友達も選べないと不便だと思います。近所の中学生は堀川小学校から大泉中学校に進学することが決まった子達は堀川中学校に抽選に漏れて入れなくて入学式からしばらくはどんよりしていると聞きました。せめて住所に「大泉」が地名に入っている地域は大泉中学校に通学とできれば堀川中学校との人数バランスがとれるのではないかと考えます。	富山中央 和合

パブリック・コメント 富山中央

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
3	11/8	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	富山市立小・中学校の再編原案（富山中央地域）について 当方、柳町小学校区に住む子育て世代の親です。富山市立小・中学校の再編原案（富山中央地域）について、現在3つの案が提示されていますが、いずれの案も中学校への進学や通学路について不安があり、意見させていただきます。 第1案：柳町小学校区の児童全員が中央小学校へ再編される場合 全員が同じ中学校へ進学できない（南部・大泉・東部・奥田の4校に分散される）ため、中学校入学時の児童の精神的負担が大きいものと思われます。 第2・3案：柳町小学校区の児童全員（またはこのうちの奥田中学校区の児童）が奥田小学校へ再編される場合 通学路について不安があります。通学路は北陸本線を横断しなければならず、？東田地方地下道を通るか、？稲荷町跨線橋を通ることになるかと思われます。？東田地方地下道は人通りが少なく薄暗いため、小学生の通学路としては治安面で不安があります。？稲荷町跨線橋を通るとなれば、かなり遠回りとなる上、跨線橋上は歩道の幅が狭く交通量も多いため小学生にとっては危険ではないかと思えます。（通学路については地図上だけで判断せず、安全・最適な通学路の検討が必要だと思います） そこで第4案として、柳町小学校区を？芝園小・中学校，？奥田小・中学校，？東部小・中学校へ再編する案を提案します。柳町小学校区は奥田中学校区と東部中学校区に分かれますが、それぞれを下記のとおり再編します。 ◎奥田中学校区のうち、千歳町3丁目、東田地方町1・2丁目、北新町1・2丁目、弥生町1・2丁目、柳町1～4丁目の児童 →芝園小・中学校へ（※） ◎奥田中学校区のうち稲荷元町1～3丁目、稲荷園町の児童 →奥田小・中学校へ ◎東部中学校区の児童 →東部小・中学校へ 同じ小・中学校区となれば、中学校へ進学する際の児童の精神的負担も軽減できることと思います。芝園小・中に再編される児童で、奥田中学校の方が近く通いやすい場合は、就学指定校の変更理由にある“地域的事情による場合”として、奥田中学校への選択ができるように配慮すること一案かと思えます。 （※）の地域については、現状、芝園小・中への再編は検討されておりませんが、東田地方町1丁目の一部が芝園校区となっていること、住民運動会が一緒に開催されていること等を考慮すれば、芝園小・中学校への再編も可能ではないかと思われる地域です。 ご検討の程、よろしくお願いいたします。	富山中央
4	11/15	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	・柳町小学校の再編案が、新聞で公開され、保護者や住民は不安になっている、という声がある。 ・市のホームページ上の三案ありきという姿勢には賛同できない。 ・山間部、過疎地の問題と街なかの問題は分けて考えるべきである。 ・単学級については、男女比のバランス、クラス替えができないなどのデメリットはあるが、柳町に関しては、合唱コンクールなど、縦割りの学年の枠を超えての取り組みは、教育という観点では十分に機能していると思う。 ・今出されているのは、2学級以上が好ましいという方針で分割するだけの案だが、地区の周りから寄せてきて、生徒を増やす方向も考えてほしい。 ・統廃合についてはイエスもノーもなく、今の統廃合の進め方についてはノーである。 ・通学審議会をもう少し丁寧に、今後時間をかけてほしい。	富山中央

パブリック・コメント 富山北部

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
1	10/17	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	経費削減も大事かもしれないが、子どもたちのことを考えると、大人数校が良い教育環境とは思えない。少人数教育の方が一人一人に目が届くし、より手厚いサポートが受けられるはずだ。世界的に見ると、大人数よりも、より教育が行き渡る少人数教育が望ましいという動きだが、日本は経費削減ばかりに重点を置き、子どもたちのことは蔑ろなイメージが拭えない。 私の校区を例にさせて頂くが、岩瀬小学校が萩浦小学校に吸収統合される案だが、吸収統合ではなく、校区の範囲を見直し、現萩浦校区の一部を現岩瀬校区に移し、2校の規模のバランスを取り、2校とも存続させてはどうか。校舎は萩浦小学校よりも岩瀬小学校の方が新しく、新しい校舎を使わずに古い校舎を使う点にも疑問が残る。 萩浦校区の住人の中には岩瀬小学校に通わせたいと思う住人も、実際にいる。数字だけを見て大規模校に小規模校を吸収させるのではなく、もっと子どもたちのより良い教育環境を重視してほしい。 少人数の方がよりきめ細かいサポートを行えるのは明らかなのだから、各校のバランスが取りつつ少人数教育を行えるような校区の見直しをしてほしい。経費削減よりも、より良い教育環境を整え、より優れた人材を育成することの方が大事だと思う。	富山北部
2	10/23	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	再編原案を支持します。萩浦地区に住んでますが、萩浦小学校が岩瀬小学校を吸収合併する形で良いと思います。生徒数が3倍近くいるので、当然だと思います。	富山北部
3	10/23	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	追加です。萩浦小学校は隣接の富山北警察署が幹部交番に格下げになったので、広げることは可能だと思います。	富山北部
4	10/30	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	今回の学校再編で岩瀬小学校と萩浦小学校を統合し、再編先を萩浦小学校にするという案は、生徒数、学校規模のほか周辺状況や津波、洪水ハザードマップ等総合的に勘案して妥当と考える。 また、豊田小学校と大広田小学校が現在の場所に移転していることから、豊田校下の上野新町や犬島新町の地域あるいは大広田校下の住友町地域は、萩浦小学校へ通学した方が近くなっているため、この際通学区域の変更も考えてはどうか。 さらに、萩浦小学校近くに富山港線（旧ライトレール）の「萩浦小学校前駅」があり、乗り降りが楽で利用しやすいので、見守り隊の協力を得ながら電車通学も考えることができる。（富山大学付属小学校は以前から公共交通機関の利用を認めている。） 終わりに、今回の再編で隣接する区域間で亀裂が生じたり、しこり残ったりすることだけは避けるようにしてもらいたい。	富山北部
5	11/1	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	萩浦校区に在住しています。北部地区の小学校再編原案に原則賛成です。岩瀬小学校の萩浦小学校への統合は必然と考えます。但し萩浦小学校は岩瀬小学校から分離した経緯があり、岩瀬校区在住の方にすればすんなり了承は出来ないかと思います。しこりが残らないよう配慮願います。更にですが、以下に示す事も考えられてはどうでしょうか？ ・草島小学校を萩浦小学校へ統合する。 和合地区の通学距離と交通の便を考えると、萩浦へ統合するとフィーダーバスでの通学が可である。 ・通学区域を見直し、犬島地区の児童は萩浦小学校への通学とする。 現在は豊田小学校→岩瀬中学校となっており、新豊田小学校への通学距離が長くなったことと岩瀬中学に入学であるので初めから萩浦小学校への入学であれば交友関係がスムーズにいく。 ・通学区域を見直し、住友・中田地区の児童は萩浦小学校への通学とする。 両地区は通学において産業道路の横断が必要であり危険防止の観点からと大広田小学校との児童数の均等化を図る。 以上、私なりの考えを述べさせていただきました。ご配慮いただけたらと思います。	富山北部 和合

パブリック・コメント 富山北部

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
6	11/1	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	岩瀬小学校が萩浦小学校へと統合することにより子供たちの通学距離が更に遠くなってしまう事に不安があります。ライトレールでの通学は可能でしょうか？わたしが小学生の頃は市内電車で通学している子もいたので不可能ではないと思っています。 萩浦小学校への統合によって更に学校が遠くなってしまいました。ただでさえ近所に同年代の子供がいないのに通学距離と通学時間がすごくのびてしまったことにとても不安をおぼえます。岩瀬に引っ越してきて家を構えてしまったのでこの先、他の地区に引っ越すことは考えていませんし、家族計画でまだ子供も増える予定でしたが戸惑いがあります。また、岩瀬中学校までも遠いのに、自転車通学ができないことにも不安です。前から小学校の統合の話はでてましたし、元は岩瀬も萩浦だったのですが、期待を込めて！岩瀬に越してきました。岩瀬に子供が減ってしまう、他の地区に出ていってしまう若世代が増える、他の地区から岩瀬に越してくる若世代が減る、地元の岩瀬に戻ってきて家族と家を構える方がいなくなる、こういった問題が尚更増えていくなと感じています。 少なからず通学距離がすごく遠くなってしまう子供がいる、この先そういった子供が増えると思います。なにか対策などはありませんでしょうか？ また、岩瀬小学校は制服着用ですが、萩浦に統合されることにより制服はなくなってしまうのでしょうか？もしそうであればとても残念に思います。	富山北部
7	11/4	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	北部地区の町内在住です。出された案ではB案が通学の面からはいいのではと考えます。特に小学生の通学には、十分な父兄や地域住民との議論が必要かと。小学校から中学校への進学については柔軟な対応が必要と感じます。また学校再編は、地域住民にも大きな影響があり、地域だけで考えるのではなく、市全体で生活へのフォローアップが必要と考えます。少子化が進む中避けてはとうれませんが、データだけにとらわれない隠れた部分にも考慮されることを望みます。	富山北部
8	11/14	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模校をなくすのは反対です。 時代の流れで、子供の人数減少に伴い仕方のないことだとは思いますが、しかし、大人よりも子供たちの方が時間の長さは長く、また子供たちの未来のための時間を奪うことになりかねません。通学バスより、歩いた方が道端にはいろいろな発見があり、それもまた子供たちには学びです。また、岩瀬の文化も子供たちにより守られにくくなっていってしまうでしょう。少しの人数の親の声、子供の声、大切にしていってくれる富山であってほしいです！！とにかく反対です。	富山北部
9	11/15	郵便	市内に在住、又は通勤・通学している個人	私は、富山市■■■■■■■■の■■■■■■です。今回、富山市が公表した学校再編成原案（抜粋）について、コメントさせていただきます。A案・B案に対しては時代の流れと受け止めてはいますが、平成の市町村合併があり、今度は身近な富山市立小中学校の再編という案が示され大変困惑しているところでもあります。A案・B案は統合を前提とした事案ですが、その前に地元の小学校が無くなればどうなる？という懸念があるものですから、違った意味でのパブリック・コメントとします。 現状として統合をさせられる側は、隣接する新庄校下・豊田校下・大広田校歌下は商業地や住宅地等で発展している中で小学校を統合させられると隣接する校下との格差が益々生じ衰退への道を歩むのではと危惧しております。今後、新たに人口を増やし発展させてく条件として、病院まで〇〇m、スーパーまで〇〇m、中学校まで〇〇m等とよく記されますが、統合する小学校までが4～5*の距離では有効性に乏しく敬遠されてしまうのではと思っております。 針原地区は田園の占める割合が多く清閑な地では有りますが、伸びしろがあり、今、地元で新たなスーパーもオープンし病院もあり、あいの風鉄道東富山駅（東口）も設置され、利便性が増して良い環境になりつつある地の芽を摘むようなことには喪失感を持たざるを得ません。 私には教育の現場などは分かりませんが、児童数と教育は比例しないと記事にもなっていました。少ないなりに、人間性豊かな温もりを伝え合い思いやりを育むことが、今の社会を通じて大切な要素ではないだろうか。 校舎・体育館・グラウンドは、地元にあって笑みがこぼれ、愉しく汗を流せ、交流の場として児童と共に共有出来、深い絆が生まれ形成されていくものだと思います。また、近年は災害が多く発生していますが、グラウンドや体育館は近場の大切な避難場所として校下には欠かせない施設でもあり、避難弱者を増やさない為にも針原小学校の存続をお願いしたいと思っております。以上	富山北部

パブリック・コメント 和合

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
1	11/1	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	萩浦校区に在住しています。北部地区の小学校再編原案に原則賛成です。岩瀬小学校の萩浦小学校への統合は必然と考えます。但し萩浦小学校は岩瀬小学校から分離した経緯があり、岩瀬校区在住の方にすればすんなり了承は出来ないかと思います。しこりが残らないよう配慮願います。更にですが、以下に示す事も考えられてはどうでしょうか？ ・草島小学校を萩浦小学校へ統合する。 和合地区の通学距離と交通の便を考えると、萩浦へ統合するとフィーダーバスでの通学が可である。 ・通学区域を見直し、犬島地区の児童は萩浦小学校への通学とする。 現在は豊田小学校→岩瀬中学校となっており、新豊田小学校への通学距離が長くなったことと岩瀬中学に入学であるので初めから萩浦小学校への入学であれば交友関係がスムーズにいく。 ・通学区域を見直し、住友・中田地区の児童は萩浦小学校への通学とする。 両地区は通学において産業道路の横断が必要であり危険防止の観点からと大広田小学校との児童数の均等化を図る。 以上、私なりの考えを述べさせていただきました。ご配慮いただけたらと思います。	富山北部 和合
2	11/4	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	・和合地区の統合について 実家が八幡地区で、和合中学校まで通学していたが3kmは直線距離の話で実際の通学路で学校まで行った場合4.6kmあった。気候の良い時期は自転車でも問題ないが、雪の降る日は歩いて学校に行くのは困難でした。パブコメの所にあった資料を確認した所、3km以上通学する児童がなるべく少ない所に統合先ができるといいと考え、八幡小学校の位置を統合先にすることがいいと思いました。八幡小学校に通学していたときは、県道7号線の交通量が多く地鉄バス通学でした。（料金は各家庭負担）希望者だけでもよいし、冬季限定でもいいので、スクールバス（運賃希望家庭負担）通学ができればいいと思います。 ・大泉中学校について 今住んでいる地域が、堀川小学校、大泉中学校校区なので大泉中学校が1クラスしかないのに再編の対象から外れていることに違和感を感じました。堀川中学校は9クラスある学年もあり、どちらも徒歩圏内にある中学校であるが人数に偏りがありすぎると感じます。 1学年1クラスだと入りたい部活動がなかったり友達も選べないと不便だと思います。近所の中学生は堀川小学校から大泉中学校に進学することが決まった子達は堀川中学校に抽選に漏れて入れなくて入学式からしばらくはどんよりしていると聞きました。せめて住所に「大泉」が地名に入っている地域は大泉中学校に通学とできれば堀川中学校との人数バランスがとれるのではないかと考えます。	富山中央 和合

パブリック・コメント 和合

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
3	11/9	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	再編原案「和合地域」P22、和合中学校への統合についてのコメント欄において、各項目にコメント記載があるが、それに対する教育委員会の思想（どう対応するつもりなのか）がコメントされていないため、自治として、保護者として、住人としてどうなっていくのか不安である。水橋地区やその他事例をもとに、コメント欄にある課題についてどう向き合っていく方法があるのか提示してほしい。 それに基づいて自治、保護者、住人としての考えがまとまると思います。 コーホート変化率法に基づいた児童数の変化予想となっていますが、実際の児童数減少はもっと激しく起こってくると考えています。（倉垣でのコーホートではR7児童数は154名となっていますが、実際の出生人数からすると130名前後と聞いている） 実際には、このような急激な児童数減少でコーホートでの予想を超えていくと想像すると統合後の中学校の学校規模は、R10年前後にはまた小規模校となり再々編を考えなければならないのでしょうか？ 都市計画や自治の活性化・特色強化等、政策と共同して取り組んでいかなければならないのではないのでしょうか？ 特に、再編地域に範囲されているところは、都市計画調整区域となっているところが多いように感じます。 住宅を構えたくても出来ない地域に、いくら統合というテコ入れをしてもその場しのぎと見えてしまいます。このような地域は人口減少（児童数減少）が止まらないと思います。 また、統合により学校がなくなった地域は、さらなる人口減少が進むのではないのでしょうか。 小規模校のメリットの最大化、デメリットの最小化を模索することはできないのでしょうか。統合と並行して小規模校のメリット最大化を進めていかなければ、統合を待っている間の児童が放置されているようで残念です。	和合
4	11/13	入力フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小学校の編成に関して、単に人数合わせの合併を考えるのではなく、まだ幼児である生徒の通学の利便性は元より、これからの社会状況の多様化、既に顕在化している児童本人や家庭環境の多様性を考えて、地域によっては、例えば、いま考えられている四校を一校にするのではなく二校にすることを考えられて良いのでは。	和合
5	11/15	入力フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	子供達が実際に再編先の学校に登校するのはいつですか？冬や雨の日、低学年の登下校が大変になるのでは？和合地区の中学校に隣接とあるが、中学生は自転車通学で小学生は徒歩なのはおかしいのではないかと？和合地区が広いのでやはりスクールバスを出すべきでは	和合

パブリック・コメント 呉羽

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
1	11/6	入力 フォーム	市内に在住、又は 通勤・通学している個人	寒江小学校の子どもたちは、老田小へ統合後、さらに呉羽小に統合される案のようですが、それなら最初から呉羽小へ統合してしまった方が寒江の方の負担が少ないように思います。 資料を見る限り、今の老田小に池多・古沢・寒江を統合できる教室は足りなさそうですがどうするつもりなのでしょう？呉羽小学校の生徒は昔、全体で1, 000人近くいましたが、その頃と今は同じ校舎のため、教室がかなりたくさん余っています。今すぐに長岡小と寒江小を呉羽に統合するのは無理でも、少し時期をずらせば全く問題ないと思います。 また、山田や細入だけは小規模校をあえて残すのも案ではないでしょうか。市の財政的な面から、人口規模の小さい山田や細入は廃止される施設も多く、地域の最も象徴的な存在といえる小学校をなくすのは乱暴な感じがします。また、災害が起こった時の避難施設機能もあると思います。地元の方々に意見を聞いて、時間をかけて調整する必要があると思います。	呉羽 山田 細入

パブリック・コメント 呉羽

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区																													
2	11/9	メール	市内に在住、又は通勤・通学している個人	富山市立小・中学校再編に関する意見 小学校の再編に関して、小学校卒業後に進学する中学校や地域の方々による安全確保(下校時の安全パトロールなど)などの点においても地域生活圏内での再編には賛同できます。しかし、提示された再編原案は一部を除き地域生活圏内での再編であるものの、違和感を覚えた部分があったため、以下に意見させていただきます。呉羽地域在住のため、<u>具体的内容は呉羽地域についての意見</u>です。 【1】再編検討対象校について、複式学級が存在する学校および単学級かつ学級人数が適正規模(21人以上)に満たない学校を優先して再編検討していただきたいと考えます。 呉羽地域は6校中5校(小学校のみ)が該当しており、すべてを適正化しようとすることで、通学距離や教室充足状況において不都合が生じているように感じました。たとえ単学級であったとしても、学級人数が適正規模であれば、子どもの学校生活(学校行事や部活動、子ども同士の切磋琢磨、多様な考えへの理解など)は満足できるのではないかと考えます。再編対象校すべてを一度に適正化しようとするのではなく、より優先度の高い学校から状況改善(再編後の課題が最小)となるような再編を期待します。 【2】通学距離に関して、<u>徒歩通学を前提として再編検討していただきたい</u>と考えます。現状の再編検討案では、通学距離が3Km以上となる児童の割合が高く、多くの児童が徒歩通学できない状況が想定されます。しかし、体力増強や安全のためにも基本となる通学方法を徒歩通学とし、徒歩通学ができない児童はごく少数(やむを得ず一部地域の児童のみ)であることが望ましいかと考えます。また、<u>校区があまりにも広いことは、放課後(帰宅後)や休日など学校以外の面で不安があります</u>。自転車での長距離移動は危険を伴い、安全面を考えた場合、たとえ校区内であっても、保護者としては遊ぶ場所を制限せざるを得なくなることも想定されます。放課後や休日に子どもたちが遊ぶ姿をよく見かけますが、校区が広がって交友関係が広がった場合、特に小学校低学年においては移動の面で心配です。同じ小学校に通うのに、放課後や休日に遊べる友達、遊べない友達を選別することも難しく、保護者としては複雑な思いです。通学距離に関して、<u>子どもたちの移動は登下校のみではない</u>ことを考慮していただきたいです。 【再編原案に対する疑問点】再編原案において、寒江小学校校区の子ども達は、呉羽小学校に通う方が通学距離3km以内となる児童が多いにも関わらず、老田小学校への統合となっていました。これを見ると、人数合わせをされている(老田、古沢、池多3校の統合では小規模、呉羽、長岡2校の統合だけでも大規模)ように見えました。再編すること自体には賛同できますが、生活地域圏内に2つの小学校が残るにも関わらず、わざわざ遠くの小学校に統合される(徒歩圏外に通学させなければならない)案が出ていることに不信感を覚えます。 <table><tr><th>再編対象</th><th>再編先</th><th colspan="2">通学距離3km以内</th></tr><tr><td>長岡小</td><td>呉羽小</td><td>149人/ 158人</td><td>94.3%</td></tr><tr><td rowspan="2">寒江小</td><td>老田小</td><td>15人/ 90人</td><td>16.7%</td></tr><tr><td>呉羽小</td><td>65人/ 90人</td><td>72.2%</td></tr><tr><td rowspan="2">老田小</td><td>老田小</td><td>(147人/ 147人)</td><td>100%</td></tr><tr><td>呉羽小</td><td>58人/ 147人</td><td>36.8%</td></tr><tr><td rowspan="2">古沢小</td><td>老田小</td><td>20人/ 41人</td><td>48.8%</td></tr><tr><td>呉羽小</td><td>0人/ 41人</td><td>0%</td></tr></table>	再編対象	再編先	通学距離3km以内		長岡小	呉羽小	149人/ 158人	94.3%	寒江小	老田小	15人/ 90人	16.7%	呉羽小	65人/ 90人	72.2%	老田小	老田小	(147人/ 147人)	100%	呉羽小	58人/ 147人	36.8%	古沢小	老田小	20人/ 41人	48.8%	呉羽小	0人/ 41人	0%	呉羽
再編対象	再編先	通学距離3km以内																																
長岡小	呉羽小	149人/ 158人	94.3%																															
寒江小	老田小	15人/ 90人	16.7%																															
	呉羽小	65人/ 90人	72.2%																															
老田小	老田小	(147人/ 147人)	100%																															
	呉羽小	58人/ 147人	36.8%																															
古沢小	老田小	20人/ 41人	48.8%																															
	呉羽小	0人/ 41人	0%																															

パブリック・コメント 呉羽

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
3	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	・今、年中と2歳児の子どもがいます。元々大学進学後に富山県を離れ首都圏で生活していました。コロナ禍の影響もあり、昨年度子どもたちと地元富山に戻りました。 ・自分がそうであったように、地域のつながりがある中で子どもたちに成長していったほしいという思いや実家から長岡小学校まで徒歩5分ほどであることも移住の決め手になりました。 ・ところが、長岡小学校は再編の対象になり、再編されれば呉羽小学校校下になります。徒歩5分であったものが徒歩40分ほどになります。ランドセルを持った子どもの足だともっとかかるかもしれません。 ・移住前に長岡小学校が閉校になる可能性があるとはわかっていたなら、移住しませんでした。閉校されれば、増々子育てしにくくなり、若者や子育て世代が減ってしまうのではないのでしょうか？ ・小学校の校区は地域のつながりの単位でもあると思います。小学校が閉校になれば地域のつながりも壊れてしまうのではないかと危惧しております。 ・もしも、呉羽小学校まで通うことになるなら、徒歩で通学になるのでしょうか？交通量がそれなりにあるけれど歩道が整備されていない区間が多く、子どもたちだけで毎日歩くのは不安です。車はたくさん走っているけれど、歩行者がほとんどいない道を子どもたちだけで歩くのは不安です。もしも、呉羽小学校に統合されるならば、通学路の整備やスクールバス、公共交通機関の充実など、長距離の移動を安全安心にできるようになにかしらの工夫をしていただけると幸いです。 ・呉羽小学校よりも桜谷小学校の方が家から近いです。生活圈も呉羽よりも桜谷よりです。長岡小学校が閉校になってしまったら、桜谷小学校に通うことは可能でしょうか。小学校在校中に長岡小学校が閉校になるなら、はじめから桜谷小学校へ通ったほうがよいのではないかという思いもありますが、可能なのでしょうか？ 小学校就学を間近にひかえた子どもがいる身には小中学校の再編は切実な問題です。個人的で感情的な意見になってしまい、申し訳ありません。子育てしやすい富山市でありつづけてほしいと思っています。よろしくお願いいたします。	呉羽
4	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	富山市立小・中学校の再編原案に関するパブリックコメント ■■■■■■■■■■■■■■ ■■■■ 再編原案以前の根本的なことについて2点質問します。 1 小学校の適正規模を12～18学級としています。その根拠を具体的に、分かりやすく説明願います。適性の中身が良くわかりません。なぜかということ、私の地元に寒江小学校がありますが、何十年も単級で児童数もそんなに多くありません。しかしその間、児童数が少ないことによる問題が起きたという話を一度も聞いたことがありません。また、学力や体力についても他校に比べ劣っていることは決してないと聞いています。むしろ、見守り隊で顔を合わせると元気よく挨拶するし、楽しそうに通学しているのを見ると、小規模ながら上手くやっているなと思っていました。それが今回、再編対象校となっており、適正とはどういった項目でどのように定めたものなのか具体的にわかりやすく説明願います。 2自治会の活動をしていて頭の痛い問題は、住民数が減ってきている事と、空き家が増えていることです。対策として、若い人に家を建ててもらるか、空き家を活用して住んでいただく事が重要と思っています。その時、地元小学校がないというのは大きなマイナス要因になります。もし、地域に小学校が無くなれば、もっと急速に住民数が減っていくと思われ大変危惧しています。しかし一方で、国と県では地方創生にもっと力を入れて行くことが打ち出されています。東京の一極集中を是正する為に、IT技術も活用して地方の人口を増やし、地方をより活性化しようと言う政策と理解しています。私には、この政策と、地方の小規模な小学校は統廃合して無くしていこうとする計画とは、矛盾しているように思います。 これについて見解をお聞かせ願います。 以上、上記2点について回答の程よろしくお願い致します。	呉羽

パブリック・コメント 呉羽

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
5	11/15	メール	市内に在住、又は通勤・通学している個人	学校再編について わが寒江地区は小さいながらも地域に根ざし、学校と自治会が力を合わせて地域を盛り立てています。縦割り活動も積極的で、高学年が進んで下の子の面倒をみる風習が自然にできる校風です。また、父親の会を自発的に作り、行事などでは子供たちを喜ばせようと頑張ってくれています。このような環境だからか、寒江小学校は不登校もおらず、欠席児童なしの日数もトップクラス。本当に素直ないい子たちばかりです。 学校がなくなるとお年寄りのやりがいも失われてしまいます。健康面でも影響もあると考えます。市全体でみると、小さな地域です。それでも、寒江にはすばらしいコミュニティがあります。統合について、本当に賛成多数でしょうか？アンケートの漠然とした質問方法、回答方法により都合よく操作されていませんか？寒江は調整区域のために過疎化した不運な地区です。このような形で統合を進められることは納得いきません。 少子化だからこそ、ひとりひとりを大切にし安心して産み育てられる環境を大切にしていきたいと切に願います。	呉羽

パブリック・コメント 富山西部

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
1	10/16	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	今朝新聞で学校統合の記事が掲載されており、母校の神明小学校が6学級で、五福小学校に統合案がありました。小学校は昔から思い出があり、私の実家の町内からも安心して通わせることができる環境、距離です。学級が少ないからというだけで、統合されるのは、人員を削減し、税金対策にしか思えません。恩師の現役小学校教師も、小規模校メリットが大きいと感じているようです。小規模学級を希望し移住されている人もいます。 最近では、育児はただでさえ大変なのに、ひとり親も増えていて、長い距離や通学路の危険から送迎の親の負担も増えています。スクールバスを運営とも書いてあります？、今はコロナやゲーム・スマホで家にこもりがちな子供たちの体の強化にも自分の足で通学できる距離が理想的です。 何よりも、小学校の存在は地元愛を育み、生まれ育った土地を守ろうという心の支えてになると思います。私は1歳の子供もいずれ神明小学校に通わせたいと思っています。 自然破壊も進み、無駄な税金を使っているように思います。未来ある子供たちのために自然や学校を残してほしいです。 教育委員会がそのような案をだされることに残念ではなりません。そこに工夫や小規模ならではのよさ、安心感など、着目されることはなかったのかと思います。子供の心は繊細で、きめ細やかなケアが必要で、大規模にするメリットを感じません。少子化対策だけを言っていてはいけないと思います。強く反対します。	富山西部
2	10/16	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	富山市西部です。通学に3km以上が50%をこえています。低学年ではクロムブックや体操服などをランドセルに入れて歩くことは困難です。現状10分の距離でも重い重いとふらふらして歩いてます。通学距離が長くなると車通りも多いので安全面の心配もあります。スクールバスは必須です。また、五福地区は通勤時間も混み合うため、学童の迎えにも間に合わなくなり、働き方をかえなければいけなくなります。個人的には再編には反対です。	富山西部
3	11/11	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	神明小学校から徒歩2キロ圏内に来年に家を建てるものです。上の子と下の子を神明小学校に通わせる為に近くにくることにしました。五福小学校に統合となると3キロを超えるとバスがでるのではないかと思います。もし統合となるのであれば必ずスクールバスを出して頂きたいです。高学年になってもバスを出していただけないかなとも思っています。 また母親の私も仕事をしてますので、何かあった時のお迎えを考えるとなるべくなら近くの小学校に通わせたいという思いもありますし、少人数制の学校の方が私共夫婦の考えでは教育面で良いのではないかなと思ってます。 できれば統合せず、歴史のある小学校でもあるので残して頂きたいです。また、統合するのであればスクールバスを高学年までだして頂きたいです。 最新のお知らせなどあればすぐしりたいのですが、告知などは可能でしょうか？よろしくお願い致します	富山西部
4	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	私は富山市の神明地区から富山県漕艇場に通い部活動に参加している大学3年生です。部活動で細入の神通碧小学校の横を通ります。大沢野を通り漕艇場に車で通学しているのですがとても遠いです。小学生の頃は歩いてランドセルを背負って通うのが楽しくて、日常でした。それを大久保小学校に統合するとその日常すら失われ、また楡原中もなくなると細入はただの飛騨市に近い山になってしまうと思います。山には獣も多く、部活動中もよくみかけます。また猟師さんの音もきこえます。細入に小学校、中学校がなくなってしまうと人口流出がとまらないとおもいます。ただでさえ行きにくい、生活しにくい地域をもっと生活し辛くしないでください。なので小規模校を無くすのは反対です。 また、自分の住んでいる神明地区に関してですが、校舎の老朽化も進んでいることは確かですが母校がなくなる寂しさと、五福に統合されると通学が大変になると思います。神明小から五福地区に行く道は歩道がきれいに整備されてなく小学生には危険だと思います。また神明地区から五福小学校は自転車でも面倒くさくなるほどの距離です。統合するなら、スクールバスの整備、通学路の整備をしてからすべきだと思います。 もしそれができないなら今の保護者さんに負担がかかるだけで子育てし辛くなると思います。小規模校を無くすことも大切かもしれませんが今いる人たち、これから通う人たちの生活も守ることも大切です。財政てきに厳しい部分はあるかと思いますが、私は小規模校を無くすのは反対です。	富山西部 細入

パブリック・コメント 富山東部

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
1	10/16	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	太田地区に住んでいます。統合はやむを得ないが、現在の山室中部小学校では通学距離が長すぎるので将来校舎改築の際は横内地内高速道路近くに移設する事が条件です。	富山東部
2	10/16	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	太田小学校に在学中の子供がいます。統合には慎重な意見です。太田小学校は、全学年単級ですが、学校の工事は完了しており、安全に学習できます。また、小規模校であるために、このコロナ禍でも運動会、発表会、参観日、制約はありつつも実行できています。先生方の中には通勤も大変な方もいらっしゃるでしょうが、毎日頑張ってくださっているおかげで、子供達はのびのびと過ごしている様子です。 統合先は山室中部小学校との事ですが、体育館は工事されたようですが、校舎はまだ古いです。全て新しく完了してからでもいいのではないのでしょうか？ また、登校については、どのようにお考えでしょうか。半分以上の児童がバス通学になるのではないかと思います。乗り換えが必要です。スクールバスを手配してくださるのでしょうか？また運賃はどうなるのでしょうか？現在徒歩通学できているのに、通学バスの負担はできません。 そして、統合後は大規模校になるが、年度毎に次第に落ち着いていく予想との事ですが、コロナ禍の今、大規模校にする必要がありますか？ 統合して、中規模校になる程度になってからでもいいと思います。 大規模校の子供達は運動会も発表会も、遠足、宿泊学習、全て中止、延期になっていると聞きます。今は統合して削減するより、学校を分散して、子供達に学びの場をたくさん与えてあげることが大切ではないかと思います。 子供は宝だと言う割に、なぜ子供の学びの場を奪うのでしょうか？削減すべきは他にあります。 中学校の校区は違いますが、隣の堀川南小学校は、大規模な上に校舎も狭く大変だとの事です。堀川南小学校に通う子供達には、太田小学校に通った方がはるかに近い地区の子供がいます。その地区を太田小学校校区に入れてくだされば、太田小学校の全学年単級も解消されます。 現時点での統合は、賛成できません。	富山東部
3	10/16	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	富山市太田小学校再編について。距離も遠い？どう通うのか？？少人数だから出来た全員学習が出来なくなる？行事も違う。色々な納得出来ない事ご多々あります。なぜ、学区も遠い中部小学校なのか？？等、挙げたらキリがないです。納得が出来る説明と、子供達の事を第一に考えて下さい。	富山東部

パブリック・コメント 富山東部

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
4	10/16	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	太田小学校再編について 太田小学校校区は堀川南・山室中部・山室小学校校区に隣接しているため、それぞれの隣接校区への就学希望が容認されているため、必然的に太田小学校就学児童数は35人未満となり、校区再編対象とならざるを得ないのは理解できるが、それを認めてきた行政側のあり方は、大いに疑問を抱かざるを得ない。太田小学校校区在住児童全員が、同校就学としていれば各学年複数学級となり、再編対象から外れることは明白であると共に、再編対象とするのであれば、同校の施設整備の必要性はなかったであろう。太田小学校は、富山市内の小学校の中でも、同校施設周辺道路を利用して、安全にジョギングコース等を設定する立地に恵まれており、生徒児童の体力づくりの観点からも、今回の再編計画は、大いに疑問を抱かざるを得ない。また、同校の山室中部校区への再編は、いたずらに登下校距離の拡大に繋がり、特に冬季積雪時期における児童生徒の登下校に伴う安全管理については、どのように確保していくのか、太田校下住民が、登下校の安全確保のために、多くの地権者の理解を得ながら、長い時間をかけて、県道等の歩道整備を続けてきたことへの努力とその意味合いについて、富山市側はどのように考えているのか。 教育環境の整備というものは、他校区から引越しをしてでも、太田小学校で学びたいというように教育レベルの向上に努めることも大切な視点である。このことは片山学園小学校を例にとれば明白なことでもある。私学でなければできないということではなく、むしろ、公立であればこそ、私学側を凌駕する教育内容の向上は可能であると考え。私学や公立学校の教壇に立つ教師は全て、養成校の同じデスクで学び、教員免許状を所得したのであれば、ものの考え方ひとつでそれは可能であり、またそうでなければ、教壇に立つ資格はないだろう。各学校共、運動面、学習面等、例えば、器楽演奏をしたいのならこの学校、バレーボールをしたいのならこの学校というように、それぞれ特色を持たせた学校づくりに努めることが大切な視点であり、そのために中央から優秀な教員を招聘し、各校に配置することも、行政側担当官の腕の見せ所であると共に、他府県からの就学生徒の増加に繋がるように、各校の教育力向上と知名度向上を図ることも必要なことであると考え。現場の教職員の意識の向上が、教育力の向上に繋がり、各校の特色を生み育てることになる。競争があってこそ向上するという極めて当たり前の意識を持つことこそ、これからの日本を背負って立つ人材を育てることに繋がる。その最前線が小学校教育である。 私は行政官個々の底力を信じている。再考を希望する。	富山東部
5	11/6	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	富山市太田に住んでいる一児の母です。太田小学校の児童は山室中部小学校への統合だと新聞で読みました。太田からは山室小学校、山室中部小学校もさほど変わらない距離にあります。なので、山室小学校への統合案もあっていいのではないかと思います。実際にご近所で山室小学校へ通われているご家庭もあります。ご検討のほどお願いします。 追記)太田から山室中部小学校へのスクールバスが検討されていると思いますが、それならば太田から山室小学校へのスクールバス検討もよろしくお願いします。気候や不審者等の安全面から通学距離が遠いと保護者として心配です。	富山東部

パブリック・コメント 富山東部

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
6	11/9	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	富山市太田小学校の在校生として意見させていただきます。とても名高い、歴史のある太田小学校を閉校させるとするのは反対意見です。周辺は田畑に恵まれておりますが、近い未来10年先20年先を見据えると宅地になり、住宅が増え子供の数が増えることを考えると良い場所に学校があるのにととても残念だと感じます。 もちろん、街の方へ向かえば更に住宅はありますがマンモス校になる可能性があります。太田小学校は歴史がとても深く、街の小学校では体験出来ない、田んぼで稲作や収穫をしたり畑を体験したりと、子供達の心の発達を豊かにしてくれる環境が充分です。また卒業後高校へ進学する際も近隣に高校もありますし、バス通りに面しているのでアクセスも良いです。 ここで言いたいことはそれだけのことで発言している訳ではありません。私、子供、兄弟、父、祖父、祖父の兄弟と通ってきた場所であるから、いつも見てきた景色と校歌、名物とされるイチヨウの木を太田っ子で守っていきたいです。説明すると伝えきれない文化が沢山あります。 もしかするとそこまで意見は集まっていないのかなと勝手に思っていますが、意見したくても高齢で出来ない人や富山から離れてしまった人など、もしかしたら太田小学校が再編の候補に上がっていることを知らない人もいるはずです。 再編になった場合は、悲しいね、寂しいね、どうしてかな、人が少ないからね、若い人が減ってきてるからね、と色々な意見があるかと思いますが、近い未来、長い目で見て私達の子供の世代（今の小学生達）が親になった時にまたこの場所に帰ってきてもらえる環境になることを願って、お願いします。色々な計画などもう決まっていますか。分かっていますが、もう少し小学校を再編する理由を具体的に説明していただきたいです。 小学校側からそういった連絡ごとなどないのでしょうか。この意見の件数が少なければもう決定になりますか。皆さんの署名無くては決定してしまうのでしょうか。簡単ですがそう思います。どうかよろしくお願いします。	富山東部
7	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小学校の統合は反対です。周りの自然が豊かな環境の学校に通わせたいと太田小学校の近くに引っ越してきました。小規模ですが児童が30人以上おり、運動会や発表会などの行事も問題なくできていると感じています。山室中部小学校まで徒歩での通学は児童にはとても歩ける距離ではないと思います。スクールバスなどの導入の予定がなければ遠くて通いづらいです。数年前に改築した校舎をなくすのももったいないと思います。	富山東部
8	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	〈太田小学校の統合について〉 現在の案では、太田小学校は山室中部小学校と統合し、使用される校舎は山室中部小学校ということですが、この案には反対致します。理由は2つあります。 まず、1つ目は、太田小学校よりも南側（関、西の番、中屋、大場等）に住んでいる子どもたちは、通学が困難になることが思慮されるからです。現在、西の番、大場に住む子どもたちは太田小学校までバス一本で通学している状況です。西の番や大場から、山室中部小学校まで直通のバスはありません。市はスクールバスや安全に通学する事ができる道路を新設していただける等の援助はしていただけるのでしょうか？また、路線バスで通うことになるのであれば、太田小学校より南側に住んでいる子どもたちは、バス通学の可能性が高いですが、6年間のバス代は負担が大きいです。やはり、歩いていける距離に学校があるというのがベストだと思います。 2つ目は、校舎を新しくしたのに勿体ないからです。校舎を新しくしてからまだ数年しか経っていません。また、太田小学校のグラウンドは広く、水捌けも良く、子どもたちが運動をするのには、とても良い環境です。 太田小学校があることによって、バザーや文化祭などで、地域の若い人や高齢者が顔を合わせて話すことで、太田の繋がりというものが出てきていると思います。歴史と伝統ある太田小学校をぜひ残す方向で考えていただきたく思います。よろしくお願い致します。	富山東部

パブリック・コメント 大沢野・細入

[illegible]

パブリック・コメント 大沢野・細入

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
5	10/25	FAX	再編計画に利害 関係を有する者 及び法人その他 の団体	飛騨市にあります当地区は、約70年前より猪谷中学校へ越境入学させていただいています。小学校も分校が廃校になり約60年前より猪谷小学校へ通うことになり、保育園も細入にお世話になっています。岐阜県側は保育園から神岡まで通学が必要です。通学は車で約30分以上かかり、冬季にこの山岳道路を通うことを考えると、楡原は15分程度で通学でき非常にありがたく思っています。今回大沢野へ小、中学校を統合という案があります。通学は神岡程ではありませんが、児童への負担が多くなることは否めません。 県外から口出しするのは非常に烏滸がましいのですが、できることなら楡原地区への越境入学を今まで通り続けさせて頂ければ幸いと考えております。 小中一貫校でも問題は無いものと思います。 ー以上ー	細入
6	10/26	FAX	市内に在住、又 は通勤・通学し ている個人	義務教育学校の設立に向けて取り組んでいるのにも関わらず、このような結果は残念でなりません。親の負担はもちろん、子供の心身的負担も大きくなると考えます。様々な環境の変化による影響が心配です。 少人数ということだけで、合併という判断は違うように思います。子供一人ひとりが伸び伸びと学べる場を提供することが第一だと思います。 将来、さらに人が減ることも考えられますが、今ある環境を生かす取り組みをしていただきたいと切に願います。 合併には断固、反対です！	細入
7	10/27	入力 フォーム	市内に在住、又 は通勤・通学し ている個人	細入地域の小中学校を残してほしい。児童・生徒数、学級数という数合わせだけで学校再編するのは納得できない。細入地域の小中学校は学力的に成果を上げ、ユネスコスクールやESDでも特色がある。そんな、成果を上げたり、特色ある学校を地域存続のために残してほしい。	細入
8	10/28	FAX	市内に在住、又 は通勤・通学し ている個人	細入地域は南北約12kmあり、現在もスクールバスによる通学となっています。大沢野小学校と統合すると、30分近い通学時間になる子供も出てくるので大きい負担になってきます。 また、冬季間になると積雪によってスクールバスの運行に支障をきたすこともあり、到着場所で子供の帰りを待つ父兄にも大変負担がかかります。 私は猪谷に住んでいますが、15年前、細入村の時に楡原小学校と統合し今の神通碧小学校となり、猪谷には小学校がなくなりました。 学校がなくなると地区からの転出者が多くなり、今では小学性が1人しかいなくなりました。学校が地域からなくなることは、地域の衰退に大きな影響があると思いますので、細入地域に小学校を残していただきたい。	細入
9	10/28	FAX	市内に在住、又 は通勤・通学し ている個人	原案は、生徒数を考慮したもので、再編ありきの案になっています。むしろ、現状の生徒数を如何に維持し、更に増加させてゆく方策を検討するのが必要ではないでしょうか。 私たちの地域は、過疎化が進み、若い人が通勤や通学に便利なまちに移住する状況で、今回の再編で更にその状況が加速されると懸念されます。 私の子供の頃は、政府の教育方針で山間の地域に必ず小さな小学校があり、雨や雪の日も歩いて通学し、住民に見守られて育ちました。 少なくとも小学生には、地域に愛着を持たせ、地域の人達にかわいがられながら、成長してゆくの が良いのではないかと思いますので、小学校については、現状の維持を強くお願いいたします。 また、大規模校では実現できない教育の推進を図り、他の地域から通学を希望するような学校にしてもらえないでしょうか。 中学校については、部活動などの活動が少人数で出来ないことなど、友達が限定されてしまうこと などを考慮し、通学バスなど子供に負担のかからない状況を配慮いただければ、再編もやむを得ない ものと思います。 通学バスは、国道41号線を利用することから、大雨での通行止めが無いように、現在進めているバ イパス工事の早期完成と、大雪時の除排雪の充実を強く要望いたします。 以上、私の個人的な意見ですが配慮の程、よろしくお願い申し上げます。	細入

パブリック・コメント 大沢野・細入

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
10	10/29	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	うちは■人います。■人兄弟で、■■人が小学校行っています。小さい学校で、子供1人ずつちゃんとみてもらってるなので、成績やスポーツも伸ばせる事ができます。神通碧小学校残してほしいです。	細入
11	11/1	郵便	再編計画に利害関係を有する者及び法人その他の団体	現在神通碧小学校と榆原中学校は児童数、生徒数が少なくなっています。そのため他の小、中学校で出来る学びが難しくなっています。統合し大きな学校に通えることは良いと思います。しかし登下校に約40分程かかり児童、生徒、保護者に変な負担がかかると思います。又、この負担が地元を離れるということにも繋がり、児童、生徒だけではなく住民も少なくなってしまうと思います。ただ児童数、生徒数が少ないからといって統合するのではなく児童、生徒、保護者地域の住民によく話を聞いて決めていただきたいと思います。	細入
12	11/1	郵便	再編計画に利害関係を有する者及び法人その他の団体	私富山市庵谷から中山に嫁に来ました（榆原中卒）そして子供2人も榆原中学校卒業しました。だから母校がなくなるのはとても悲しくなります。だから絶対に榆中は残してほしいです小学校もいっしょです	細入
13	11/3	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	私は、学校再編の大沢野・細入地域の原案に反対です。昨年、細入地域から義務教育学校の要望書を提出していましたが、それに関しての記載はありませんでした。要望書に対する取り扱いはどうなっているのでしょうか？ 学校の規模から考えると、人数が少ないというデメリットはあります。しかし、現在、神通碧小学校と榆原中学校は同じ建物内にあり、小中合同の行事がたくさんあります。年齢を超えた交流があり、学校外でも仲良く交流しています。小さい学校ながらも全員のことを知っていることに安心感があり、親も子供も伸び伸びと活動できています。人数の多い学校では経験できないことでも、人数が少ないことにより経験できるチャンスも多く与えられていて、回を重ねるごとに自信もついてきています。 また、一人一人に目を向けられる余裕が生まれ、地域の子供たちの良さがたくさん見えます。義務教育期間は、一人一人に目を向けてもらえるこの教育環境で、人としての土台をしっかりと築いていってほしいです。 個性を尊重する時代に変化している中、新しい教育の形として、数ある県内の学校を同じような適正規模の学校だけにするのではなく、新しいことにチャレンジしやすい小規模で小回りの利く学校があってもいいと思います。公立であっても、様々な特色を持った学校を作ってほしいと思います。 未来を担っていく子供たち一人一人が輝けるように考えていただきたいと思います。 そして、この細入地域に学校がなくなってしまうたら、ますます高齢化が進み、この地域に残る若者がいなくなってしまうと思います。地域存続のためにもこの地域に学校を残してほしいです。	細入
14	11/6	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	寒江小学校の子どもたちは、老田小へ統合後、さらに呉羽小に統合される案のようですが、それなら最初から呉羽小へ統合してしまった方が寒江の方の負担が少ないように思います。 資料を見る限り、今の老田小に池多・古沢・寒江を統合できる教室は足りなさそうですがどうするつもりなのでしょう？呉羽小学校の生徒は昔、全体で1,000人近くいましたが、その頃と今は同じ校舎のため、教室がかなりたくさん余っています。今すぐに長岡小と寒江小を呉羽に統合するのは無理でも、少し時期をずらせば全く問題ないと思います。 また、山田や細入だけは小規模校をあえて残すのも案ではないでしょうか。市の財政的な面から、人口規模の小さい山田や細入は廃止される施設も多く、地域の最も象徴的な存在といえる小学校をなくすのは乱暴な感じがします。また、災害が起こった時の避難施設機能もあると思います。地元の方々に意見を聞いて、時間をかけて調整する必要があると思います。	呉羽 山田 細入
15	11/7	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	神通碧小学校は残してほしい。小学校が遠くなるのは、子供の負担が大きい	細入

パブリック・コメント 大沢野・細入

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
16	11/7	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	○小・中とも校舎が新設され耐震化も終わっており安心して長く使用できる。財政論や市内一律同時先行の判断だけはやめて欲しい。 ○小規模校ならではの個々丁寧な指導、個性を伸ばす教育が容易にできる。また、地域の歴史・文化・伝統・地域住民との交流・地域愛など身近な問題に直に深く体験学習ができる。 ○今日、情報技術の急激な進歩と各種媒体の超スピード化が社会を形成している。昨年からのコロナ蔓延によって早期にリモート通信による教育利用も構築されている。近未来には、大規模校でなくても現存の耐震校舎で個々に一流のバーチャル先生によるわかり易い授業を受けて成績アップも可能である。 ○定期的に他学校を訪問し合いICT方式を利用して生徒間交流を行ったりする情報教育活動の構築がし易い小規模校は有利である。 ○大人社会でもありがたいじめは悲惨な結果を生んでいる。小規模校では生後から地域社会で育っているのではばいじめ問題は聞かない。新統合校区でいじめられる可能性の問題が非常に心配であり受け入れ校での具体的な対策はどうなっているか。 ○教育が多様化しており、学校ならびに子供たちの自主性・自律性を育むための組織構築が比較的容易な小規模校である当小・中校に地域住民の協力的な信頼に委ねて欲しい。 ○部活については、通学時間に制約があり統合する前の部活動のような十分な時間がとれない。 ○近年、特別な支援を要する子どもの数が地域を問わず増えており、不登校のこどもたちも多い現状の今、中心都市に近くまた隣接県を結ぶ41号線を持ち、神通川を挟む里山の自然豊かな当地域で一人一人丁寧な教育が可能な受け皿としての役割も期待できる。 ○適度な競争を経験させ、多くの友人関係の中で育てて欲しいと願う統合校に賛成な保護者もいる。しかし、一昔と違って過度に進んだ情報社会の現在、合理化・省力化がグローバル社会の中心的価値を生み人々の心を病症化させている。ものづくりには最適だが人間づくりには合わない。このような社会の中で育っていくこどもたちが可愛そうだ。社会で揉まれて成長させたい気持ちは理解できるが、統合校化はいじめを含めて心悩む子供たちを益々増やすように思える。豊かな環境にある現存校を無理に廃校にすることには大反対である。	細入
17	11/9	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	船峯小学校に関して。いわゆる発達障害児（小学校）専門のクラスを併設し、市内の発達障害児に関して、早期発見・早期対応教育を行う全国モデル校・先駆けとなるような教育を行う場としてほしい。発達障害はこの先も増え続けると予測されます。彼らに絶対必要な小人数クラスの対応ができ、自然に恵まれた船峯地区の環境は最適だと思います。	大沢野
18	11/11	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	船峯小学校の特化、存続についての提案 小規模学校であるからこそ児童全員に目が行届き、各人の個性が活かせる。また自然環境も良く、新型コロナのこの時期、大勢の児童を集めるより、現状環境下のほうが良い学習ができる。 さらに、リモート学習もできるし、人数が必要な行事等は、限られていると思うので、そのときは他校と合同でじっしすればよい。 さらに、この地域の特徴として、富山高等支援学校、セーナー苑等福祉関連施設や学校がちかくにあり、発達障害児やその他の障害を持った児童達も、安心して勉強ができる。一般の児童と一緒に暮らして、お互いに刺激をもらい、また協力しあい、より良い学習効果が期待できるとかんがえます。 富山しはもちろん、県内はじめ県外でもこの環境のよい船峯で学習したい児童を幅広く受け入れできる特認校として 存続を図ってほしい。	大沢野
19	11/11	入力 フォーム	再編計画に利害関係を有する者及び法人その他の団体	楡原地区、大沢野地区の統合には反対です。通学距離の長距離化（直通でも30分以上）で子供には負担ですし、送迎も難しい。楡原地区の子供は、現状でものびのび授業を受けていると感じる。	細入 大沢野

パブリック・コメント 大沢野・細入

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
20	11/11	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	楡原中学校の生徒をもつ親です。子供の人数が減ってきているので、再編は仕方がないと思っています。しかし、統合は中学校のみを希望します。なぜなら、富山市の中学校は選択制だからです。小規模校だと部活動をまともにできません。部活動を頑張りたいと思っている子どもは多く、部活動の充実した学校へ入学してしまいます。これからもその傾向はあると思うので、中学校の統合は賛成です。義務教育学校の設立の案があがっていますが、中学は別の所を選びたいと思う方が出てしまうような気がします。 一方、小学生はできるだけ近くの学校に通わせたいと思う親が多いはずで。他の地域をみると、小学校だけは残っている所もあります。いったん小学校だけは残すという方向ならば、地域の再編反対派の方々も納得できると思います。 富山市合併前の旧の町・村には、小学校だけでもいいので1つ以上は学校を残しておくべきだと思います。	細入
21	11/11	郵便	市内に在住、又は通勤・通学している個人	船嶽小学校の統合に関する意見書 小規模校ならではの先生が目が行き届いていること、ひとりひとりが活躍できることがメリットにつながる。今の時代はネットで勉強できる。 もし学校がなくなると20、30才くらいの人が結婚したら町の方へ出て行ってしまう。人口流出にもなり船嶽地区がどんどん衰退してしまう。 なんとか学校をのこしてほしい。	大沢野
22	11/11	郵便	市内に在住、又は通勤・通学している個人	船嶽小学校の存続を強く求めます。 他の中山間地区と同じく船嶽地区においても過疎化が進みつつあります。小学校が統合され船嶽小学校が無くなると、結婚を考えている若い人や、子育て中の若い世代の人たちが通学に便利な所へ転出してしまい益々過疎化が進んでしまう。 統合先が大沢野小学校と大久保小学校になるとの事ですが、児童や船嶽地区の住民の絆も分断されてしまう。 学校までの通学距離が遠距離となり今、以上に危険度が増える（交通災害、熊や猪などとの遭遇）。	大沢野

パブリック・コメント 大沢野・細入

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
23	11/11	郵便	市内に在住、又は通勤・通学している個人	この距離を、強制的に通学させますか？いささか、非人道的な計画だと思います。富山市立小・中学校の再編原案「大沢野・細入地域」を拝見しました。その上で、この地域で生まれ育った人間の、体験と実感に基づいた意見をお伝えします。選択肢を残してください 市の資料にも、地図がありました。「学校の場所をちょっと移動するだけです。たいしたことではありませんよ。」とでもいうような印象を受けました。しかし、学校と住まいは違います。神通緑小学校と楡原中学校に通学することもたちは、広い範囲に散らばって暮らしています。特に猪谷駅周辺のこどもたちは、2003年に猪谷小学校が無くなって以降、かなりの長距離を通学することになりました。それが更に1.5～2倍に延びるということを、もっと深刻にうけとめてください。 公立の義務教育に、大人たちはこのような過酷な選択肢しか用意できないのですか？ 地元住民としての実感と懸念 距離が遠いから通学に時間がかかるくらいのこと、で、「過酷な選択肢」という表現は、大げさすぎるとお思いでしょうか？地元住民として感じている問題は他にもあるのです。 私は、「気候の差異」を心配しています。季節の代わり目や真冬の時期は、細入と大沢野の間でかなり気温差があります。 例えば、細入の自宅でちょうど良いと思って選んだ服装が、大沢野に出勤したら暑くて困るということがしばしばあります。大人にとって些細なことかもしれませんが、小学校低学年のこどもにとってはどうでしょうか？服装で調節することが、まだまだ上手にできない子もいるはずです。 心身ともに健康な学校生活を 「気温さくらい我慢すればいい」と思いましたか？体の丈夫な人にとっては小さな問題かもしれませんが、しかし、そうでない人もいます。一日に何度も気温差に晒されるような状態が続くことで、自律神経が乱れ、慢性的な体調不良や睡眠障害を引き起こすこともあるかもしれません。人生のはじまりに、心と体を育てるための大切な9年間です。こどもにとって、できるだけ負担の少ない選択肢を用意するのが大人の役目だと考えます。 私自身、小さい頃から喘息持ちでずいぶん苦労しました。体調が悪くてしんどいというだけでなく、「いつも体育をズル休みする」などといっていじめも受けました。心身の不調は人間関係に少なからず影響し、不登校の原因にもなりうるものだと考えます。 こどもたちへの誠実な態度を求めます 学校の統廃合は、あらゆる可能性を考え抜いた受けでの方針ですか？やむを得ず、ということであれば、統廃合に伴ってどんなリスクがあるのか、それによって何が起こり、どう対処するのかをよく話し合いましたか？細入地区に関しては、長距離を通学させることがこどもの心身に及ぼす影響について、十分調査・検討を行っているのでしょうか？ それとも、田舎の学校を潰すという結論ありきで、理由付けのために数字を集めてグラフを作っただけなのですか？学校がなくなるということ、こどもたちにはどうやって説明するつもりですか？「そういうものだから仕方ない」といって、ただ犠牲を強いる予定ですか？ こどもを大切にしてください 少子高齢社会の対策として「子育て世代への支援」という言葉がよく使われます。それよりもまず、今、生まれてきてくれた全てのこどもたちをもっと大切に扱ってください。ひとりひとりが、健康に、健全に、安心して生きられる未来を残してください。今生きているこどもたちのために、やるべきこと、やってはならないことを誠実に考えてくださっていますか？考えていれば、今回のような再編原案が出てくるはずはないと確信しています。富山市民の一人として、本当に残念で、不安でなりません。	細入



パブリック・コメント 大沢野・細入

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
24	11/12	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	船嶺小学校の存続に関して。 発達障害児童のための専門学級を併設する。所謂発達障害児は富山市内の小学校でも1000人を越えているはずである。しかし、対応出来る専門家は少ない。全国から専門家を募集することも視野にいれる。利用者は富山市全域が対象で、他の県立支援学校同様にマイクロバス等での送迎は必要となるが、定員はすぐに埋まると予想される。さらにこの船嶺地区はセーナー苑、県立高等支援学校をはじめ福祉施設が多く、福祉には理解がある。この提案は全国のモデルケースにもなり得る可能性がある。	大沢野
25	11/12	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	戦後70年以上経過しているが、街中・農村部の地域は、その都度少子化問題の論議される。結論有きで役所の決めたことに決まる。反対意見が出てもスルーされる。生まれる子どもはガチャガチャに運命を任せる。親も国も選べないのです。船嶺地区は飛鳥時代から民族が暮らしていました。時代背景を考慮すべきです。子どもが少ないなら校区を変更すべきです。八木山、東大久保、熊野など編入すべきです。大沢野・大久保小学校などを閉校して、歴史ある学び舎を守るのが私達の努めてではありませんか。	大沢野
26	11/12	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	現在、児童数が減少しているのは明らかであるが、富山市の中でも過疎地に移住してきている人達も多くなってきているのは明らかである。その人達の子供達の為にも、残さなければいけない学校もあるのは事実だと思うので、とくに県境の細入地区には、岐阜県からの児童も通学出来るよう学校を残して頂きたい。	細入
27	11/13	メール	市内に在住、又は通勤・通学している個人	私の意見を言わせて下さい。私は滑川市の適応教室で相談員をしていました。富山市が小中学校の再編に取り組んでおられることに心配しております。小さい学校は経費もかかり財政面で大変なこと、集団でのスポーツや活動に制限があることは承知しております。ただ、小規模校の良さ、小規模校だったら行けたのに、、、と言う子どもたちもいることも事実です。どうか学校に行きにくい、大勢が苦手な子どもたちの受け皿の意味合いも含めて小規模校を無くさないでほしいです。通学時間が長くなる、学校が遠くなるだけで、それが足かせになる子どもたちもいることを知ってほしいです。どうか通学する子どもたちを真ん中に置いて下さい。細入地区は飛騨からの通学生もいると聞いています。役所の事情で子どもたちの選択肢を無くさないで下さい。小規模校を守る、維持することは未来に向けてのいろんな意味での投資です。よろしくお願いします。	細入
28	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	私は富山市の神明地区から富山県漕艇場に通い部活動に参加している大学3年生です。部活動で細入の神通碧小学校の横を通ります。大沢野を通り漕艇場に車で通学しているのですがとても遠いです。小学生の頃は歩いてランドセルを背負って通うのが楽しくて、日常でした。それを大久保小学校に統合するとその日常すら失われ、また楡原中もなくなると細入はただの飛騨市に近い山になってしまうと思います。山には獣も多く、部活動中もよくみかけます。また猟師さんの音もきこえます。細入に小学校、中学校がなくなってしまうと人口流出がとまらないとおもいます。ただでさえ行きにくい、生活しにくい地域をもっと生活し辛くしないでください。なので小規模校を無くすのは反対です。 また、自分の住んでいる神明地区に関してですが、校舎の老朽化も進んでいることは確かですが母校がなくなる寂しさと、五福に統合されると通学が大変になると思います。神明小から五福地区に行く道は歩道がきれいに整備されてなく小学生には危険だと思います。また神明地区から五福小学校は自転車でも面倒くさくなるほどの距離です。統合するなら、スクールバスの整備、通学路の整備をしてからするべきだと思います。 もしそれができないなら今の保護者さんに負担がかかるだけで子育てし辛くなると思います。小規模校を無くすことも大切かもしれませんが今いる人たち、これから通う人たちの生活も守ることも大切です。財政てきに厳しい部分はあるかと思いますが、私は小規模校を無くすのは反対です。	富山西部 細入
29	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	細入地区に住んでいます。実家は大沢野地区です。自分が中学生時代、自転車で30分以上かけて通学していました。細入地区の学校が大沢野に合併となると、通学時間・距離等で子供達に無駄な負担をかけることになると思います。部活動を選択できる自由なども大切かもしれませんが、子供達に通学時間などの無駄な時間をかけることなく、のびのびと教育を受けられる自由も与えてあげてほしいです。	細入

パブリック・コメント 大沢野・細入

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
30	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	「船嶼小学校の存続を強く訴えます！」 ・小規模校では、子どもどうしの関わり、子どもと先生方との関わり、保護者どうしや子どもと地域との関わりが深まっており、子どもたちは貴重な体験をしながら心身共に豊かに成長しているという、小規模校ならではのよさをもっと認識していただきたいと願います。 ・船嶼小学校の校区内には、県立富山高等支援学校、セーナー苑があり、船嶼小学校児童との交流の場をもつなど工夫した教育活動が行われています。さらに連携を深め、教員配置を充実していただき校区外の発達障害や不登校の児童などを積極的に受け入れ、小規模校ならではのよさを生かして特色ある教育活動の充実を目指すことによって、心豊かな子どもたちを育てることができます。このことによって、懸念されている複式学級の解消にもつながります。 ・統合によって学校が遠くなることで、毎日の通学距離が延び子どもや保護者にとって心身共に負担が増大するとともに、子どもと地域の関係が希薄になり、子どもたちの地域での活動も減退します。 ・船嶼のように地域の核となる拠点が乏しい中であって、小学校の存在は大きく、子どもの地域と結びついた諸活動が地域住民の活性化につながっています。しかし、船嶼小学校がなくなると、子育て世代が船嶼地域から流出して子どもの数や人口全体の減少をもたらし、さらに高齢化率が進んで地域の活性化に逆行する結果になります。 ・自然豊かで伸び伸びと子育てができる船嶼地域内に住みたいとの思いで他地域から空き家を求めて転入家族が増えています。この機運をさらに高めるために、親子ぐるみや住民どうしの交流を深める諸活動が若者を核にして活発化しています。 ○こうしたことに鑑み、船嶼での小学校生活を伸び伸びと送る中で、心身共に豊かな人間性をもった子どもを1人でも多く育むために、船嶼小学校の存続を強く願うものです。 ■■■■■■■ ■■ ■■ ■■	大沢野
31	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	神通碧小学校、及び楡原中学校を大沢野小中学校と合併しないで欲しい。	細入

パブリック・コメント 大沢野・細入

[illegible]

パブリック・コメント 大沢野・細入

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
36	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	船嶽小学校を無くさないでほしいです。再編案に反対します。小規模校だからできること、良さが沢山あります。大勢の中に入れない子もいると思います、大都市から好んで田舎暮らしを選ぶ方もいます。子供達の選択肢を奪わないでほしいです。小学校があることで守られている地域コミュニティや防災、自然。そのためにも小規模校の存続は不可欠です。コロナをきっかけに、人々の価値観は、変わりつつあります。これからますます郊外を選択する家庭が増えるかもしれません。県外からの移住者もますます増えるかもしれません。ご検討の程、宜しくお願い致します。	大沢野
37	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	細入地域における小学校や中学校の廃校には反対です。 片道1時間かけての通学 往復2時間 公だからこそできることは、利益を考えない教育。子供達への投資は惜しむべきではなく、削減すべきところではないと思うのです。職員の人員を最小限にする、教員配置を他とは違うものにする、など、そこは、民間的なやり方も入れて検討してみるべき、と考えます。学校が無くなってしまった地域の衰退は、他市町村を見ても明らかと思うのです。たしかに子供の減少は最大の懸念ではありますが、人口増加を考え努力している地域への配慮支援応援という側面は、どう考えていくのでしょうか。日本全国で起こっている問題において、富山市が廃校ではない他の手立てを見出せたらと、願うばかりです。	細入
38	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	細入地域などの小規模校を統合して無くしてしまうのは反対です。小規模校の良さを再確認すべきです。	指定なし 細入
39	11/13	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	統廃合に反対です。船嶽小学校の良さの1つに縦割りの班活動があります。その活動の中で上級生はリーダーシップを養い、下級生は上級生を見て目指すべき姿を養っています。なにより学年全体で協力あって日々成長していき感性が豊かな子供達が育っています。また、船嶽小学校は地域との関わりも深く、学習の場を越えた交流を得ることができます。そんな素敵で素晴らしい船嶽小学校をなくさないでください。	大沢野
40	11/13	FAX	市内に在住、又は通勤・通学している個人	「船嶽小学校の存続を強く訴えます！」 ・小規模校では、子どもどうしの関わり、子どもと先生方との関わり、保護者どうしや子どもと地域の方々との関りが深まっており、子どもたちは貴重な体験をしながら心身共に豊かに成長しているという、小規模校ならではのよさをもっと認識していただきたいと願います。 ・船嶽小学校の校区内には、県立富山高等支援学校、セーナー苑があり、船嶽小学校児童との交流の場をもつなど工夫した教育活動が行われています。さらに連携を深め、教員配置を充実していただき校区外の発達障害や不登校の児童を積極的に受け入れ、小規模校ならではのよさを生かして特色ある教育活動の充実を目指すことによって、心豊かな子ども達を育てることができます。 このことによって、懸念されている複式学級の解消にもつながります。 ・統合によって学校が遠くなることで毎日の通学距離が延び、子どもや保護者にとって心身ともに負担が増大するとともに、子どもと地域の関係が希薄になり、子どもたちの地域での活動も減退します。 ・船嶽のように地域の核となる拠点が乏しい中であって、小学校の存在はとても大きく、子どもの地域と結びついた諸活動が地域住民の活性化につながっています。 しかし、船嶽小学校がなくなると、子育て世帯が船嶽地域から流出して子どもの数や人口全体の減少をもたらし、さらに高齢化率が進み地域の活性化に逆行する結果になります。 ・自然豊かで伸び伸びと子育てができる船嶽地域内に住みたいとの思いで他地域から空き家を求めて転入家族が増えています。 この機運をさらに高めるために、親子ぐるみや住民どうしの交流を深める諸活動が若者を核にして活発化しています。 ○こうしたことに鑑み、船嶽での小学校生活を伸び伸びと送る中で、心身共に豊かな人間性をもった子どもを1人でも多く育むために、船嶽小学校の存続を強く願うものです。	大沢野

パブリック・コメント 大沢野・細入

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
41	11/14	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模校をなくすのは反対です。 細入地域に学校をなくす事は、子ども達の生きる力を奪うという事です。そこで、生き、育つ子ども達や保護者の方、地域の方の声を足を運び、どうか聴いてあげて下さい。そして、そこにどんな育ちや学びがあるか、私達市民はもっと知るべきだと思います。未来ある子ども達の居場所がなくならないことを願います。小規模の小学校、中学校がきちんと存在し続けていることは、富山市民としての誇りです。どうか宜しく願います。	細入
42	11/14	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	細入の学校は、できるかぎり存続をお願いします。学校がないと移住先の選択肢としても厳しくなりますし、過疎化が加速してしまいます。	細入
43	11/14	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小規模校を無くすのは反対です。 楡原、細入地区は大沢野まで出てくるのは大変ではないのですか？神通碧小には飛驒から通っている子もいると聞きました。水橋の小中統合は賛成ですが、なんでもかんでも小規模校を無くしたらいいとは限らないと思います。	細入
44	11/14	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	私は旧大沢野町の船嶺小学校を卒業致しました。自分の母校が再編の対象になっている事に関して、思いを述べたいと思います。勿論母校が無くなってしまいう事には心情的には反対ですが、時代の変化でそうなる事もある意味仕方が無いかも知れません。しかしながら、報道が先走っていつの間にか既成事実の様になってしまった事には、大きな疑問を感じます。誰が考えて、いつ住民に丁寧な説明を行ったのか、どれくらいの回数で行ったのか、住民を集めた説明会はどのくらいやり、納得させた上での結果なのかを明確にして頂きたいと思います。住民の意見を無視した形での進行は納得出来ません。それが正しい行政の在り方でしょうか？	大沢野
45	11/14	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	ひとりひとりに目が行き届く小規模校の特色を生かした教育方針や方法もあっていいのではないのでしょうか。またそんな環境を望む家庭にそんな学校を紹介する場面もあっていいんじゃないでしょうか。子供は地域で育てる、そんな包容力のあるのが船嶺の地です。 「船嶺が良い」「こんな所で子育てをしたい」と移転してこられる家族もおられます。 船嶺小学校では「縦割り班活動」がある。1年～6年まで縦に班編成し、さまざまな活動を相談して行動している。自覚や思いやりがはぐくまれる。 大きすぎもだめ、小さいのはもっとだめ、数字だけ合わせて同じくらいの規模にして同じような教育の仕方、それが「理想のかたち」なのか？ちょっと疑問。 クラス替えのない場合「序列が固定する」、多人数なら序列は発生しないのか。何人だろうが序列は発生する、腕力、お勉強、学歴、派閥（グループ）、様々で見上げたり見下ろしたり、大人も子供も同じです。 やはり小学校区は住民コミュニティの基本になります。活性化の次のプランもなく、ただただ「廃止」ありきには心おだやかにあらず。 通学の方法プラン、学童の扱いなど体制変化について具体策が出されていない中で、合意しても「あとの祭り」になりかねない・・・と住民は危惧をいだいている。	大沢野
46	11/14	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	以前、細入地域に居住しており、私も子供たちも細入の学校に通い、通わせておりました。子供の人数が少なく、学校が成り立ちにくい状況は、わかりますが、通学時間、小規模校ならではの良い所もありますので、ぜひ、残す方向で考えていただきたいです。学校の校区境界線を変更し、大きくなっている学校の人数を分け、小規模校に入れるなど、同じ市になったのですから、何か方法は無いものかと思います。	細入

パブリック・コメント 大沢野・細入

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
47	11/14	メール	市内に在住、又は通勤・通学している個人	船鞍地区に住む者です。ある人にとって、とるに足らない物が、別の人にとっては、かけがいの無い物であることは、多々あることです。船鞍小学校も、学校再編を考える方々にとっては、とるに足らない、小さな学校でも、船鞍小学校の児童には、かけがいの無い母校です。母校を奪われたら、児童達は傷つくでしょう。悲しむでしょう。他の学校では、代わりにはならないのです。市によって、理不尽に母校を奪われた子ども達が大人になった時、故郷の船鞍に帰ってくるのでしょうか？そんな悲しい思い出の土地に帰ってはきたくないと思うでしょうね。また、船鞍小学校が無くなったら、小学校も無い土地に、新たに子育て世代が住むのでしょうか？小学校が無くなったら、過疎化が進むばかりです。小規模特認校として、残すことは出来ませんか？船鞍小学校を無くさないで下さい。	大沢野
48	11/14	入力フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	私は楡原中学校の卒業生です。楡原中学校は少人数学級ですが、全員が家族のように仲良く、悩み事はなんの躊躇もなく、話し合える場です。人数が少ないからこそ、先生との距離が近く、分からないところも友達同士で誘い合ってよく聞きに行っています。授業では、積極的に発言し、良い意味で手を抜けないものです。このおかげで、自分の考えを深めることができ、内容の濃い授業を作りあげることが出来ました。多人数のクラスは高校からでも体験することが出来るので、今しかないこの素晴らしい学びの場を残すべきだと思います。	細入
49	11/14	入力フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	私は楡原地域が大好きです。楡原地域で生まれ、育ったおかげで色々なことを学ぶことが出来ました。この地域には、都会や住民が多い地域には無い良さがあります。例えば、近所の人と仲がいいことです。住民が少ない分、地域の人同士がとても仲良く、家族のようです。そんなすてきな楡原地域を残すためには、神通碧小学校と、楡原中学校が必要です。少子高齢化が進んでおり、楡原地域に住んでいる子供が少なくなってきました。ですが、楡原に住んでいる高齢者の方々を元気にするため、この地域を盛り上げていくためには、元気の良い小学生や中学生がいる方が良いと思います。また、久しぶりにふるさとに帰って来た人達が、自分の母校が無くなっていたらどんな思いをするか考えてみてください。私は小学校、中学校がなくなり、楡原地域から今まであった元気良よさもなくなったふるさとに帰ってきた人達は、寂しく悲しい思いをすると思います。私も大人になったらそうなると思います。楡原地域にも、神通碧小学校にも、楡原中学校にもまだまだ知られていない良さがあります。その良さをこれからも色々な人達に、伝えていかなければいけないと思います。なので、学校を合併するのではなく楡原地域に人が集まってくるようにしていきます。これからも、楡原地域、神通碧小学校、楡原中学校をよろしくお願いします。	細入

パブリック・コメント 大沢野・細入

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
50	11/14	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	細入地区（小規模地区）の学校廃校、統合は反対です。困る人がたくさんいます。	細入
51	11/14	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	<権利主体はあくまでも子どもたち> 再編に関して、保護者などの意見を聞く以前に、当事者である子どもたちの意見にしっかりと耳を傾けるべきではないでしょうか？再編によってもっとも影響を受けるのは、子どもたちです。そして子どもたちは、大人と同じように、自分の意見を主張する権利があります。当然のことですが、憲法に規定されている義務教育は、「子どもたちが教育を受ける権利」のことであり、権利主体は子どもたちです。当事者であり権利主体である子どもたちの意見を無視した学校再編はあり得ず、憲法違反であると考えます。 <少人数学級の文科省の方針とも齟齬をきたすのでは？> 文科省の方針でも、今後少人数学級を進めるとされています。そんな中で、あえて、現在少人数学級として運営されている小規模校を、大規模校に再編するということは、文科省の方針とすら齟齬をきたすのではないのでしょうか？むしろ行うべきことは、大規模校にはなじめない子どもたちが、主体的に小規模校を選択できるようにすることで、全体の均衡化を緩やかに目指していくことではないのでしょうか？子どもたちに多様な選択肢を用意し、権利主体である子どもたちの自主性を育むことこそが求められているのではないのでしょうか？ <大人の失敗を子どもたちに押し付けていいのでしょうか？> そもそも、学校再編が必要とされるような社会状況、つまり人類社会でも未曾有と言える少子高齢化社会日本を生み出してしまったのは誰の責任でしょうか？目先の経済成長に目を奪われ、戦略的に国家社会戦略を構築できなかった現役世代こそが、その責を負っているはずですが、今回の学校再編は、その負の遺産を一方的に子どもたちに押し付け、尻ぬぐいされるものに他なりません。財政が足りない、教員が足りないなど、経営的な言い訳をいくら並べようが、結局は、経営に失敗した経営者が、支店を統合し、リストラすることを合理化しているのと同じです。しかし、教育は、少なくとも義務教育は経営の観点から語られるべきものでは決してありません。さらに、高等教育にしても、大学の独立行政法人化などを進めてきた結果、一体何が起きているのでしょうか？国家百年の計を考えれば、義務教育を経営的な視点から合理化するなど、ほとんど自殺行為です。 <地域コミュニティの核を奪うのか？> 地域コミュニティの核が、地元小中学校の存在に大きく規定されることは明らかです。学校再編によってその核を奪われた地域、特に再編の対象となっている富山市の周辺部地域が、ただでさえ少子化や高齢化に苦しんでいるなかで、それに追い打ちをかけることになります。つまり学校再編は、単に教育システムの問題だけでなく、そうした市街地周辺部を切り捨てることに直結するわけです。さて、ここでも経営的な視点を言うのでしょうか？周辺部はただ農林業主体の生産性のない地域だから、切り捨てても止む無しと？そんな考え方をしているのは、先進国でも日本ぐらいです。都市を囲む里山地域のもつ自然資源、それが潜在的に有している価値は、貨幣価値に換算してもものすごいものがあります。目先の現金にしか目を向けなければ、それは理解できません。 しかし、今や国連が掲げるSDGsを国を挙げて実現しようとしている最中に、それと真逆の教育政策を採用しようとするのでしょうか？ <残された施設をどうするつもりなのか？> 残念ながら日本の行政組織は、一度決めたことを中止したり、転換したりすることができません。それはかつての無謀な戦争を、負けると分かっている誰も止められなかったのと同じです。ですから、ほとんど99%、今回の再編案はそのまま実行されるでしょう。しかし、だとすれば、再編後に、これまでの小中学校施設をどうするのか？それを誰が、どのように管理、ないしは活用するのかについて、しっかりと責任をもった議論をすべきではないのでしょうか？例えば、神通碧小学校、楡原中学校は、まだ新しい大変環境の良いすばらしい同じ校舎で子どもたちが学んでいます。これを閉校にするとしたら、その後、この施設はどうするのでしょうか？経営的視点などと言うのなら、それを含めてしっかりとプランを策定すべきではないのでしょうか？再編統合・閉校だけ決めて、後は知らない・・・などと、そんな無責任なことは絶対に止めていただきたいと思います。	指定なし 細入

パブリック・コメント 大沢野・細入

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
52	11/14	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	富山市教育委員会学校再編推進課 殿 富山市立小・中学校の再編原案に関する意見を市役所のHPから送付しようとしたのですが、送付完了などの表示が出ず、上手く送れているかどうか分からないので、直接メールを送ります。重複して届くかもしれませんが、ご了承下さい。 富山市立小中学校再編原案の神通碧小学校と楡原中学校を、大沢野小学校と大沢野中学校に統合する案に反対します。現在の神通碧小学校と楡原中学校の校区の中で、最も遠距離の東猪谷地区からは、直線距離で大沢野小学校まで13km、大沢野中学校まで14.5kmです。この距離は、富山市役所を起点とした場合滑川市の中滑川駅(13.4km)や射水市の大門駅(14.7km)までの距離となります。この距離を、毎日小中学生に往復させる事になります。この距離感を踏まえたうえで、敢えて原案を策定されたとしたら、当事者の立場を全く考慮せず、単に児童生徒数の数合わせと経済効率だけを基に作った原案と言わざるを得ません。学校再編に当たり行われた市民意識調査の結果(P14)の中で、「学校再編を進めるためにどのような点に配慮すべきか(問4-4)」では、1 通学(時間・距離・方法)と安全確保が88.2%、2 人間関係作りや心身の負担軽減(ケア)が42.3%ですが、この結果が原案に反映されているとは思えません。細入地区の児童生徒は毎日長距離・長時間の通学を強いられ、心身に大きな負担がかかるのは明らかです。冬期間の豪雪時には特に大きな負担を強いることとなります。通学条件で大きなハンディを強いる再編原案に対して、中山間地に暮らす住民を、強引に多数に従わせようとする偏見や差別さへ感じます。これまで、学校再編について、市教委の説明会や、公共施設の再編についてのワークショップなど何度も説明を聞き、その都度大沢野小中学校への統合には反対する意見を伝え続けましたし、パブリックコメントも送付しました。しかし、それは全く聞き入れられず、原案はまったく修正されないまま今日に至っています。意見を聞くようなポーズだけ示して、反対意見に耳をかさず、原案を強引に通そうとする独善性に強い憤りを感じます。これまで、何度も原案を修正する機会があったはずですが、中山間地の交通事情や児童生徒の大きな負担を他人事と考えず、もう一度実態に即して検討し直される事を、強く要請します。	細入

パブリック・コメント 大沢野・細入

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
53	11/14	FAX	市内に在住、又は通勤・通学している個人	「船嶼小学校の存続を強く希望します！」 ○小委規模校では子ども同士のかかわり、子どもたちと先生方とのかかわり、保護者同士や子どもと地域のかかわりが深まっており、子どもたちは貴重な体験をしながら心身ともに成長しているという、小規模校ならではの特徴をもっと認識していただきたいと思います。 「適正規模」という大義名分のもと安易に規模を調整・拡大したとき、昨今から教育現場の問題であるいじめや学級崩壊、不登校などの問題が生じた場合に細かな対応が困難になることが懸念されます。 ○船嶼小学校の校区内には県立富山高等支援学校、社会福祉法人セーナー苑があり、船嶼小学校の子どもたちとの交流の場をもつなど工夫した教育活動が行われています。こうした連携をさらに深めるべく教員配置を充実していただくことによって、校区外の発達障害や不登校の児童などを積極的に受け入れ、小規模校の特徴を生かして特色ある教育活動の充実を目指すことによって、心豊かな子どもたちを育てることができます。 これにより、懸念されている複式学級の解消にもつながるものと考えます。 ○学校統合により通学距離が長くなれば、子どもや保護者にとって毎日の通学にかかる心身の負担は計り知れません。また、子どもたちと地域の関係が希薄になり、地域内での活動も衰退します。 ○船嶼はその地域の核となる拠点が乏しく、故に小学校の存在感は非常に大きいものであり、子どもたちと地域住民が結びついた諸活動が地位k全体の活性化につながっています。 しかし、船嶼小学校がなくなれば、子育て世帯が流出することは避けられず、ひいては船嶼の人口減少・高齢化に拍車をかけ、地域は衰退の一途を辿ることになります。 ○かねてから地域に暮らす若者が中心になり、船嶼小学校の存続を視野に入れた諸活動が増えています。実際に、豊かな自然に囲まれ人情味あふれる船嶼で子育てしたいと、校区外から空き家を求めて転入される家族が増えており、自然を生かした親子ぐるみの交流活動が広がっています¹⁾。 こうした地域づくりに下支えされた環境であれば、船嶼の子どもたちは小学校生活を伸び伸びと送ることができ、心身とも豊かな人間性を育むことにつながると確信します。 以上のことから、船嶼小学校の存続を希望します。 【参考】 1) ふなくらす https://www.facebook.com/funakurasu/ https://www.instagram.com/funakurasu/?hl=ja	大沢野
54	11/14	FAX	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小中学校の統廃合が検討中ですが、船嶼小学校が廃校になると現在いる若い世代が他地区に移転し過疎が進み、現在農業従事者が高齢化している中で、若い人の協力が少なくなり農地の荒廃が進み、熊、猿、イノシシ等が増え、地区存続が難しい	大沢野
55	11/14	FAX	市内に在住、又は通勤・通学している個人	歴史ある船嶼小学校校舎を高額の税金で建て替え、次は廃校にしようとしている。このあとどうしたいか考えていますか？小学校統合には大反対だが船嶼に生まれて70年の私よりこれから未来ある子供達を持つ船嶼保育所保護者のみなさんの意見要望の切実な願いを聞くだけでなくかなえていただきたい。	大沢野
56	11/15	入力フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	船嶼小学校は少ない人数ですが、一人一人が責任感をもって行動しているし、全校仲良いです。静かな場所で環境が良く、グラウンドも体育館も広く、伸び伸びと活動できます。子ども達の力は地域に大きなエネルギーを与えてくれます。今若い世代が船嶼に戻って家庭をもって、子ども達も少し増えています。船嶼小学校をなくさないでほしいです！	大沢野
57	11/15	入力フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	神通碧小学校・楡原中学校の再編原案に反対します。他の地域の再編原案と異なり、細入地域はスクールバスがあっても片道1時間も通学に費やす生徒もいるためです。特に冬期間は積雪も多く、大沢野まで片道1時間超もあると思います。子ども達の大切な時間（勉強や遊び等）を通学に費やすことは、他の地域の学生と比べると不公平感が強いです。 富山市はコンパクトシティ構想を進めていますが、富山市の田舎に住んでいる者も同じ税金を納めています。街中の住民の事だけ考えるのではなく、平等に考えて欲しいです。	細入

パブリック・コメント 大沢野・細入

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
58	11/15	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	■歳■歳■歳の娘を育てる3児の母です。長女の小学校入学を機に、細入地区へ越して来ました。結論から言うと、コロナ禍を経て新しい生活様式が根付きはじめ、個々の意識も変わりつつある最中で、小中学校の統合に結論を出すのは早すぎると考えます。この再編計画をきっかけにして、学校教育の適正化という視点からだけでなく、私たちの働き方、住まい方が今後どのように変化していくのかを含め、まちづくり全体を通してよく話し合うべきです。少人数であることは、大人数に比べてデメリットもありますが、メリットも多いにあります。逆に、大人数のデメリットもあるでしょう。現在の小中学生が社会にでる頃には、世の中はもっとIT化され、人間にしかできないことが求められる時代になります。細入の地域は生徒数が少ないですが、学年をまたいだ仲間意識があり、先生方の行き届いた目の中で、自分が住まう地域の方々と関わりながら歴史や自然を学び、地域施設に出向いて体験する経験を持ちます。中学生になれば、問題意識を持って目標を作り、振り返るという行為で自分を見つめています。それは小さな社会で生きていることそのものに、私は先日の合同学習発表会で見えました。今後の社会で求められる柔軟性や発想力、なによりも自己肯定感を高められる教育がなされていると強く感じています。多様性が求められる中で、個々の想いを全て実現することは難しい問題ですが、互いに良いところを認め合い、足りない部分は補い合うような教育体制になることを望みます。	細入
59	11/15	メール	市内に在住、又は通勤・通学している個人	榆原中学校、神通碧小学校が廃校になり、大沢野に統合されるという原案には納得がいきません。児童・生徒数が減少して小学校では複式学級になっている学年もあり、先生方の苦労は大変だと思いますが、地域に根差した学校教育を実践されていることは、見ていてよく理解できます。少人数だからこそ一人一人の子どもたちに目が行き届き、教育効果も上がっていると推察します。小中学校の建物が危険ならともかく、耐震補強工事も行われ、エアコンも付き、安全に問題のない建物です。 富山市はコンパクトシティーの政策を推進していますが、今回の統廃合は、まさに学校教育におけるコンパクトシティ化だと考えます。不便な地域ではなく、便利な町に住めという考えには納得できません。旧細入村の学校の歴史は明治初年に始まり、猪谷小学校は明治七年、榆原小学校は明治八年に創立されたと細入村史にあります。長い歴史がある細入地域の小中学校を廃校にする提示は、断固撤回して頂きたい思います。	細入
60	11/15	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	なによりも子供のことを一番に考えてほしい。統合したことによって子供が悲しむことになることだけは避けてほしい。人口を増やす方策をしていかないと船嶺地域も衰退してしまう。	大沢野

パブリック・コメント 大沢野・細入

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
61	11/15	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	先日のワークショップにも参加し概要説明を受けましたが、このままでは統合することで子ども達の未来が明るくなると期待できないため、船嶺小学校の他校への統合について反対します。その理由として、以下の4点を挙げます。 ①子ども達が地域社会と繋がる機会が著しく減り、大人に見守られながら安心した学校生活が送られなくなる。 ②「適正規模」の小学校に馴染めない配慮の必要な子どもの行き場がなくなる。 ③地域の核である小学校がなくなった後、地域で子どもが集まったり主体的に活動できる場がなくなる。 ④自然豊かで子育てがしやすい船嶺地区へ移住する家族が増えてきているが、小学校がなくなること人口減少が進む。 特に、②について、現代は発達障害、不登校、引きこもりなどが増え、教育を受ける権利を全うするための特別な配慮を必要とする子どもが増えています。また、地域社会の機能が希薄化して、昔よりも一層、学校と地域が連携し、子ども達に合わせた細やかな対応が求められています。そのような中で、経費削減、教員不足、効率化を図るための小中学校統合は、子どもが教育を受ける権利を守る流れと逆行しています。 また、私の住む船嶺地域のような山と市街地の間にある里山から人がいなくなると、耕作放棄が増えたり、熊や猿、イノシシなどの害獣も市街地に侵入してくることが危惧されます。以前よりも人口は減っているものの、現状は地域住民全体が協力して里山を維持し、害獣被害を低減させるように対策をとり、バランスをとりながら生活しています。人もシステムも一度無くなってしまうと取り戻すことは困難です。 仮に行政の判断により、船嶺小学校の統合を進める必要があったとしても、以下のことが満たされない場合は、統合を容認できません。 子どもの個性を認め伸ばすような教育体制や「適正規模」の小学校に馴染めなかった子ども達の受け皿となる体制を整えること。具体的には子どもが学ぶ環境を選べるように小規模校の存続、学校内で彼らを細やかに支援する学級や教育方法を整える。手厚く教員を配置する。 通学バスの手配、ふなくらキッズ(学童保育)の存続など、児童が安全に過ごし、そして親も安心して子育てできるように配慮すること。船嶺地域は鬱蒼とした急な坂道を通らなければ通学できない。 船嶺地区のコミュニティの核となる拠点を市の責任で作ること。閉校後の校舎活用について、地域が求める形で議論し、財政的かつ人的に支援すること。 以上、効率化、経費削減、教育不足のための小学校の統合を断行するのではなく、子ども、親、地域にとって小学校が極めて大切なものだということを忘れずに、慎重に決断をして頂きたいです。	大沢野
62	11/15	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	神通碧小学校に現在通っている子供を持つ■児の母です。子ども達本人も再編(廃校)には反対です。既にこの地域や小学校に愛着を持っています。この地域は南北に広く、冬季期間は雪も深く、、隣町の小中学校に行くのは負担が大きいのです。廃校が決まればこれ以上の人口流出は止められません。そして獣もどんどん移動してしまうので、里山を残すことも重要だと思います。	細入

パブリック・コメント 大沢野・細入

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
63	11/15	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	富山市立小・中学校の再編原案について 私の住んでいる船峯地区は、遅かれ早かれそんな問題にぶつかると思いましたが、こうして突きつけられてみると反論の余地もありません。政（まつりごと）に全く疎い善良な市民にとって、このような時如何しようもなくただ指をくわえているだけしかないのでしょうか。しかし示されている原案はあくまで数字の羅列であり、血の通った人間のものとは思えません。過疎地域が抱える問題の解決に何一つ答えていませんし、行政が経済を優先して（私にはその様に映ります）これらを強行すればむしろ弱い地域が益々疲弊していくのが自然の理だと存じます。 今日、11月13日（土）十分なコロナ対策を講じた上で、令和３年度 船峯小学校学習発表会が開催され参観させて頂きました。■■校長の挨拶に「200人300人の学校に絶対負けない勉強の成果と元氣をお見せするので、期待と応援をして下さい」と話された時には思わず目頭が熱くなるのを覚えました。当校には■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■が■■■■■在籍していて健常者の生徒と机を並べて勉強に励んでいます。生徒の父兄が是非普通の学校に通わせてあげたいとの希望を持っておられ、色んな軋轢のなか関係各位の方々の大きな努力があつて実現したことを初めて知りました。楽器演奏や朗読劇を■年生のクラスの皆と立派に発表している姿に感動いたしました。 幸いこの地には、呉東ではただ1校の富山県立富山高等支援学校（富山市坂本）があり、創校以来毎年生徒たちが巣立っていきます。学校行事の解放や民生委員との交流、地元での行事への参加（落語会など）、ふなくら祭りへの参加も恒例となっています。昭和４１年に県民の強い支援を受けて知的障害者を受け入れる更生施設「セーナー苑」（富山市坂本）が創設されました。すでに55年が経過し社会福祉法人として地域に根ざした立ち位置を確立しています。地域との交流も積極的に行っています。昭和63年に産声をあげた、青少年自立援助センター「ピースフルハウス はぐれ雲」（富山市万願寺）があります。登校拒否や引きこもりの青少年をテレビなどでマスコミにも時々登場します。主宰の■■ ■さんは若者を県外からも預かっており「県の内外から移住したくなる環境を作りたい」と話しされています。代表の■■■■■■■■さんが平成30年に、親子で気軽に参加できる場を設け「子育てに関する知識と技術を高めるとともに、地域や社会との繋がりを持てる活動を目指す」、ふなくら親子の会 別称【ふなくらす】（富山市坂本）を立ち上げました。次々とSNSを利用した活動の様子は新聞社が大々的に取り上げてくれ、私や地域の皆さんも驚くくらいです。そう言う若い人たちの感性と行動力を羨望の眼で見えています。【ふなくらす】の趣旨・ビジョンは明確（文章化されています）です。『この地域に生き、この地域を活かす』と一緒に実現するために、将来は休日保育、空き家の有効活用、県外からの移住希望者の迎え入れなどなど「富山市企画調整室」にアドバイスを頂いています。 これだけ社会基盤がまとまり、環境の整った地域から小学校が無くなるとは、到底認める事はできません。富山県いや全国へ発信すれば、障害者児童を健常者の生徒と同じ学校へ通わせたいと願っている親は大勢いるでしょう。『富山市モデル』に関心は高まるはず。これこそ行政の腕の見せ所、願ったり叶ったりではないでしょうか。是非是非とも船峯小学校の存続をお願いする次第です。好き勝手を縷々述べましたが何卒寛大な心でお許し下さい。	大沢野

パブリック・コメント 大沢野・細入

[illegible]

パブリック・コメント 大沢野・細入

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
66	11/15	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	昨今教育に関する話題で、学級崩壊や発達に応じたサポートの不足により、個々にあった教育を十分に受けられていない児童・生徒が少なからずいるといった問題を耳にしています。また、子どもを通わせる保護者からの又聞きではありますが、近隣の学校でのそういった事例を聞くこともありました。 今、現在、船峯地域の子どもたちは、小規模校の恩恵を受け、先生方がひとりひとりの児童に目をかけてくださり、勉強はもちろんその他の学校生活でも、子どもや保護者の心配事等に親身に迅速に対応してくださっています。そのおかげで、安心して子どもを通わせることができます。大きな学校に行くことは、新しい経験ができる、新しい友だちができるなどのメリットもあるかもしれませんが、その大前提は、安心して通わせることができる学校、学級であることです。子どもたちの学ぶ権利が保障され、全ての学校、全ての学級で充実した学習、人間形成がなされるような教育制度を作ることが先決だと思います。そうではないと、「適正規模」クラスのメリット以上に、ひとつの学級崩壊などの問題の影響の規模が必然的に大きくなるリスクのほうが深刻だと感じます。 また、異年齢教育や少人数制クラスの必要性に焦点が当たる中で、なぜ複式学級が問題なのでしょうか。そこで新しい教育的な挑戦をしないのでしょうか。公教育制度の改革の上に、小中学校の統廃合の必要性を改めて十分検討いただきたいと思います。 また、地域から学校がなくなれば、その地域は衰退し、山と街との境に人がいなくなります。今は、里山に住む人が、生活の中で里山の除草などの管理をしながら、農作物を作っています。クマ、イノシシ、サルなどは里山の人にとっても怖いものですが、里山の人が生活の中で、それらの居住地と人間の居住地に境界エリアを作っています。今後は富山市が人を雇ってその管理を人にさせていきますか？教育の枠を超えて、富山市でどのように人々が暮らしていくのか、議論していただきたいと思います。	大沢野
67	11/15	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	船峯小学校の存続を望みます。藤井市長の市長メッセージには、「これからも市民の皆様に寄り添い、丁寧な対話を通じて行政に対する多様なニーズをしっかりと受け止めながら、市民重視、現場重視、スピード重視の基本姿勢に立って市政運営に取り組み、市民の皆様が生きがいと幸福感を感じながら暮らすことのできる「幸せ日本一とやま」の実現を目指して、全力を傾けてまいる所存であります。」とあります。現在の船峯地区は、小学校が有ることにより地区として存続しています。雨の日も強風の日も雪の日も、子ども達が歩いて元気に登校する姿を見ると、子どもが頑張っているから今日も頑張ろうと、毎日子ども達に励まされているように感じています。 船峯小学校の子ども達は、外で見かけた地域の人に自ら「こんにちは」と元気よく挨拶をしてくれます。こんな小学生は他にいないと思います。「こんにちは」の一言だけでとても幸せな気持ちになります。ここ船峯で暮らす物としては最高の生きがいと幸福を感じることができる瞬間です。これは小規模校ならではのきめ細やかな教育の賜物だと思っています。子どもの心の成長を余裕を持って育み、身守る事が出来ているからこそに違いありません。これこそ「幸せ日本一ふなくら」だと思っています。こんなにすばらしい船峯小学校の存続をお願いします。どうか、これからも市民に寄り添った藤井市長であって欲しいです。よろしくお願いします。 船峯地区■■■■■■■■■■ ■■■■	大沢野

パブリック・コメント 大沢野・細入

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
68	11/15	入力 フォーム	市内に在住、又は 通勤・通学し ている個人	船嶺小学校の再編案について 大沢野地域における船嶺の地区特性を考慮すれば、小学校学級の適正規模という大義名分のもと安易に廃校・再編をすべきではないと考えます。船嶺地区は旧大沢野町の東側の河岸段丘に位置し、山林地区と大沢野・大久保の住宅街の間にある、いわゆる里山です。その大半の面積は耕作地ですが田畑の獣害は少なくなく、住民の生活エリアでも熊や猿の目撃情報は決して珍しいものではない日常です。また、一部には耕作放棄地も含まれていますが、例に漏れず農業の担い手は高齢化が著しく減少の一途を辿っており、今後は長期的にみて（具体的な解決策が打たれなければ）徐々に放棄地は増えていくことが予想されます。それでも、地区保全はそうした農家や住民が自主的に行っているのが現状です。 小学校が廃校・再編となった場合には、子育て世帯の流出は避けられず、また、地区外からの流入も絶望的です。これは、地区の新陳代謝が止まることを意味し、過疎と高齢化に拍車をかけます。具体的には現在の30代以下の世帯はこの地区に住む選択肢はなくなり、30年後には地区全体が高齢者のみの世帯となり、あと50年程度で船嶺地区は看取りを迎えることになるでしょう。 獣害の発生状況は全国的にみても深刻であり、一説には人と野生動物の生活圏の境界線が曖昧になったことが原因であるといわれています。このとき、重要な役割を果たすのが里山です。里山の保全が生態系を守るとともに、私たちの生活を安全なものにしています1)2)。しかし、地区の住民が自主的に保全活動を営めなくなったとき、次に獣害の被害に遭うのは大沢野・大久保の住宅街です。これを回避するためには里山の保全活動を住民に代わって行う必要がありますが、それは容易なことではないでしょう。なぜなら、全国的に林業などは衰退が著しく3)、第三セクターによる運営も非現実的と言わざるを得ません4)。 住民による地区保全が自主的・自律的に営まれることが見込まれるうちは、その効果が最大化されるように働きかけることが行政において重要と考えます。児童数の適正規模を理由に小学校を廃校・再編することは、地域環境保全だけでなく都市計画や財政の観点からみても、決して得策ではありません。 また、ここ数年は船嶺地区に暮らす子育て世帯の若者が中心となり、船嶺小学校の存続を視野に入れた諸活動が増えています。実際に、豊かな自然に囲まれ人情味あふれる船嶺で子育てがしたいと地域外から空き家を求めて転入される家族も増えており、自然を生かした親子ぐるみの交流活動が広がっている実績があります5)。こうした取り組みにより地区の新陳代謝が活性化することそのものが地域づくりではないでしょうか。 以上のことから、私は船嶺小学校の存続を強く提案します。また、上記内容を踏まえて、この廃校・再編には市政との協議・連携が不可欠と考えます。 （参考） 1) 特定非営利活動法人 里地里山問題研究所 https://satomon.jp/jugaishien/community/ 2) 環境省 里地里山の保全・活用 https://www.env.go.jp/nature/satoyama/seibutu.html 3) 林野庁 森林・林業・木材産業の現状と課題 https://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/genjo_kadai/ 4) 地域経営における第三セクター活用戦略の失敗 河西邦人:札幌学院商経論集23(2) 77-118 2006-10 5) ふなくらす https://www.facebook.com/funakurasu/、 https://www.instagram.com/funakurasu/	大沢野

パブリック・コメント 大沢野・細入

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
69	11/15	FAX	市内に在住、又は通勤・通学している個人	学校統合について 1. 船嶼小学校を廃校にする案があるようですが、もし経済効果のみで判断されるとしたら、何を大切に判断しているのでしょうか？地域の小学校が無くなるということは地域が過疎化し、住民の老化現象を引き起こすことになります。米や野菜が実っていた豊かな土地は、手が足りずに荒れて行きます。今までは税金を払っていた住民が税金を払えないことになります。さらには税金をつぎ込んで住民の生活を支えることにもなりかねません。 2. 小規模校には小規模校の良さがあることは十分にご存じだと思いますが、その良さを生かす方法は考えられませんか？船嶼小学校では一人ひとりの児童が生徒が主役です。個人の名前と個性が大事にされます。お互いの存在が見えるから、仲間として協力できるし、助け合うこともできます。 もし、大規模校に馴染めない子どもや、小規模校の方が学びやすい子どもを、船嶼小学校にスクールバス等で通学させることが出るなら、伸び伸びと育つ子供が増えることになると思いませんか。船嶼の子どもを他校に通学させるのに、スクールバスを使うなら、逆に船嶼小学校に連れてくることもできるはずです。 3. 船嶼小学校の子どもたち6年生まで放課後児童健全育成クラブ「ふなくらキッズ」に入ることができます。保護者の方が迎えに来られるまで宿題をしたり、遊んだりして仲間と楽しく過ごしています。もし学校が統廃合になった場合、子どもたちの放課後の過ごし方や、保護者の方の働き方は保証されるのでしょうか。 4. 政治も行政も「人」、特に未来を支える「子ども」を大切にしてくださることをお願いします。	大沢野
70	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	子供は地域全体で育てられる。私自身も子供の時近所のおばちゃんに、「よしとかちゃん！！そんなことしたらだかんねか！」とよく叱られました。近所のおじちゃんおばちゃんに叱られたり、いろいろ教えてもらい、生活態度を改めたり、地域に愛着を持ったりしました。 この神通峡を出て約30年間、都会で生活して来たけれど、ふと懐かしく思い出されるのは、この神通峡地域でした。 今私は、この神通峡地域にUターンして現在、森林ボランティアや「やるまいけらっきょう作り会」という団体で特産品「らっきょう」の生産・加工・販売を手がけています。そこで、地域の小中学生といっしょになって、天湖森の整備を行ったり、特産品のらっきょうを小学生といっしょに植え付けから草むしり・収穫まで行っています。 この様な体験は、神通碧小や楡原中が他校に統合されれば出来なくなると思われます。 学校がなくなれば子供や親の負担が大きくなることは言うまでもなく、地域全体の衰退が一気に進み、お年寄りが生きがいになったり、健康年齢を伸ばしている野菜づくりや農業（畑しごと）が出来なくなり、ここでくい止めている鳥獣被害が街中に及ぶことは必至だと思われます。何卒、この神通峡地域から学校の消滅とならない様お願い致します。	細入
71	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	通学時間が長くなると子供と家族に大きな負担となるため再編統合には反対します。望ましい学級数、学級規模が細入で問題になったことがあったのでしょうか。あったとしても細入住民で解決してきました。一方的な市教育委員会の基本方針には反対します。神通碧小学校、楡原中学校に生徒がいなくなるまで存続を希望します。細入自治会連合会の再編統合に対する問題提起、意見にはすべて賛成します。	細入
72	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	片道1時間もかけて、通学しなくてはいけない児童ができるのは、いかにも大変だ。富山市の中心市街地の小規模校の統合とは話が違う。また、統合によって住民の流出が進んでこの地区の衰退が進むのは明らかである。	細入
73	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小中一貫校として細入地域に義務教育学校を残してほしい。	細入

パブリック・コメント 大沢野・細入

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
74	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	現在90歳になっているが、以前（昭和20年頃）冬の通学では大変苦労し、登校する時はまだ良いとして帰宅する頃には大変な目に合い、歩いて戻るのが辺り一面白くなって見えにくくなり困った事も多い。 小学校6年生の冬になると先生が心配して遠い地区の受験生は学校の宿直室に「泊れ」と言って用意してくれた事もある。 国道41号線の除雪も充分に進んでいるが、クラブ活動の事を思うと余りに時間のかかる登下校はさせたくない。 子供や孫たちは同居していないが。	細入
75	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	富山市は、合併してから今日まで、主に中心地域の開発に取り組んできました。 そろそろ周辺地域や中山間地域に目を向けた取り組みにシフトされる頃だと思っています。 しかし、今回示された学校再編（案）は、地域の発展と真逆のもので、中山間地域の学校を無くし、衰退させるものだと思います。 「学校が無くなれば地域は衰退する」と誰しもが思っておられることです。 地域が衰退すれば、市全体の環境や自然災害、野生鳥獣害などの問題にもつながります。 市の発展のためにも「中山間地域の振興」を阻害することとなる学校再編は、止めるべきだと思います。 学校は、地域にとって大切なものです。それを認識くださり、ご検討をお願いします。 令和3年11月11日	細入
76	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	少子高齢化で、いずれ当婦負郡細入村に訪れるであろうと、平成の大合併のときに感じてはいたが、20年后に（小生生存中）来るとは、早かった。 楡原小学校楡原中学校卒業生としては、母校が無くなることは残念です。 しかしながら、学童、学生にとっては、切磋琢磨する為には、必要である。 『井の中の蛙大海を知らず』	細入
77	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	市町村合併、警察署・商工会の統合そして今、高校・小中学校の再編計画ですが、今後も児童数が増えないと思う （人口の減少） 再編計画はやむをえないと思います。	細入
78	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	今回の学校再編（案）は、富山市の学校を同じ考え方で再編する単純な再編（案）となっています。今後、より良い再編（案）としていただくため、 ①児童・生徒の居住地（地理的条件）と学校立地場所の検討。 ②校舎の状態（建築物の老朽化、教育設備の充実度）の検討。 ③地域コミュニティーに与える影響（メリット、デメリット）の検討。 ④学校の環境の検討。 など、多岐について検討と議論を重ね、丁寧に説明していただきより良い（案）を完成していただくことを希望します。 学校は、歴史と伝統ある地域に根付く大切なものです。 学校は、地域にとって大切なものなので、神通峡地域に学校を残して欲しい。 令和3年11月2日	細入

パブリック・コメント 大沢野・細入

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
79	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	今回の再編原案。 細入地域の校区は、南北に細長く、最も遠い、東猪谷や岐阜県飛騨市谷・中山地区では、自宅からバス停までの徒歩時間を加えると間違いなく1時間を超える。更に豪雪地帯であり、頼りの国道41号線は工事中が多く片側通行による待ち時間も10分超えることも有る。また、雨量規制による通行止めも発生し、平野部で考えられる迂回路が無い。 南部地区では孤立したことも有る土砂災害危険地域です。 これだけの悪条件の中、子供の通学負担及び保護者の負担を考えているのか。片道1時間往復2時間×約20日／月 毎月40時間もの長い時間をバス乗車で拘束することとなる。軌道路線と違い、バス通学は揺れや急停車等有り、車酔いする子供もいると聞く。また、揺れるバス通学ではJR通学のように車内で教科書を広げて学習することも出来ず、只々外の景色を眺めるだけ。また、1時間乗車では、トイレの我慢も出来ず、お漏らしする不安も、子供や保護者にPTSD、バス通アレルギーも有り、不登校へ繋がると考えられます。 今回の原案は、富山市教育委員による決定とも聞く。委員各位に細入地域に住んでもらい、我が子我が孫の通学体験をしてもらいたい。近所の高齢者からは『学校も無くそうとしている富山市の考えに断固として反対する。市町村合併は失敗。』と言われた。50年後の人口減少は耳にするが、現段階での学校統合は時期尚早ではないでしょうか！	細入
80	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	毎年、春季例祭になると、自治会長宅での昼食時、小供から年配まで、小中高の校歌や応援歌などを合唱し、結束力が深まり、地域や郷土愛がなつかしくありがたく感じ、酒の席ももりあがります。古里から小中学校が無くなるとこれらの団結力が薄れ、地域もさびれていくと思います。 合理化や経費削減の波はわかりますが、何らかの形で維持出来るよう地元一丸となり、がんばりますのでお願いします。	細入
81	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	○神通碧小学校、榆原中学校の大沢野への統合は、希望しません。（反対です）実際に現在通学している子供たちも、全く希望していません。統合することで、学力低下、不登校が心配です。自然豊かな環境の中で、他校では経験できない様々な体験をしながら、きめ細かな指導を受けられる環境を維持して欲しい。 ○統合されることで、子供⇄高齢者の関わり、子供（学校）⇄地域の関わりがなくなってしまう。今後、どんなことが起こるか分からない自然災害。防災、避難行動を考えた時、学校、学校（子ども）と地域の関わりは重要だと思う。子供たちに、自分たちの住んでいる地域特性、どんな人々が暮らしているかを知ってもらうことで、大きな地域力になる。子供の存在は、地域の発展に不可欠。 ○「適正規模」だけで判断しないで欲しい。通学時間が長くなると、子供の負担は大きい。親の負担も大きい。勉強と部活、どちらも中途半端になりそうで、心配。	細入
82	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	富山市立小・中学校の再編原案について意見をいいます。 榆原地区に小・中学校がなくなれば、今いる若い人達の流出につながり、地区の人口が減る要因となり、増々人口が減り過疎化になる又、地区の活気がなくなり、自治会の行事も出来なくなってしまう。等により、小・中学校の再編案に反対します。	細入
83	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小・中学校再編に関しまして、反対の意見です。自分の子供が神通碧小学校、榆原中学校に通っているのを見てきて、小規模校ならではの教育の充実、縦割り活動での上級生、下級生のつながり、自然豊かな環境による子供たちの感受性の発達など、良いと感じることが多数あるからです。 そしてなにより、子供たちの元気なあいさつや遊んでいる姿を見ることで地域が活性化しており、学校統合によって地域が減衰することがあきらかだと思います。私は県外出身でこの榆原に住んでおりますが、この地域で育ってきた周りの人達を見てきて、素直で良い人格の人達が大変多いと感じております。今後もこのような子供達が育ってほしいと願い、是非とも神通碧小学校、榆原中学校を残してほしいと思っています。	細入
84	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	地域に学校（小・中）がなくなる!! イコール若い世代の人口流出が進み、地域の活力が無くなると思います。榆原に小中学校を残す事を望みます。再編原案に反対致します。	細入

パブリック・コメント 大沢野・細入

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
85	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	富山市立小中学校再編に対して神通峡地域から小、中学校が無くなる事は、とても悲しく、寂しく思います。富山市教育委員会が策定した基本方針では（望ましい学級数等）いろいろな数字が出されていますが数字等では図れない細かな障害（地域の衰退等）が有ると思います。大変では有ると思いますが何とか神通峡地域に小、中学生を残して頂きたいと思い申し上げます。	細入
86	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小中学校がなくなると高齢化が進む中人口の流出も進み保護者の負担も大きく心配になり、スクールバスも往復2時間を要する生徒もいるとのこと。小中を残していきたいと思います。よろしくお願いします。	細入
87	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	今回の望ましい学級数、学級規模の真の目的は何でしょうか？経費削減と思えば良いのでしょうか。教育はそして子どもたちの学力アップは、子どもたち中心に考えるべきだと思います。望ましい姿にすることで学力アップする根拠を数値で示すべきだと思います。それは今ある学力テスト結果を数年分集めて分析するだけで証明が可能だと考えます。そのうえで望ましい姿が学力アップにつながる正しい姿なのであれば子供たちの未来のため、更には富山市、富山県の未来のために実施すべきだと思います。しかし真の目的が子どもたち中心に考えるのではなく、経費削減なのであればそんな市に、県に残り地元の反映を望む人材がとどまるでしょうか。 50年後、100年後に学校適正化の判断が間違っていなかったと胸を張れる選択を是非お願いいたします。	細入

パブリック・コメント 大沢野・細入

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
88	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	再編有りきでなく、小中学校統合再編の検討の前に、きめ細かい行政指導を徹底して、御願いたい。近年過そ化地域の衰退に力を入れている行政政策の見直しが第一に必要で有る。 例えば、都市部から田舎地方への転入はかる。空家（リフォーム含む）の再利用又放棄地・休耕田（田・畑等の無償貸出し等）地主の了解の基に転入者に負担を少なく、田舎地方の魅力的な宣伝を発信してもらいたい。 又、その道の専門家等の意見も拝聴して多様性をはかり、小規模校としての良さも最大限に活かすべきである。数字の減少にこだわるので有れば、学年間近の幼児世帯等が、数世帯増えれば再編の見直しを考え直していただけますか。!!	細入
89	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	僕は、学校再編の大沢野・細入地域の原案に反対です。理由は、自分が通っている学校がなくなるのは嫌だからです。大きな学校より人数の少ない学校の方が良い。大きな学校だといじめがありそうだからです。多勢いると気が散って集中もできないからです。今の学校だったら代表でやりたいと思ったら経験できるチャンスがたくさんあります。今は、歩いて学校に行っているけど、大沢野になったらバスで行かなければならなくなると聞きました。僕はバス酔いするので都合が悪いです。	細入
90	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	神通碧小学校、楡原中学校の統合には反対です。子供達に聞いても反対しています。自然豊かな環境で小規模校ならではの他校では経験のできないような体験もできます。統合すれば子供達、親の負担も大きくなります。勉強や、部活にも力がだせるか心配です。統合されると子供達と地域の方々との関わりがなくなり、どこの家にどんな方が住んでいるのかもわからなくなると思います。適正規模だけで判断しないでもらいたです。小規模校は小規模校ならではの良い事がたくさんあるのです。統合されると若い人達が町の方へ流出して、地域の人口も減少すると思います心配です。	細入
91	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	私は73才一人暮らしの女性です。 毎日子供達がにぎやかに話しをしながら私の家の前を歩いていくのを楽しみにして玄関前まで出て見えています。子供たちが元気に私にあいさつをしてくれるのがとてもうれしく思っています。 毎年小、中学校合同森林整備活動のボランティアに参加させていただいています。子供達のふれあいは、本当に楽しく心がいやされます。 子供と言うのは、地域の宝であり、これからの社会をせおっていく大切な存在です。地域で大切に育てていってあげたい、そして私達もそれを楽しみにすごしていきたいと思っています。 子供が少ないと言って他の学校と統合する事だけがいいとは思いません。小さい学校にはそれなりの良さが沢山あります。どうか楡原の小・中学校を残してほしいと思います。昔の様にあたたかみのある心のかような地域をのこしてほしいと思います。	細入

パブリック・コメント 大沢野・細入

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
92	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	学校再編推進課のホームページを見ました。この再編原案は、昨年策定された基本方針に基づいています。その基本方針が「適正化を進める上で考慮すべきこと」として、（３）結論―①保護者や地域の理解と協力「適正化にあたっては、その適否の判断を含め、地域特性に配慮するとともに・・・」という表現有り。 正しく、神通峡地域における、その特性とは・・・ 山間部、豪雪地帯、南北に長く、集落が神通川の両岸に離れ離れに点在しています。また、富山県における神通川の最上流部に位置し、面積の多くは山林が占める地域です。 ここは、細入村として、明治22年の市町村制施行時から、一貫して村政を継続してきた伝統ある地域でしたが、ついに平成17年には旧富山市を含む対等の市町村合併を行いました。（まだ16年足らずで、その結果が学校の廃校とは、非常にさみしい限りです。） 本当に、この地域特性に配慮されているのでしょうか。地域特性に配慮するとは、どういうことでしょうか。そうであれば、学校再編は、絶対にやめていただきたいです。 特に南北に長く、豪雪地帯でもあることから、通学の負担が大きいということがあります。通学の子供の負担をどれだけ詳細に、どれだけ長期的な観点から、議論されたのか。スクールバスでも1時間通学はかなりの負担です。勿論、現在も通学にかなりの時間をかけている子供がいるとは思いますが、「学校を廃校にするから、全員、遠いところの学校へ通え！」ということは事情が違う。たまたま、1日どこかへ出かけるのではない、1年のうち、休みを除く「毎日の通学に往復2時間を費やせ」と言えるか。学校の在籍中に、トータル何時間になるのでしょうか。 保護者の見守りがまだまだ必要である小学生、部活に学業に時間がいくらあっても足りない中学生にとって、毎日2時間小さなバスに押し込まれて、拘束されるのは忍びない。なぜ、この地域に生活するものが、そのような生活を送り続けなければならないのか。 現在の神通峡の地域内であれば、自宅と同じ環境で学校生活を送っているという安心感がありますが、地域を出て、十数キロ（遠いところでは15km以上）離れた学校で、もし何かケガや病気になった場合でも、すぐに駆け付けることもできない状況です。冬期間であれば、この神通峡地域では、かなりの降雪になる時も多い。やはり、まったく違った地域に子供を預けることの不安はあると思います。できるだけ、可能な限りは、地元の学校に通学させてやりたいと思うのは当然ではないでしょうか。 次に、「学校というものは、児童生徒を教育するだけにとどまることなく、地域の生活に密接に関わる存在」です。学校が有ることの影響は計り知れません。学校が無くなれば、これから小学校へ通わせる子を持つ若い世代が神通峡の自然環境を求めて転入してきた親子、これから転入しよう計画している若い世代が地域外に転出することは容易に想像できます。その実例が、猪谷小学校の廃校です。 多くの若い世代がこの地域から出て行ってしまうことになったら、子育て終わった世代と高齢者だけになる。各集落に数世帯だけが残る限界集落「ポツンと一軒家」が点々と続くような家々の状況になってしまい、生活拠点としての地域ではなくなります。学校の再編統合こそが、その原因となるのです。本当に、そんなことをしてもよいのでしょうか。 また、文部科学省の公立学校の適正配置等に関する手引きになるものも拝見しました。中に「特に山間へき地、離島といった地理的な要因や、過疎地など学校がコミュニティの存続に決定的な役割を果たしている等の様々な地域事情により・・・小規模校を存続させることが必要である」と考える地域・・・こうした市町村の判断も尊重される必要があります。」という表現があります。要するに、市がそのように思う場合も十分にありうると国も考えています。南砺市でも地域の核となる小規模校を「義務教育学校」として、存続させる方針との新聞報道を見ました。また南砺市は旧町村コミュニティを大切にしています。是非この神通峡地域をゴーストタウンにしないようにお願いします。 もう1点付け加えるとすれば、11月9日の北日本新聞に小規模特任校である朝日小学校の記事が出ていました。小規模校の特色を生かすことで、今や全校の約3割が校区外からの通学だという。大変有効な制度であると考えています。 神通碧小学校、楡原中学校についても両校がユネスコスクールの活動をするなど非常に特色ある活動もしています。小さな学校なりの良さがあると思います。 是非とも、この自然豊かな神通峡の中で、小規模特任校として学校を存続していただきますようお願いいたします。	細入

パブリック・コメント 大沢野・細入

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
93	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	地域の為学校を残してもらいたい。にぎわいがないと、地域がすたれるだけです。	細入
94	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	学校はこの地区には必要です。なくなればますますかそかされ活気がなくなる地区になりぜひとも学校はいりますので。学校はぜひ必要です。お願いします。	細入
95	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小中学校再編統合に付、断固反対いたします。義務教育の場は子供達にとって大事な場で有り地元榆原の自然環境にとって良い教育の場所であります。榆原地域から小中学校を無くす事は考えられません。	細入
96	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	猪谷南部保育所が統合され、ほそいり保育所となり、猪谷小学校が統合され神通碧小学校になり、猪谷地区の方から「子供の声が聞こえないのは本当にさみしい！」と聞いた事を思い出します。子供達からもらう活力はとても大きいと思います。細入地区より、さらに小・中学校がなくなる事は考えられません。 けれど統合がどうしても避けられないものであれば・・・・。 名称は大沢野中学校・小学校にして、その中に榆原校として存続するのはどうでしょう。現在大沢野小・中学生の中には、今の時代だからこそストレスを抱え登校が辛いと感じ少人数のクラスで自分を出せる学生生活を送りたいというお子さんもいらっしゃるのではないのでしょうか。榆原から出るのではなく、大沢野地区から榆原を希望するお子さんを受け入れる事も案の1つに考えられませんか？私ごとですが・・・小学校は山間部で分校がありました。その時の事が思い出されたのです。	細入
97	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	細入地区だけでの生徒の人数の確保は無理だと思うので、ボート部の活躍や学力優秀な生徒が多いと聞きます。そのボート部や学力を前面に出して近隣の地区から生徒を呼び込むことはできないでしょうか。	細入
98	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	・地域から学校がなくなると、一気に衰退してしまう。 今一部の若者がその危機感を共有している。実際に村に帰り家を建てている。当然子供も生まれる。そういう気運にある中、何で統合せねばならないのですか。 ・山間地域が衰退したら富山市としても負担増になる。 むしろ地域再盛の為、手をつくして下さるのが政治ではないですか。地域の崩壊につながらないように！逆行しているとしか思われません。 ・今の学校は小中一貫校で比較的新しい建物 わざわざ廃校にするのは見通しが甘かったのか。当然こうゆう事も予想出来たはず（耐震基準があるのに）全く無駄だと思う。 ・児童の適正規模と言われるけど多様性があるっていいのではないですか。皆同じ様でなければならないのですか。村の子供達は皆良い子に育っています。小規模校でも良い事は一杯あります。学校へ見に来てください。 ・たとえば、笹津地区や小見地区等々から来てはいただけないのでしょうか。そうゆう選択肢はないのですか。廃校にならない一番良い方法に思いますが・・・・。 ・地域の特殊性・小規模校ならではのきめ細かな指導を考慮に入れて議論していただきたいと思います。	細入

パブリック・コメント 大沢野・細入

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
99	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	大沢野の小中学校に統合する事には絶対に反対です。 今迄通りの学校生活を一次的に替えないで、小、中の生徒達が学んできた運動、勉強、その他の事にしっかりと学んできた小中学校です。生徒達はかわいそうに生徒の親達も苦しんでいる事でしょう。地いきの方達も学校が廃校にならない様、祈っておられるでしょう。本当に統合は絶対に反対です。今迄通りの学校でありたい。 大沢野小中学校に通学だめです。子供達の事もよく考えて下さい。	細入
100	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	富山市の中心部から車で30分、地域の中心部を国道が走り、路線バスや高山線も通っていて、生活上何の不自由も感じない旧細入地域を「衰退している」と考えたくはないのですが、このところの人口減少は目に余るものがあり、その影響が生徒児童の教育に影響を与えるとすれば、これほど由々しきことはありません。 今回打ち出された小・中学校再編計画は、地域住民にとってはまさに寝耳に水、青天の霹靂です。旧細入地区が将来「住むことができない」「住む価値がない」ということを宣言されているようなもので、地域を愛する住民にとっては憤り以外何ものでもありません。人は生まれ育った地域に深い愛着をもっているという本質を理解できない暴挙と言わざるを得ません。富山市に統合された当初から、前市長のコンパクトシティー政策によって、市内中心部に住むことが推進され、それを機に、蟹寺、猪谷地区などから住民が雪崩れを打ったように流出しました。今では以前の半数にも満たない住民が住むだけとなり、行政をつかさどるセンターも、もうすぐなくなると聞いています。 もちろん生まれ育った故郷に未練をもたず、地の利のいい大沢野地区などへ住民がどんどん移り住んだことは、人口減少に拍車をかけたことは否めません。しかし、市内で人の乗っていない環状線の電車や歩道に置かれている多くの青い自転車を見るにつけ、多くの税金が無駄につぎ込まれ、まったく市内全域の住民のくらしに役立っていない政策が行われてきたことは火を見るよりも明らかです。これが私たちの憤りに拍車をかけています。 しかし、冷静に将来のある子どもたちのことを考えると、果たしてこのままでいいのだろうかと考えさせられます。大きな学校で学ぶことは、小さな限られた中で学ぶよりもはるかにメリットが大きいように思います。とくに身に付く社会性は小さな学校の比ではありません。 私自身、地元の学校を卒業しましたが、幼少のころから友達が固定化し、狭く限られ、序列化された人間関係の中で小・中学校時代を過ごしていたように思います。そんな中学校時代までを経験した子どもが、いきなり市内の大きな高校に通うことになり、萎縮した学校生活を送ることを余儀なくされました。まさに「井の中の蛙大海を知らず」状態でした。少なからずそれは学業にも影響したように思います。やはり小・中学校から、いろいろな友達と出会い、切磋琢磨して育つ方が明らかに成績もよくなり、もっと違った人生を歩むことができたのではないかと思います。 南北に長い地域の特性から、通学の時間や冬場の安全な登下校に不安がないかと言えば嘘になります。そんな不安がないようにスクールバスを津々浦々まで走らせ、児童生徒に不審者や獣の危険が及ばないように十分配慮することが重要です。そのためには地域住民の要望をよく聴取して、手厚い援助が施されることを望みます。それなくして、無条件に再編計画に賛成することはできず、それは子を持つ親御さんも同様だと思います。	細入
101	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	神通峡地域から小・中学校が無くなり大沢野への学校に再編統合の案を知り驚きの事件でした。町は町の、山は山なりのそれぞれの地域にあった特色ある教育・伝統ある中で住民は学校に協力し、ボランティア活動も活発に続けています。絶対に絶対に学校は必要です。学校が無くなると地域住民の繋がりがもうすれ若者は町へ流出し高齢者だけの荒廃した集落へと衰退していきます。統合となれば児童・保護者への負担も大きくかわってきます（冬期間は尚更のことです）児童の安全安心に心配があります。現在行われている「きめ細かな指導」「自然豊かな環境を生かした教育」「小中連携による様々な行事」現在行われている教育をぜひ継続させ、義務教育学校設立を強く望みます。児童の元気ある挨拶の声を毎日交わし見守っていききたいと切に願います。 魅力ある地域づくりにも住民が一丸となり盛り上げていく努力も必要です。	細入

パブリック・コメント 大沢野・細入

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
102	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	大沢野小学校との統合は反対です。なぜなら、子供たちがかわいそうです。冬の期間は大変だと思う。どうして統合しなければいけないのか？子供達が少くないのでそれで統合をするのか、納得ができない。	細入
103	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小・中学校の再編に反対し、義務教育学校の設立を希望します。即再編の方向へ持つて行くのではなく、義務教育学校という選択もあると思います。	細入
104	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	学校が統合することになると、細入も若い人が減って高れい者が多くなると思います。これ以上人口が減らないように、学校もいままでどおり存続してほしいです。	細入
105	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	・学校が無くなれば、細入に住みたいという人が減少し、住みにくい村として印象付けられます ますます過疎化が進みそうで 統合には反対です。 通学時間の長さも子供達の負担になると思います。	細入
106	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	私達は、今まで地域コミュニティを守る為に、学校を地域に残そうと話し合い、市へ要望を出していた最中に突然の再編原案の発表におどろいています。一方では水橋地区はすぐに決まり、先に要望していた山田地区、細入地には何の回答もない、こんな不平等な事があってはならないと思います。 学校を残し少しでも人口の流出を防ぎ、地域にある、文化を存続させていただきたい。 なにより矛盾に感じたのは、計画にのっとって行っているのならなぜ、統合計画があるのに、耐震工事をして、熱中症対策にお金をかけて、それをただの廃墟にするのか、それなら、せめて、その建物の耐用年数まで有効に、いろいろな学校の在り方を考えても良いのではないのか？ 多様な学校の在り方を考え、中山間地の過疎化を防ぐ上でも、ご一考をお願いいたします。 追 心配事 ①特に小学生について、いじめの対照になったりはしないか ②スクールバス等いているが、学校行事等スクールバス時間外の活動における親の負担増	細入
107	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	・岐阜県からの越境している生徒もいる為 大沢野小、中までの通学となる場合、生徒、保護者の負担が大きくなる。 ・少人数製を生かした授業から40人学級になった場合、環境にとまどうのでは？ ・地域に小中学校を置く事により細入地区の住民の方々とのコミュニケーションが取れているのに無くなった場合 地域の交流も無くなる事と大沢野地区以外に行政、市教委は目が届かなくなるのでは？	細入
108	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	・小、中学校再編計画は反対です ・現実には子供達が少なくなると、統合は止むを得ないのでは、とも思います ・我家の前を登校下校時に子供達が通ります 礼儀正しい子供達は顔を見ると、元気に挨拶をしてくれます「おはようございます、こんにちは」と。高齢の私達は心がなごみ、元気をもらっています。毎朝子供達が通るのを楽しみに見守っています。 ・神通碧小学校、楡原中学校の存続を強く希望します。 ・地域の高齢者の楽しみを奪わないで下さい！！ ・子供達の声聞いていたいです！！	細入

パブリック・コメント 大沢野・細入

[illegible]

パブリック・コメント 大沢野・細入

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
113	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	統合案には反対です。 地域から学校がなくなると、行事等も少なくなり地域の活性化が見込まれなくなり、衰退していくばかりです。 さらに高齢化が進みます。 若い人達が住みやすい環境を整え、他地域に流出しないような対策を考えることが望めます。	細入
114	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	老朽化して改築を迫られていた旧神通碧小学校を、既に耐震化された楡原中学校に併設移転し小中を一体的に運営するようにしたのは、まさに義務教育校的な発想に基づいた先見の明であったと理解し、評価してきた。 大きい規模の学校生活が必ずしも児童生徒の健全な成長に好いとは思われない現象が多々見受けられるので、当面は自然環境豊かな義務教育校に転換していくのが妥当であろう。 大規模校での学校生活になじめないでいる児童生徒の転校先として受け入れる等、画一的でないのびやかな学びの場として特色を発揮していくことが良いのではないか。山村小規模校での弱点は、リモート技術の活用や他県を含めた交流等で補完できる時代である。	細入
115	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	富山市立小・中学校の再編原案には反対します。 義務教育学校を設立していただきたいと思います。 この先は広い視野を持って、行動することが大切です。 楡原にはいい所もたくさんあります。	細入
116	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小・中学校の再編計画について、地域の衰退は尚の事、子供達、保護者の精神的肉体的苦痛の負担は大きくなるのではないかと考えられます。（冬期間は特に） 学校存続希望す。	細入
117	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	子供達は、緑豊かな、環境の中で、のびのび学校生活を送れたので、もしなくなることになると、とても、さびしく、残念でなりません。 学校がなくなると、子供達が通学するのに大変になるので、学校は、残してほしいと思います。	細入
118	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	富山市の統合により中山間地域である細入地域の過疎化が進んで中で、この様な小中学校再編により、子供たちが、大沢野まで通学しなければならなくなれば、神通峡地域で住む人々が少なくなり更に過疎化が進むと思われます。 また、児童、生徒たちの通学時間も長くなる為、負荷が大きくなります。 是非、神通峡地域に学校を残し、地域の衰退を抑制して下さい。	細入
119	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	今回の富山市立小中学校再編計画による神通碧小学校、楡原中学校2校の原案には反対します。 教育委員会の基本方針での望ましい学級数では、どんどん学校が無くなっていきます。小規模校には、それなりの良い点が有ります。地域密着はもちろんですが、地域の皆さんに守られていると思っています。それが再編によって通学に数時間かかるようになったら誰が子供達を見守ってあげれるのでしょうか。通学時間が増えることは子供達にも親にも大きな負担になります。この様な現況になると、さらなる人口流出が進み、地域の維持も出来なくなります。 まだまだ小規模校のメリットが有りますが以上の観点からも2校を残すようお願い致します。	細入
120	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	神通碧小学校及び楡原中学校の再編の基本方針に反対です。人口の減少による方針でしょうが統合されると増々減少傾向が強くなると考えられます。 昨今は地区・地域の種々の行事そのものがほとんど無くなり、地域のコミュニケーションが取れなくなって居ます。この現況下で小中学校の行事が地区住民の大切なコミュニケーションとなっている現状が有ります。 小中一貫の義務教育学校として存続を求めます。	細入

パブリック・コメント 大沢野・細入

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
121	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	中学生までは近くで見守りたいので神通峡地域での小学校・中学校を存続してほしい。	細入
122	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	神通峡があり、楽今日館、天湖森、林林、若い人々が来るが、学校がなくなると人口の減少に。細入に学校がなくなると若い人が来ない。細入は雪の多い場所、通学に大変、若い人が来ない。魅力ある学校がなくなる。	細入
123	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	当地区も年々過疎化がすすみ、高齢化、少子化の進行に依り当然児童数が減少しております。標準学級数を下回り小規模校となっております。小学校と中学校の併設は、すでに実施されており建物（校舎、体育館）もまだ健全な状態で地区のコミニティーの核としての存在も大切です。小規模校としての課題も有ることは理解できますがこの設備、自然豊かな環境のもとに個性の有る学校として是非存続してもらいたい。又当事者である、小学生、中学生の皆さんの意見も是非聞いて見て下さい。	細入
124	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	確かに少子化は進み、当地域のみならずとは承知しております。 財政面で再編もあるかと思いますが今日、いろんな考え、多様性が求められるからこそ、この小規模校もあっても良いのではないかな？ 自然豊かな当地域で育つ子供達の将来は決して困難ばかりではなく希望もあるのではないかな。机上だけでは判らない事だと思います。	細入
125	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	私達の地域は若い人達が住み始め下さっています。小さな子供の声が聞こえる、そんな昨今、それなのに学校が遠くなると、せっかくの若い人達が子供の事を考えて外へ出ていかれるかもしれない、そうなる、ますます高齢化し、寂しい地区になりかねません。校舎も、まだしっかりしています。どうか一人でも若い人がここに住みたいと思わずにはまず、地域に学校がある事が第一だと思います。過疎化にしないで下さい。 活気のある住みやすい地区であるためには学校がどうしても必要不可欠です。	細入
126	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	・冬期間の通学が大変と思われる。 ・両親の学校行事の参加もきびしいと思われるし、緊急時の対応にも時間がかかる。 ・特に中学生部活の送迎は、負担になりそうで仕事にある程度影響する事もあり得るのではないかな？ ・部活の選択肢が増える事は、メリットと考える。	細入
127	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	※教育は、人数の大小では無いと思います。 朝早くから、通学登校に時間をかけて、昼に授業に気持ちが入りません。 旧細入は今まで通りに学校の運営を希望します。	細入
128	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	少数意見を大事にすることが民主主義であり、多様性を大事にすることだと思います。 教育委員会の方々には、教育者として、少数者（立場の弱い者）の意見にしっかり耳を傾ける姿を、子どもたちに見せてあげてほしいと願っています。 私は、強い立場の者が、「結論ありき」で臨み、形だけの意見聴取をして、学校の統廃合を進めようとしているように感じ、とても残念に思います。 生活に便利な地域で暮らし、多くの生徒のいる学校に子どもを通わせたいと思い人は多いかもしれませんが、自然が豊かな土地に住み、全校が家族のような小規模校で子どもを育てたいと願う者も、少数かもしれませんが、確実にいます。様々な生活スタイルを選べる世の中であってほしいと願うことはいけないことでしょうか。 コロナ禍で人口が集中することのデメリットがよくわかりました。学校を残すことで、都会からの移住者が増えることも期待できますが、学校がなくなってしまうと、それもかなわなくなるかもしれません。多様な生き方を保証するためにも、細入地区に、小学校・中学校をぜひ残して下さい。お願いします。	細入

パブリック・コメント 大沢野・細入

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
129	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	往復2時間の通学時間は子供達にとって、とても苦通だと思います。子供が大沢野に通学すると大人の人も出て行くと思います。ますます細入地区から人がいなくなると思います。	細入
130	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	現在、小中学校が併設されており、あえて、大沢野まで通学する必要が無い。9年制の義務教育学校を設立すれば、通学時間も短縮され、特に低学年の児童においては、負担が、なくなると思います。なぜ、児童に負担をかけ、大沢野まで、通学しなければならないのか疑問に思います。	細入
131	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	私は、我が家は■■■です。今の環境、小学校、保育所のこともかなり満足しているんです。が、この再編案を聞いてリアルにうちの生活が変わる。この細入が変わることを想像してこわくてたまりません。うちは格家族じいちゃんばあちゃんに平時頼れないので学童は毎日、自営もしているので学童に助けられています。それが再編となると毎日大沢野への学童のお迎え、毎日今より1時間のロス、1年で250時間、小中の9年で2250時間…約100日分のロスが出るんですよ。それは送り迎えの私の話、小学生の娘も、これから小学校に入る息子もうちだけで300日のロス…通学格差がひどすぎませんか。すぐ近くの飛騨はうちよりも不便ですが、転入者はこの細入よりも多いです。それは行政の差なんです。過疎地を見捨てない政策の差なんです。富山は街に人を集めてどうしようと思っているんでしょうか。今細入に人がこの程度でもいることで守られている環境、人が学校がなくなることで細入からいなくなると、もっとお金がかかってくることになりませんか。けものが山から下りてそこにお金かかることになりませんか。過疎地をもっと過疎にする再編計画や今のまちなかに力を入れるこの負のループをどこかで断ち切らないと富山県自体が衰退することになります。田舎に力を入れてくれる富山になるだけで私たちみたいな移住者はまだまだ細入にも来てくれます。そういう全国に例をみない成功例にしてみませんか。細入の小学校と中学校は元々校舎は一緒そしてユネスコスクール、せっかくの立派なものを捨てないで小中統合して義務教育学校にするならここはかなりしやすい学校だと思います。そして都会、街の大人数の学校に行きづらい子の受け入れ口にするという方向でいかがでしょうか。当事者じゃない方の机上の空論よりは当事者のリアルな声を聞いてください。ここの予算をけずること かかってく予算はかなりあると思います。なので今を一生けんめいに生きている細入の子供たちに、小中一貫の義務教育学校を残してくれるだけでいいんです。娘の同級生の飛騨からバスで来ている同級生のことを考えても、1日の通学時間や負担を考えると涙が出そうになります。どの地域も輝く（街も田舎も）富山にして。	細入
132	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	望ましい学校とは、子供の住んでいる環境や子供の負担などを考えて決まるものであり、一律に経済性や効率性などで決めるものではありません。従って学校の望ましい規模や、適正な通学距離や時間というものは一律に決めるものではありません。あってはならないことです。 地域社会には、学校や郵便局、公共の交通機関などではなくてはならないものです。これらの条件の1つでもなくなると地域社会は崩壊していきます。 つまり、学校をなくすことは、地域を崩壊させる原因の大きな要素となります。地域社会に子供がいなくなるまで学校は存続させるべきです。この地域で子育てをしたいと願って移住してきた家族もあります。 地域社会の崩壊は、即ち環境破壊となり大災害を引きおこす原因となります。国道一本の通学路しかないこの地域は事故や災害が起これと交通マヒとなり通学不能となります。積雪の多いこの地域では、地域を越えた通学は認められません。何かが起こって子供が犠牲になることがあったら、市当局、学校は、その責任をどうして取られるのでしょうか。その責任を明確にもできない、うやむやな無謀な学校再編はすべきではなく、絶対に認められません。	細入
133	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	今、現在、牛掛地区戸数は22戸です。でも、保育園生が2人、小学生が3人、中学生が2人少ない戸数ですが、地区の宝物が7人います。みなさん、自分の孫か、子供のように、思っていてつい笑い顔になります。こんな風景を、このまま見つけたいと思います。これが、なくなったら、ショックで自分のこれからの残された生活にも悔いが、残ります。これから、義務教育学校にしてもらい、楽しい人生を、すごしたいです。簡単です、子供たちは、地元でのびのびと育てていき、まわりも幸福になり、全員がニコニコして生活したいのです。	細入

パブリック・コメント 大沢野・細入

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
134	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	富山市から学校再編の指針が発表されたが、私の住んでいる前細入村南部地区には、猪谷中学校・猪谷小学校・細入南部保育所が存在していた。出生率の低さから猪谷中学校は、昭和47年（1967年）細入村・大沢野町学校組合立楡原中学校に統合した。私が中学1年の時だったその後は、卒業した9人の同級生は段々と地区から、離れた所で生活の拠点を持つようになった。この時代・良い高校・良い大学・良い就職先の時代のせいでもあったが中学校が無くなり、地元の愛着が薄れてしまったのだと思います。 高校入って青年団に入った、2月末から4月の本番までの毎晩獅子舞いの伝統芸能の練習をした、敬老の日に青年歌舞伎を復活させた、カッラと衣装は飛騨高山まで借りに行った。借用費用は、獅子舞いの花代を流用していた、他にもこどもの日の映写会、地区内消毒納涼祭の景品等・住民運動会の世話係等・頂いた御花を地区に還元していた。 しかし、次男・三男ことを思いこの頃に行行政と話し合いをした事がある、それは、猪谷地区に住みたいので宅地造成のお願いをしたが今は楡原で宅地造成をやっているの、楡原に住めば良いという返答だった。地元愛を全然分かっていない。話は平行線で終わった。 そして30歳で青年団を卒業・31歳から親和会（壮年会）に入った、地区の中心となり地元愛して活動していた。子供3人授かった。そして平成14年（2002年）降ってわいた小学校の統合話、行政や議員との話し合い。彼方の意見は、少数児童で複式になったら子供達が可哀想、体育の授業も大変なことだ、最善の方法は統合しかないと言われた、納得はしていないのに猪谷小学校は平成15年（2003年）細入村・大沢野町学校組合楡原小学校に統合し神通碧小学校となった。 そして今の猪谷地区の現状は、結婚して少数は、楡原に移り住んでくれたが多くは、細入地区を離れて細入以外に居住している。学校がなくなってからの若者の結婚してからの流出が止まらない、その為に青年団主催の獅子舞いの子役がいらない。子供が地元に住んでいないので、青年団も入る年頃の若者たちがいないし、高齢者住宅が増える一方で、地区の安全・安心と治安維持のため、消防団に依存しているが、人手不足で親子・兄弟でも入らなければ団員の確保が難しいのが現状です。 今ここで踏み留まって神通峡地域の小学校・中学校の存続を出来なかったら未来は、細入南部地区のようになりいずれ崩壊するでしょう。 今、楡原から学校をなくすことは本当に恐ろしいことです。 私は心から反対です。	細入
135	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	○要望書で要望されていることその他、次のことを要望します。 1. 義務教育学校の設置を希望します。 ①市域は広く、東西南北等に1～2校あってもよい。 ②既存施設をそのまま使用できる。 ③多様性を持った生徒達の受皿としてあってもよい。 ④自然環境を十分生かした教育ができる。（自然環境を移動させることはできない。 ⑤小人数指導は、何よりも生徒ひとり一人が主役を経験できることです。 例えば、体育大会、それぞれが競技者であり、大会役員であり、応援団員である。彼等がそれぞれの役をこなすことによって、大会を成功させることができる。この主役の経験が大きな自信になり、生涯の財産となるのです。	細入

パブリック・コメント 大沢野・細入

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
136	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	①地域の衰退が加速する。 我々は過去に猪谷小学校統合時に辛い思いをした。統合説明時はメリットばかり並べて、その後統合後は何ら実行されない。又、地域から病院、スーパー、商店が消え、JRの列車本数も減った。若い者も結婚しても不便な地元を離れ街へ出て行き家には老夫婦2人だけ残った。先祖の家も土地もやがて捨て去る… ②通学の負担増とリスク。 通学時間増で心身に悪影響。R41の降雨・降雪による土砂災害多発で通行止めや迂回通行がある。 ③義務教育学校の推進 義務教育学校設立に新たな設備投資不要。きめ細やかな指導、自然豊かな環境等が特表となり、他地域からの児童受入れが可能で学校自体も継続される。 ④生活不安による都市部からの地方、田舎回帰に備える。 地球温暖化による環境破壊、太平洋沿岸で予想される地震や津波等自然のきょう異から地方への移転に伴う児童数増に対応可能。 以上	細入
137	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	私は、来年度神通碧小学校へ入学する娘を持つ母親です。私自身、猪谷小学校・楡原中学校卒業生です。私が猪谷に残り、ここで子育てをしようと決めたのは、私自身小規模校で、義務教育を受けて、その良さを実感してるからです。親として子供には、良い環境で教育を受けさせたいからです。小規模校ならではのきめ細やかな指導、担任の先生以外の先生からも見守られている安心感は、中学生当時も感じていたのを、今でも覚えています。生徒数が少ないデメリットは、部活動の選択の幅が少ない事ぐらいだと思いますが、大沢野に統合されたら、通学時間がバス等で、1時間と掛かかり、通学だけで、子供には大きな負担になります。小規模校は、生徒数が少ないからこそ生徒会会動等、生徒一人一人が協力して、考えて、学校生活を送っていくのです。この様に、貴重な教育の場を奪わないで欲しいです。大沢野地区との子供同志の交流も盛かんとは言えないと思います。その様な状況で、早急に統合を進めていく事にも不安を感じます。どうしても、統合やむなしで、あるのなら、まずは、生徒同志の交流を盛んにして時間を掛けて行って頂く様切にお願い申し上げます。	細入
138	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	子ども達の教育を考えると、学校に通えさえすればよいという考えではなく、より良い教育を受けられるようにするには、一体どうすればよいかを考えてほしい。どこの地域に住んでいても日本の、富山の、地域の宝物の子ども達である。 猪谷小学校が廃校となり、生活の中から子ども達の元気な声が地域に響くことが無くなってしまった。活気の無くなった地域、高齢化する住民。小学校・保育所が無くなったことで若い世代が育った地域を離れて暮らし、現在保育所・小学校・中学校に通う世帯は片手で入る位ではないか？猪谷小学校が無くなって、楡原中学校、神通碧小学校が廃校となれば、旧細入村地区の無人村化が加速されるのではないか。地域の無人化をすすめるには、学校を失くしてしまうことが一番容易ですか？逆に、未永く地域を活性し、教養ある人に育てるには、時間もお金もかかる。これまでは、そのようにして、地域で、子ども達のために文化を守り、それぞれの地域力・人力等で、精一杯子ども達を育ててきたと思う。私は、地域の皆さんのお陰で、今の自分があると感じている。現在統廃合（小・中学校）されそうになっている地域を、もっと支えて下さい。まちなかばかりでなく、不便だけど、工夫し、忍耐しながら、子ども達を宝と大切に育ててきた多くの地域の永続に力を注ぐことが、富山市全体を支えることであると、富山県、日本、全体を支えることであると強く思う。 大沢野中学校・山田中学校への入学予定者の中で、楡原中学校で学んでみたい生徒達に、<u>スクールバスでの通学</u>と、どうしてもなじめない場合に希望者の転校を認める（〇年間転校しないという誓約なし）など、新しいシステムの構築・実践もお願いしたい。	細入

パブリック・コメント 大沢野・細入

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
139	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	1. 神通川沿い岐阜県飛騨市中山迄の山間部集落までの中山間地の小学生通学生の大沢野小学校迄の再編には同意できません。冬季の降雪地帯でのスクールバス通学は現状の楡原校でも限界。大沢校への同意は出来ません。山間地教育の重視願います。 2. 参考 昭和41年 猪谷中学校 廃校 平成15年 猪谷小学校 廃校 楡原校へ統合す。	細入
140	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	かつて、猪谷地区も中学校、小学校、保育所があり、活気がある地域でしたが、猪谷中学校が統合して無くなり、次いで小学校、保育所が相次いで統合して、地区から無くなってしまいました。その結果、地区の人口の流出に勢いがついて現在は若い夫婦（子供含む）がほとんど居なくなってしまいました。 今、楡原中学校、神通碧小学校が統合により無くなれば、猪谷地区の二の舞になり、旧細入地区が益々若者達が居なくなり、最終的には、更なる人口流出に拍車がかかるのは目に見えます。このことから、私は地域に学校がありその中で、子供達が小規模校ならではのきめ細やかな教育指導をしていただきながら、地域に根差した学校教育をしていただきたいと願っています。 学校が地域にあれば何とか若い世代の方々を地域に残る、定住していただくことも可能になり、地域の衰退に一定のブレーキが掛かるものと考えますし、自分の子供にも強く地元に残ることを勧める一つの要因になると思いますので、何卒、旧細入地区の為、若い世代の為、学校がこの旧細入地区に残ります様、切に、お願い致します。	細入
141	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	上記の通りですのでよろしくたのみます。	細入
142	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小・中学校をその地域からなくすということは、地域をつぶすこと、地域の文化、歴史、つながりをなくすこと、ひいては日本を衰退させることになっていくのではないのでしょうか。 旧細入は、県境でもあり、地域がすたれることは、県の豊かさのイメージがマイナスになると思います。小規模な地域も活気あることが、豊かな心をはぐくみ地域に見守られることで、安心感が得られるのではなかとと思います。 統合することの意義がよくわかりません。住んでいる近くに学校があることで、その地域の特性を生かした学びができるのではないかと思います。 地域がすたれていくことは、山の保全がすたれ、里（旧市）にも影響するのではないのでしょうか。現在の状態を保持して頂きたく、よろしくお願い致します。	細入
143	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	・学校は地区のシンボル。どうかのこして下さい。	細入
144	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	通学時間がながくなるし小学校中学校と同じ学舎で和気あいあいと9年間すごせるのは良い事だと思います。 学校を残して欲しいと考えています。	細入
145	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小・中学校を存続してほしいです。なくさないで下さい。お願いします。	細入

パブリック・コメント 大沢野・細入

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
146	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	通学時間が長くなり子供達がかわいそう。勉強時間も短くなる。地元に学校がなくなるのはさみしい。	細入
147	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	☆通学時間が長くなり、学習時間や部活の時間が短くなる。 ☆若い人が村から出て行ってしまう。 ☆なくさないで下さい 残してください。	細入
148	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小、中学校の学校をなくさないで下さい。 ・かそ化を促進しないために。 ・子供達の生々と伸々とした学びがたもてるように。	細入
149	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	学校は残してほしいです。 通学も不べんです。	細入
150	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	通学時間が長くなる。 かそ化が進む	細入
151	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小学校・中学校残してほしいです。	細入
152	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	豪雪地帯で冬場の通学が大変で近くに学校が無くなる事は大変こまります。 ぜひ学校を残して下さい。	細入

パブリック・コメント 大山

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
1	10/16	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	いくつか、私の意見を述べさせてください。中学校の再編の基準が、小学校と同様「すべて1学年1学級の学校」となっていますか、例え1学年2クラス程度の中学校も人数が少なくて問題点があるので、再編を検討するべきだと思います。 また、福沢小を大庄小や上滝小に統合させる案がありますが、月岡小との統合はどうですか。旧市町村をまたぐことになりませんが、距離的にも近いことや、地鉄バスがあるので通学方法もそちらの方がいいと思います。 もう一つ山田、細入地区のことですが、地域の意見を尊重すべきだと思います。地域の方から、義務教育学校を要望されているのなら、義務教育学校の方も市として考えるべきだと思います。人数が少ないが、小規模学校での良さや、山田や細入と言った、自然の中で学べることの楽しさがあるのではないのでしょうか。	大山 山田 細入
2	11/1	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	上滝、大庄、福沢、小見各小学校の新設統合小学校を大庄コミュニティセンターやJAあおば大山支店の所在地より西側に配置すれば、小見を除く3校の校区から通学距離に不公平感がなくなる。公共施設、駅や幹線道路もあり利便性が良い。	大山
3	11/1	FAX	市内に在住、又は通勤・通学している個人	「大山地域小・中学校の再編について」 1. 小見小学校は小規模特認校として存続する。立山山麓への市内外からの移住を図り児童数の増加を図る。一定の児童数の維持ができなくなった時は大庄小学校へ統合する。 2. 福沢小学校は大庄小学校へ統合する。 3. 上滝小学校は大庄小学校へ統合するが、場所は現大庄小学校とする。大庄幼稚園閉園後の跡地、北側の空地等増設できる。また上滝小学校児童の減少はかなり早く進むとみられる。（?） 大庄地区は、かねてより住んでみたい地区、住んでよかった地区をめざし「大庄ふるさと再発見」「大庄未来ムロプロジェクト」等大庄小学校と取り組んできた。 現在学校運営協議会を設置しコミュニティスクールとして活動している。また、地区住民がコーチとしてスポーツ活動に取組み市、県で活動している。 大庄地区は大山地区でもっとも若い人口の地区であり、各地で小規模の宅地造成を行い若い家族の住む場として取り組んでいる。 「この事から大庄地区住民は全て、大庄小学校は現在の場所を動かさないと強い思いを持っています。」	大山
4	11/15	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	大変重要な問題が、この様に教育委員会中心にどんどん進められて行くのは問題だと思います。「通学区域審議会」なる所に諮問して決定して行くプロセスはおかしいと思います。この審議会のメンバーはどう言う基準で選考されたのでしょうか??通学区域審議会では無く、学校再編審議会ならまだしも・・・再編案が先ではなく、先ず、もっと丁寧な手順を経て、再編対象小学校の地域・保護者の声の吸い上げが第一と考えます。児童数減（人口減少）は日本全体の問題で、他県でも学校再編等が進められていると思いますが、他県に於ける再編事例（成功事例）に学ぶ必要が有ると思います。小見小学校校区では、恐怖心が先立ち意見を集約するのが大変難しくなっています。小規模特認校の制度は何のために作ったのでしょうか?朝日小学校は、児童数が増え成功しています。小見小学校は、中心部から遠すぎますが、魅力いっぱいの学校で、スクールバスを出せば必ず多くの区域外通学が増え、100人規模の学校に成ると思います。市内のマンモス校は問題が無いのでしょうか??分割して、小見小学校等へ通学させる方法は検討されたのでしょうか??十分注視して行きたいと思っています。	大山

パブリック・コメント 大山

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
5	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	まず、始めに富山市教育委員会が策定した基本方針について、①だれが策定したか？（小学校12～18学級・中学校9～18学級で1学級少なくとも21人以上）これは瑕疵が前提にあります。 「当事者の予想する完全性が欠けている」生徒数や学級数がすべてではないはず。過疎地域における学校統合・廃合後の細入・山田・小見地区の歴史や伝統の継続性の重要性がなくなります。単に画一的に他県の教育委員に横並びの発想力で進めていないでしょうか。地域の伝統や歴史的な行事は子供が主力な面が多くあります。再編→人口減→行事中止のスパイダルが加速します。過疎になったので大きな学校に統合する…なんとなく正論のような錯覚になる（教育の特に得意とする数字的思考）で処理されては、何百年の神社・寺の行事・お祭の伝統など心配です。これからは多様性の時代だと思います。複式学級は「悪」ですか？多分再編により「いじめの巣窟化した大規模校で小規模校の生徒はいじめの対象になります。過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法があったかと思います。 そっと、いままで通りに残して下さい。 地域が反対しているのに「公務員の職務の（人事の為の）点数をあげる必要はありません」よろしく対応願います。	大山 山田 細入

パブリック・コメント 八尾・山田

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
1	10/16	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	山田小・中の再編案として、古里・音川小、城山中との統合も検討してほしい。公共交通バスを使っても通える。婦中地域へ行く道路が安全で積雪時の通学もしやすい。（八尾地域へは、長い橋や急勾配の坂道があり危険）保護者の通勤先は婦中地域方面が多く、家族の送迎もしやすい。	山田
2	10/16	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	いくつか、私の意見を述べさせてください。中学校の再編の基準が、小学校と同様「すべて1学年1学級の学校」となっていますか、例え1学年2クラス程度の中学校も人数が少なくて問題点があるので、再編を検討するべきだと思います。 また、福沢小を大庄小や上滝小に統合させる案がありますが、月岡小との統合はどうですか。旧市町村をまたぐことになりませんが、距離的にも近いことや、地鉄バスがあるので通学方法もそちらの方がいいと思います。 もう一つ山田、細入地区のことですが、地域の意見を尊重すべきだと思います。地域の方から、義務教育学校を要望されているのなら、義務教育学校の方も市として考えるべきだと思います。人数が少ないが、小規模学校での良さや、山田や細入と言った、自然の中で学べることの楽しさがあるのではないのでしょうか。	大山 山田 細入
3	10/17	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	八尾町在住です。八尾地域では八尾小学校と樫尾小学校と統合するのが一番簡単だと思います。樫尾小学校区のせいらん台のこどもたちは、みんな八尾小学校に通っています。それに樫尾小学校が近いにも関わらず、親が八尾小に通わせたいと、理由をつけてこどもを八尾小に通わせている人もいます。樫尾から八尾までは、そこまで遠くなくて、スクールバスがあれば通学は可能だと思います。 山田地域に関しては、山田は山田村義務教育学校として、山田に残すべきだと思います。山田から八尾まで21キロはあり、スクールバスを使うにしても1時間はかかります。八尾とくつつくのは非現実的です。 山田は、保育所から中学校まで近いですし、運動会もみんな一緒にやるんです。山田村には地域の繋がりも強いです。こどもが少なくなっても残すべきだと思います。 最後に。大人が机の上で決めるのではなく。こどもたちも交えて、みんなで決めることが一番だと思います	八尾 山田
4	10/19	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	子供が山田小学校在学中です。学校再編の影響で別の学校に行きたくない。と言っています。子供達的意思／意見を尊重してあげていただきたく児童達の意見を聞く場を設けてください。	山田

パブリック・コメント 八尾・山田

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
5	10/27	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	私は富山市山田に在住であり、山田地区に勤務する40代の男性です。山田小学校■年■児と■年■児の■人の子供がいます。現在■年生は■■名、■年生は■名であり、2年生は残念ながら複式学級となっています。 結婚前は、山田地区を出て旧富山市内に在住しておりましたが、結婚と子供が出来たのを機に山田地区に家建て、■■■■してまいりました。その際は、家族に子育て、通勤、生活環境などの問題を何回も話し合い、納得のうえで■■■■■■■■■■。 今回の学校再編の原案を拝見すると、山田地区の実状があまりにも反映されていないように感じます。地域にとって「学校＝子ども＝地域の活力」であり、過疎が進む山田地域にとって学校はかけがえのないものであると思います。児童・生徒数だけでは計り知れない重要性があると考えます。旧富山市内と同じ机の上で考えてはならないのです。 また、原案では八尾地区との統合となっていますが、私の住む地区は山田西部地区にあり、八尾は生活拠点とは遠く、あまり関連性は無い地域です。病院なども婦中町を中心に利用しており、原案は安易に八尾地区との統合を計画されたものと考えます。このことも含めて再度ご検討をお願いしたいと考えております。 しかしながら、2年生の女兒は複式学級となっており、学業や部活動など少人数であるため非常に心配しております。今後、なんの対策も講じないと、このような少人数学級ばかりになるものであることも理解しております。 このため、学校再編だけで議論するのではなく、地域の活性化や都市計画、例えば行政での宅地の造成などを行うなど、地域全体での目標や計画を立てて、全体での発展を計画していく必要があると考えます。このままの考え方では山田地区は無くなってしまいます。	山田
6	11/5	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	八尾・山田地域の統合について、最終的には八尾山田全域で集まって統合中学校近くに新設（保内小学校の利用が土地利用的には一番効率が良いのか？）するという案は大筋としては理解できる。 その前段階の、八尾・山田・樫尾の小学校の統合先として、八尾小学校が挙げられているが、旧町・福島の徒歩圏の児童もいるものの、面積的には大部分はスクールバスによる通学になると思われる。その場合、八尾小学校の立地は車での送迎等に非常に不便な立地であり、車での交通の便を考えれば、樫尾小学校を統合先とし、名前は八尾小学校を引き継ぐという形を検討しても良いのではないかと。樫尾小学校の方が八尾よりも施設も新しかったはずでは？ また、小羽、土、等の大沢野の神通川左岸地域は古来、八尾の小長谷等と同じ黒瀬谷村としてあり、八尾、大沢野へ分村合併した経緯もあると思うが、小学校再編では校区を八尾側に戻す等、そのような考えもあっても良いのではないかと。	八尾 山田
7	11/5	入力 フォーム	市内に事務所又は事業所を有している法人その他の団体	■■■は旧山田村地区を管内としており、今回の小・中学校再編計画は今後の事業運営に非常に重要な関連性があります。原案のとおり山田小・中学校が八尾地域に再編されたならば、山田地域に小・中学校が無くなり、過疎化が加速していくものと考えられます。地域内外のこれから家庭を持つ若い年代の方々が、小・中学校の無い山田地域に定住するとは想像できません。近い将来、極限的な過疎集落となるでしょう。 当管内では特産品として中山間地特有の地域性を活かして啓翁桜やソバ、エゴマやニラなどの生産を行っております。また、■■■は地域の重要なライフラインとしてLPガスの供給、地域唯一の金融機関、地域唯一の給油所、地域唯一のコンビニを運営しております。 このため、原案のとおり小・中学校再編計画が進められた場合、■■■の経営は立ち行かなくなり、近隣地域の■■■との合併を模索するなどの対応を迫られることとなります。地域の皆さんとの寄り添いを重視して運営している■■■は、■■■や職員の生活を守っていく責任があると考えております。合併協議を行う場合、小・中学校の無い、将来性も無い地域に支店などを残す話も困難となり、完全な吸収合併となるでしょう。その場合は地域のライフラインが無くなり、過疎化へ向かっての悪循環となり超限界集落地域となるのは明らかであると考えます。 今回の学校再編計画を小・中学校だけの問題と考えるのではなく、地域全体に与える影響を熟慮していただきたいと思います。	山田

パブリック・コメント 八尾・山田

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
8	11/5	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	現在全市的にいや、全国的な流れの中にある大問題は少子化による少数クラスまたは小規模学校での子どもの教育であり、それが今後の国家の衰退を左右する最も重要な要素であると言われている。 特に富山市内での2～3クラス以上を目標とした小学校の統合はすでに大方の民意を得て進められようとしている。なかでも特に小規模な山田をはじめ細入や檜尾等は1学年1クラスも維持できず、現状では複式学級が存在する。多くの児童が集う学校が最良とも言えないが、数人で学ばざるを得ない地域での子どもたちの未来はそれほど明るくないのではないか？今では、親にとって子どもたちは最大の宝であり、財産である。その宝を育むために、両親は自分たちの家庭を（家を）持つ際に場所を山田ではなく、多くの住民（児童）が集う他所を選択してしまうのである。 そこで、学校教育の場と住まいとを分離して考えることとしたい。子どもたちには多くの仲間と一緒に学ぶことのできる場と、自然が豊富で美しい山田の地で送る生活を与えてやりたい。それが出来れば、それが可能であれば、ついの住処を他所へ移すことを考えなくてもいいのではないか？拙作して隣町に家を建てなくてもいいのではないか？ 地域の事を考えるのか、1つの家庭のことを考えるかはたぶん同じことであり、1つの家庭の将来を考えることと地域の将来の事を考えることは行き着く先は同じところ。子どもたちの未来をどう考えるか？子どもたちの教育をどのようにするか？胸を張って世の中に旅出してやるための方策は？につぎるのはではないか？ 自信を持って世の中の荒波を超えていけるような子どもに育てることこそが、親に課せられた、地域に課せられた命題であり、そのような子どもたちが多く輩出してくれば、親にとって、この地域にとってこの上なく幸せなことではないだろうか。そして、子どもたちはそれに答えてくれるように両親に、そして、地域に貢献してくれるにちがいないと思う。思いたい。 このことより、小学校や中学校の統廃合は必然であり、むしろ万難を排して行わなければならない宿命ともいえる。10年や20年の近視眼的な物の見方で現在の転換期を選択するのではなく、もっと遠い将来を見つめた考え方を持ったほうが地域にとって、大切なことではなかろうか？ では、現在の山田小中学校校舎の行方は？ 地域の中心部に位置する。 児童館や保育所、公民館、中核型地区センターの真ん中に位置する。 教室は20近くもある。 災害時の避難場所として指定されている。 平成19年竣工の地域内では一番近代的で新しい施設である。 児童館や保育所、公民館、中核型地区センター機能を入れても余裕のある施設設備を持つ。 図書館や体育館も併設されており、活用の仕方は多岐に広がる。 小中学生はスクールバス等で通学し他の学校で学び、放課後や休日はこの旧山田小中学校に集い、地域の住民とともに社会生活を体験する。他の地域の子どもたちと交流することのできる基幹施設としても活用出来る。そして、子どもたちと大人が集う複合施設として生かして行けばこの上なく貴重な施設となるであろう。地域住民はこの施設で子どもたちを温かく育むことに全精力をかけるべきではなかろうか？	山田
9	11/6	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	寒江小学校の子どもたちは、老田小へ統合後、さらに呉羽小に統合される案のようですが、それなら最初から呉羽小へ統合してしまった方が寒江の方の負担が少ないように思います。 資料を見る限り、今の老田小に池多・古沢・寒江を統合できる教室は足りなさそうですがどうするつもりなのでしょう？呉羽小学校の生徒は昔、全体で1, 000人近くいましたが、その頃と今は同じ校舎のため、教室がかなりたくさん余っています。今すぐに長岡小と寒江小を呉羽に統合するのは無理でも、少し時期をずらせば全く問題ないと思います。 また、山田や細入だけは小規模校をあえて残すのも案ではないでしょうか。市の財政的な面から、人口規模の小さい山田や細入は廃止される施設も多く、地域の最も象徴的な存在といえる小学校をなくすのは乱暴な感じがします。また、災害が起こった時の避難施設機能もあると思います。地元の方々に意見を聞いて、時間をかけて調整する必要があると思います。	呉羽 山田 細入

パブリック・コメント 八尾・山田

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
10	11/10	メール	市内に在住、又は通勤・通学している個人	お忙しいところ失礼いたします。富山市山田在住の■■■■と申します。この度は、山田中学校―八尾中学校の小中学校の再編成についての意見具申のため、メールをさせていただきます。 地形的な問題により、山田―八尾の統合案を破棄し、山田―城山での統合に再検討することを提案いたします。理由として地形的な問題から、山田から八尾に向かうのは難しいのに対し、婦中町方面へ向かうのは容易であるからです。山田―八尾のルートは高低差が激しく所要時間が長いのに対し、山田―城山ではそのような勾配がなく所要時間が短いためです。 山田―八尾ルートについて、山田側の登り部分は平均して2.3％程度の傾斜ですが、5～7％以上の登り勾配が何度も続き、局所的に下りがあるため、5～7％以上の勾配を上りなおすところも点在します。また、八尾側も平坦な道はなく、上りきるまではずっと登りが続くような道です。そのため、自転車通学には向かない道のりであると判断できます。また、上り下りが多い道のため、体力を消耗し自転車を押して歩くことが想定されます。その結果、所要時間は40分を超えることを否定することはできません。 私は、山田―八尾と山田―城山のルート両方を自転車で走行したことがあります。山田―八尾は予想以上に体力を消耗し、自転車を押して歩いた結果、所要時間は往復で2時間程度でした。一方、城山中学校付近までは所要時間30分程度で移動することができ、往復は1時間程度で行うことができました。その経験から、山田―城山は山田―八尾よりも楽に移動できると判断しました。よって、私は山田―八尾の統合案を破棄し、山田―城山での統合に再検討することを提案いたします。 バス輸送に関する点からも提案させていただきます。現在、山田と八尾を結ぶ路線には八尾線の本しかない状態です。八尾線は運行本数1本しかなく、またマイクロバスであるため児童生徒の数がバスの輸送力に比べて多い状態です。その場合、親による児童生徒の輸送を行うこととなります。しかし、山田在住の保護者の職場は大半が婦中町方面にあり、八尾への輸送は保護者への経済的、時間的な負担が大きいという問題があります。その点、山田―城山の間での輸送は、地鉄の路線バスによる輸送が可能だと思われます。路線バスは朝に3本の運行がされており、バスの輸送力は十分にあります。また、保護者による送迎を行う際も、保護者への負担は少なく済みます。加えて、山田校区に近い皆杓、道島地域の児童生徒が音川小、城山中に通学していることから、山田―城山が現実的であることがわかります。 結論 山田―八尾の通学路は、バス、親、自転車による輸送力、通学の容易さが、山田―城山の通学路に対し貧弱であり、山田―八尾統合案は非現実的である。よって、児童生徒の通学の観点から、私は山田―八尾の統合案を破棄し、山田―城山での統合に再検討することを提案いたします。 大変勝手ではございますが、ご再考のほどよろしくお願いいたします。	山田

パブリック・コメント 八尾・山田

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
11	11/14	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	富山市山田地域在住の者です。この度の再編案に対し、私個人の意見を投稿致します。 地域内では、小中一貫校を残す事を希望する意見が多い様ですが、私は小学校は存続、中学校は八尾(若しくは城山中)に統合するのが良いと考えます。中学校の統廃合について賛成なのは、中学生ともなれば、もっと広い人間関係(山田では、部活動すらままならないので)が必要になり、登下校に時間がかかる事も、個人の成長に繋がると思うからです。 しかし、小学生には八尾との統合は現実的でないと考えます。こと、低学年には、負担が大き過ぎると思います。地域の中でも、山深いところに住まう児童は 村内の移動にも自家用車が必須です。そんな集落まで、バスが回りきれぬのでしょうか。低学年は下校時間が早く、学年ごとに時間も異なる、そんな時にも取りこぼしなくバスに乗降することができるのか疑問に思います。八尾では、学童保育も 山田児童館のような利用法では無いと思います。バス時間までの児童の安全を富山市は確保してください。 そして、山田小学校が無くなった時、自動的に山田児童館や図書館も閉鎖に追い込まれたら、夏季等長期休暇中の児童は 行き場を失うのではありませんか？それは、保護者も皆 安心して働けないということに繋がるのではないのでしょうか。 児童によっては 1時間半を超える移動中に、排泄を訴える(また、上手く伝えることができない)場合も容易に予想されます。ワンマンバスで、それらの対応が可能でしょうか。8時前に登校するとしたら、児童は 何時に起床し、朝食、排泄等を済まさないといけないのか。これは、甘やかすな、というレベルを越えています。一日の活動時間が大人並になってしまい、体力や気力の成長を返って損なうのではないかと思います。市内のどの子も等しく大切な子供達です。どうか、山田小学校は 存続してください。これは、地域の崩壊云々などという狭い枠組みのことではなく、心から、子供達の安全と 健やかな成長を願っての意見です。 毎日、小さな子達を間近で見ながら働く者として、富山市教育委員会の方々に、心よりお願い申し上げます。	山田
12	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	山田地域から小中学校を無くす案には絶対に反対です。小中一貫校で、少人数制最大のメリットである、生徒1人1人にゆき届いた教育、子ども達や親の結束力、地域への愛着を育む取り組みなど、現状に全く不満はありません。大規模校になる事で、先に述べた事は希薄になることは避けられないと断言できます。何故なら自分が大規模校で小・中学と過ごしてきた経験からです。同じ学年であってもクラスが違えば知らない子ばかり。先生は全員の事を把握しているとは思えず、気軽に相談できたり、わからない事を質問できる空気ではありませんでした。のびのびと大らかに育てられている山田地域の子ども達がとても羨ましいです。少子化が進む中、わざわざ大規模校にしておざなりな教育をするより、1人1人に目がゆき届き子ども達が「自分は大切にされているんだ」という空気を学校や地域から感じ取れる教育を望みます。そして地域に学校がないという事は、子育て世代の若者は住みつかず、山田地域の消滅につながる事は目に見えています。八尾までの通学は親も子も負担が大きすぎます。雪深い地域なのに冬期の通学をどう考えているか疑問です。私達の地域の大切な学校をどうか残してください。	山田
13	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	私は、小・中学校の再編原案に反対です。 選定の基準からすると、山田小・中学校は対象校ですが、その基準だけを元に、1時間以上バスで移動し学校に通う事になる事には納得がいきません。 学校がなくなる事は、地域の存続に関わる大問題です。子供の事を考えてその土地から離れてしまう人達も増えていく可能性があります。 中山間地に住む人が減れば、富山市中心部のまちづくりにも影響が出る事となると考えます。学校の存在＝地域の存続です。その為に、山田地域全体として義務教育学校として残してほしいと要望書も出しています。 今回の原案は、山田地域の意見とは反するものであり、大変残念に思っています。どうか、小・中学校を残してほしい思いです。ご検討下さいます様をお願い致します。	山田

パブリック・コメント 八尾・山田

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
14	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	今はスクールバスが運行しているおかげで、山田小学校児童・中学校生徒が歩く距離は極端に長くはないと思いますが、毎日スクールバスの運行時刻に合わせた登下校をするのは、保護者にとっても負担に感じると思います。山田地域と八尾地域の学校が統合した場合、スクールバスで最大1時間30分という通学時間になる地区もあることから、児童・生徒・保護者にとって更に負担が大きくなります。 山田地域に限らず、全国的にみても様々な理由から学校が統合されることは少なくありませんが、どこも小学校が地域の核・拠点だということは変わりません。現在、山田小学校は小規模校ならではの地域に根付いた教育がされており、児童（子どもたち）は「地域の宝」として、山田地域の皆に育てられている素晴らしい環境です。 一方で、中学生は多様な考えに触れるとても大事な時期ですが、山田中学校のほぼ全員が小学校からの持ち上がりのクラスです。また、山田中学校は生徒数が少ないため部活動の選択肢が少ない事やクラス対抗などの行事が十分にできない事、多くの生徒と競い合うような環境が十分とは言えない状況です。仮に八尾地域の中学校と統合してスクールバスでの通学になったとしても生徒にとってはメリットは大きいと思います。 小学生の子どもをもつ一保護者の意見としては、山田中学校は難しいとしても山田小学校だけは地域に残していただきたいと切に願います。特に年配の方のほうが、小・中学校を地域に残して欲しいと切に要望されているのは大変ありがたい事ですが、いちばんは今、子育てをしている保護者や将来親になる若者たちがどう考えているか、そして今の子どもたちが大人になった20年、30年先の事まで幅広く、総合的に十分に考えて議論していく事が大事だと思います。それに伴った結論であれば良いかと・・・。	山田
15	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	富山市としては、小規模校を廃止していく考えの様ですが、逆に、小規模校の利点を活かすという考えは無いのでしょうか？全国的に、少子化が進んでいるにも関わらず不登校児童が増えていて、これは富山市においても例外ではないと思います。再編計画を推し進めることは、この先、不登校児童が増える心配は拭えないでしょう。であれば、逆の考え方で、山田の様な小規模校で不登校の児童を受け入れていかがでしょうか？ 小規模校では、先生と生徒の距離が近い為、一人一人の学習状況や生活状況を把握でき、個別指導もしやすい環境です。また、大きな学校と違い、異学年の児童や地域の大人たちとのふれあいの機会もあります。同級生も先輩、後輩も仲が良く、世代間交流もあり、大人数の学校で感じる様な閉塞感は少ないので、大人数の学校に馴染めない児童にも有効ではないかと思います。 通学の問題はありますが、スクールバス等の利用も出来ると思いますし、移住には補助金も支給すれば、空家の有効活用にもなります。自分が山田に住んでいて魅力だと感じることのひとつに、先輩・後輩や世代間での交流が、良い感じで行われていることがあります。 学校が無くなるということは、こうした交流もいずれは無くなり、人口の減少も今より進むでしょう。 富山は山野が多く、自然が豊かな地域で、それが最大の魅力だと思います。山間地に人がなくなると、山も荒れた状態になります。いずれは山を守ってくれる子供達を育てる意味でも、学校を残して欲しいと思います。	山田

パブリック・コメント 八尾・山田

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
16	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	富山市再編・統合に関する資料を読みましたが、そこに住んでいる市民の考えや思いは感じることはできませんでした。ただ、理想の人数で教育を実施したい教育者の考え中心の資料でした。 富山市の政策の失敗を、小中学校統合へしわ寄せしないで下さい。過疎化が進んでしまった原因を、根本原因の解決を希望します。 小中学校がなくなることにより過疎化が促進されてしまうことは明らかです。 小中学校は、小規模人数であるべきだと考えます。高校に行けば、嫌でもコミュニケーションや、他から学ぶことは多くあります。小中学校では、基礎をしっかり身につけ、自分の意見を持てるようになるべきです。それは、統合しなくても可能な教育ではないでしょうか。それぞれの地域の特性を生かした今の学校の方が子供達にとっても大きく学ぶことがあると思います。例えば、学習発表会で3,4年生が発表した、山田めぐりの発表も地域の特徴で、すばらしかったです。 統合されると、それぞれの地域の調べはここまでできないと思いますし、山田から来ているということで、子ども達も萎縮してしまい、活動しにくいと思います。山田から来ていることで馬鹿にされる事も心配です。それは高校でもあります。私もありました。成長して高校になってからで充分です。私の周りにはみんな経験しています。小中学校の時には、そのような心配はさせたくありません。市民（山田）目線で検討をお願いいたします。	山田
17	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	義務教育学校として残してほしいです。今でさえ通学に不自由しています。 ただ、長期的に見て、山田がどうありたいか、どんな地域にしていきたいのか……。思うだけでなく、具体的に何をどうしていくのか。このまま人口が減りつづけるのであればどのみち、なのではないでしょうか。 ただ、こんな議論は、もう何年も、何十年も前にすべきことで、今更慌てても遅いのでは。 それでも、地域のために、古里を守るために学校はその中心にあるものですから、残してほしいです！ オンライン授業の活用など小規模校の特色を出していければ、と思います。	山田
18	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	山田小中一貫校にしてほしいです。今の建物もすでに小中交流が多く持てる建物になっています。そのまま継続していただければ、子どもたちにとって一番良いと思います。 ニュースでも聞きましたが、八尾との統合では、子どもたちの負担が大きいです。また、地域とのふれあいや伝統文化を大切に子どもたちは育っています。八尾だとおわらや曳山があります。八尾の子はおわらを踊ったりおわらにふれたりする機会が多く一大イベントになっています。しかし、山田の子にとっては、おわらって何？あまり身近ではありません。地域の歴史を大切にしているからこそ、山田は山田として残すべきだと思います。山田の歴史をうけつぐためにも小中学校一貫校でお願いします。山田のマンドリンも歴史があります。 子どもたちにとって、そして、地域にとって何が良いのか考えたら残すべきです。 子ども一人一人を大切に育てようと思って下さるなら山田小中学校を残して、そして山田の活性化をはかって下さい。よろしくお願いします。	山田
19	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	子供はバス酔いしやすいのに、今より遠くの通学となるとこまる。 町の人はずぐに下に（町に）降りれば良いと言うが、自分の住まいがあるのに又、そうなるとその費用はどうするのか等問題が多い。	山田

パブリック・コメント 八尾・山田

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
20	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	山田地域には、ぜひ小中学校を残していただきたいと思います。 みなさん懸念されていることかとは思いますが、小中学校が遠くなり、通学が今より不便になってしまうと、家庭によっては子供を小中学校に通わせることが困難となり、場合によっては通学がしやすい地域に引っ越さざるを得ないこととなり山田地域からの人口流出につながるということが考えられます。 人口流出、人口減少が続けば他の行政サービスの提供にも影響が出てくると思います。山田地域から小中学校をなくすというのは、富山市が「山田地域を見捨てます」という宣言のようにも感じられるので、ぜひ富山市には山田地域の小中学校そして山田地域をどうすれば存続させられるのかを一緒に考えていただきたいです。 今回の再編案には小中学校の義務教育学校化による存続が入っていませんでしたので、なぜ却下されたのか、こういった点がクリアされれば存続させることができるのかといった説明を富山市にはお願いしたいです。 また、この問題は山田地域全体の今後に関わることなので、保護者だけでなく老若男女問わず、山田地域 みなさんにご意見をいただければと思います。	山田
21	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	・通学で1時間30分は長く、子供の負担が大きく、親の送迎が必要な必要な場面が増える。 ・バスの本数が何本確保されるのか不安がある。（朝2本、夕方16：00～ 3本は必要） 土日の登校日はどうなるのか？ ・すでに高齢者がかなり増え、限界集落化しているところも多くなっており、コンパクトシティへの取り組みも理解できるため、ゆるやかな人口誘導を目的とするならば、しっかり説明と補助等の政策を示して欲しい。	山田
22	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	・できれば、小中一貫校のままであってほしいです。 ・八尾小学校や八尾中学校と統合すると、今までのような地域とのふれあい学習や体験学習等ができなくなるおそれがあると思います。 ・山田に小学校・中学校がなくなると、不便さから、若い人達は山田を出ていったり、山田に住みたいと思わなくなります。 ・高齢者ばかりの活気のない山田になるのが悲しいです。 ・山田は交通は不便ですが、地元の人達から子ども達も大切にされていると感じます。この、山田の環境だからこそ、素直さや、礼儀正しさ、明るさ等の山田の子ども達の良さが育つと考えています。 ・山田の自然豊かな環境で育ったことは、私自身の宝だなと感じています。子ども時代は、本当に、のびのびと育ててもらったと思っています。 ・大切な山田地域を守るためにも、山田に小・中学校を残して欲しいです。	山田
23	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	山田から学校がなくなることには反対です。 平野部の合併と同じ感覚では無理です。山間部と環境が違いすぎます。特別な環境で生活しているのだから、特別に扱ってもらふべきです。学校の統合は、即、地域がなくなるのです。 なぜ、山間部に人が必要か？山の恵み、水、災害を防ぐ力など、街で暮らしている人には想像できない生活をしている人がたくさんいます。 効率性と経済性を求めて、人を住みづらくして、ただただ荒廃させるだけのようには思います。 中心部からみたら、山間部なんてどうなったっていい、と思われていると、今回のことでよくわかり、残念です。 後で元に戻すことはできません。長い目で考えてほしいと思います。	山田
24	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	ぼくは学校が統合するのは反対です。なぜかという、いまのままの方が楽しいし、友達とバラバラがいやだからです。今の方が友達と仲がいいので、はなれたら二度とあえなくなるからです。みんなもさみしいので小中統合するのはいやです。 しかも山田こそできるのができなくなるのはいやです。しかも登校するときに距りが遠くなるので、登校しづらいです。しかも少ないからこそできることがいっぱいあるからです。だから学校が統合するのは絶対反対します。	山田

パブリック・コメント 八尾・山田

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
25	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	・統合には反対です。 少子化になっていますが、少ない人数だからこそまとまりのある行事や、保・小・中との合同運動会や発表会等も行っています。生徒一人一人に対して先生方が寄りそい勉強や体育などの指導を行って下さいます。富山市の考え方で、八尾・山田統合と言うのも（この先もっと人数が減る為）分りますが、それは今のタイミングではないと思います。学校の校舎もきれいです。では、統合後にこの校舎はどう活用するのですか？富山市立図書館も入館しています。統合してもバス通学の子は時間がかかります。冬場の事も考えると本当に良い事なののでしょうか？山田小・中学校を見学に来てみてはいかがでしょうか？のびのび育つ環境が整っていると思います。私は自分の子供達をこの学校に預ける事が出来て良かったです。 逆に悩んでいる子供達を山田に転入する方法もあると思います。上手く伝える事ができないのですが、こういう保・小・中学校があるべきではないのでしょうか？	山田
26	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	現状のまま子供達が山田に通学できるのが良いと思う。 しかし、10年後、20年後を考えると、学校を存続させるのは難しい気もする。それならば、子供・親共に負担が減るよう、コミュニティバスの大幅増便などしてもらえれば、高校生やお年寄りにも住みやすくなるのではないかな。	山田
27	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	再編原案には反対です。 山田小中学校は、コロナ禍でも万全の感染症対策ができました。分散登校などしなくても密にはなりません。どうして、今、密になるような学校へ、健康な子どもたちをわざわざ登校させなければいけないのでしょうか。書類の数字だけでなく、八尾小、山田小中学校の子どもたちの表情、環境を直に見ていただきたいと考えています。	山田
28	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	現状のままの山田小・中学校を強く希望します。（義務教育学校でも良いです。）小規模校のデメリットにばかり目を向けて再編を推し進めるのではなく、メリットを生かした学校生活を送って欲しいし、子ども自身もそれを望んでいます。 山田地域ならではの小・中合同の行事（運動会や学習発表会、卒業式のお見送り等）が無くなってしまうのは、とても寂しく残念なことです。 また、合併してしまえば山田地域について学ぶ授業は無くなり、子どもたちは地域への愛着を失ってしまうかもしれません。 富山市から見れば山田は小さな小さな地域ですが、現在生活し、子育てしている私たちや子どもたちの声を無視しないで欲しいです。誰のための、何のための再編なのか？地域から学校を無くさないで下さい。お願いします。	山田
29	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	山田出身者の配偶者で、政令指定都市で育った者です。時々窮屈なこともあるけれど、保育所から中学校まで同じクラスメイトで連携して黄金の成長期を過ごすことはたいへんメリットのあることだと再編計画前から考えています。都市部には、お金を親に出してもらって受験することで治安の良い地域で義務教育を受けることができるような暮らしづらい場所が当たり前にあります。地域のお年寄りまで自分たちの子どもに目を向け、良いところはほめ、危ないときには忠告もしてくれる、山田地域は子どもたちの心を豊かにする理想的な地域だと考えます。児童数等を鑑みての再編だと思いますが、分校のようなかたちでも良いので、山田小中学校として残していただくことはできないでしょうか。山田の子どもたちが置き去りにされない、教諭以外の多くの方々にも目を向けてもらえるような今の教育を続けてもらいたいです。	山田

パブリック・コメント 八尾・山田

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
30	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	合併に伴って心配されること ○通学距離が長い（小学生が徒歩で通学できない） ・学校の終了時間が学年によって違う場合スクールバスは対応できるのか ・家族の送り迎えが必須になると学校に通えない生徒が出て来る ○学校が無くなる場合の地域への影響 ・これから子育てをする若い世代の人は自分の子も、親である自分たちも山田地域で住むにはデメリットが多くなるので他の地域に引っ越す可能性が高い ・高齢者が多くなり引っ越す人が増えると山や田畑の管理が出来なくなり荒れ放題になる。野生動物も山の方から人が住む地域へ降りてくるため住民にとって安全に生活することは困難。空き家も増え、怪しい人が住み着く可能性もあり、安心して生活できなくなる。 町の方の学校合併と違い田舎の方のそれは、その地域にとって死活問題であり、将来的には地域の衰退、消滅を意味する。現状の山田小中学校では少人数だからこそ体験できる事（重要な役職、役割、他の学年との交流）も多い。校舎も小中一貫校にうってつけだと思う。	山田
31	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	今回の学校統合案は、建前上は国の指針に則ったものだが、その指針事体が60年の昔に考えられたものであり、60年前とは情勢が変わっているのに国の指針だからと、まるで「正義は我に有り」とでも言わんばかりに盲従する愚かさには呆れてしまう。 建前ではなく、本音としては、単なるコストカットが目的なのはちょっと考えればすぐに分かる。実際前市長の森何某とかは、コンパクトシティ構想がどうのこうので中心部に金を使い、旧町村部に対しては施設閉鎖している。 何故？何の為の市町村合併だったのか？こんなことなら合併するのではなかった。まるでM&Aされたようなものだ。 まだまだ書き連ねたいことはあるが、他の住民の方が同じ思いを持ち、伝えていることと思うのでこの辺りで・・・。	山田
32	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	今まで山田地域の歴史や人とのつながりを大切に学習してきて、大規模校で育った私には、びっくりする事がたくさんあります。 学校行事に関わる地域の方が多く、子供達の成長を見守って下さる事はすばらしい事です。 八尾小・中学校になったら、今に比べれば必ず山田のすばらしさにふれる機会が減ると思います。 大規模校でのいい所もあると思いますが、大規模校ではできない特別なことは山田にたくさんあると思います。 未来の子供達の事を考え、自分達のふるさとに自信をもち、大切に、さらに発展させようという気持ちをもってくれるように、私達親が今、守ってやらなければいけないと思うのです。	山田
33	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	私は、山田から小・中学校が無くなるのは反対です。 うちの子供達は、それぞれ問題をかかえています、山田の小・中学校の先生方が、親身になって支えて下さります。大規模校では、今のように、きめ細かな対応はしていただけないと思います。 病気のせいか、朝気持ちが悪くなる事が多く、とてもバスで1時間半の通学は出来ません。 本当に山田から学校がなくなるようなら、山田から出る事も考えてしまいます。どうか、住み慣れた地域に居続けられるようにしていただきたいです。 どうぞよろしくお願いします。	山田
34	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	・通学に1時間30分もかかると子供の負担が大きい。大人の都合で統合しようとしているが、未来を担う子供のことを思って、山田小学校は残した方がよい。 ・小規模校では学んだ郷土学習は郷土愛につながり、将来の人口流出の歯止めになると思う。 ・山田小中学校の校舎は設備が整っているので、八尾や音川地域から児童・生徒に通ってもらうことも考えてほしい。 ・小中残してほしいが最低でも小学校は子供のために残すべき。	山田

パブリック・コメント 八尾・山田

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
35	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	山田に学校がなくなると困ります。 なぜかという、通学距離が遠くなるのは、本人も保護者も送り迎えなどとても困ります。そして、大きい学校に行くと、友達を作るのも大変です。今まで通りの友達と仲良くしたいです。 小さい小学生が遠い学校に通うのは、かわいそうだと思います。地域の学校に通うのが、子供も保護者も一番安心です。	山田
36	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	私は山田地域から小中学校が無くなることに反対です。 通学時間に往復3時間かかることになる子ども達の負担はとても大きいです。特に、低学年の子ども達は生活のリズムが不安定なこともあり、精神的なストレスにならないか心配です。また、それをサポートする保護者の負担も各家庭毎に違います。 放課後の過ごし方も、児童館や図書館があり、治安も良く安心して通学できる現状に問題はありません。 これからの時代を生きていく子どもたちのためにも山田地域に小中学校を残すべきです。	山田
37	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	「幸せ日本一とやま」の実現を目指して。市長のホームページの冒頭にありました。 山田を市にして良かった事を、ひとまとめにしてひとつも良くないと思っています。幸せとは市長にとって何ですか？山田に来て皆さんの気持ちしっかりと受け取って下さい。 山田は富山市になってから何もいい事がない様に思います。全体的に考えてほしいです。 そんなやり方だと世界から遅れ取りますね。 綺麗事言っただけおいしい思いするのはやめて下さい。 トランプと同じ。 市長に向けて。	山田
38	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	通学が遅くなり時間がいままで以上にかかってしまい、いろんな所で保護者のふたんが増えてしまう。また、合同校舎があるのにもかかわらず統合してしまうと使用しなくなってしまうのではないかなと思われる。地域密着になっていた交流がなくなるのがさみしくなります。	山田
39	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	山田地域から学校を無くしてしまう事に反対します。 山田から学校が無くなってしまうと、人口の流出・高齢化の加速が始まり、いずれは山田地域が消えてしまうのでは？と思うと、恐ろしく感じます。 山田には、山田なりの良い所がたくさんあり、保育所から中学卒業まで同じ仲間と過ごし、絆も深くつながっています。そして、山田ならではの自然いっぱいの中で、のびのびと元気いっぱいに過ごしながら成長し、保・小・中合同運動会やマンドリンなど伝統的な行事や活動が無くなってしまうのは寂しいですし、残していかなければいけないと思います。 学校再編。。。通学するのは子供達であり、大人ではありません。地域で子供達を見守り、地域で育てていく事が大切だと思います。もし、あなたの子供や孫が、大人の事情で、子供に負担をかけてまで、最大1時間30分もかけて通学させたいと思いますか？ やめたり無くしたりする事は簡単ですが、新たに始めたり作ったりする事は難しいですよ？よく考えていただきたいです。	山田

パブリック・コメント 八尾・山田

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
40	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	富山市立小・中学校の再編原案について、八尾地区との小・中学校との統合は通学距離が1時間30分かかるということを考え、現状維持もしくは、音川小学校との統合案を提示する。その理由は下記の通りである。 ・清水地区方面の子供たちにとって八尾小との再編は通学時間がかかりすぎる。再編についての基本方針概要では、通学距離は原則4km以内 中学校は原則6km以内となっており、おおむね1時間以内となっている。また、冬季のことを考えると、それ以上の時間がかかる。子供たちの体の負担を考慮してもらいたい。 - 子供の人数減少を考えるのであれば、音川地区と再編という考えもある。（しかし、音川小の校舎も山田同様とても美しく設備も整っている）八尾小は校舎も山田と比較し古く、設備面も山田小が整っており、子供たちは学習に適していると考え。また、中学校は選択制であるため、子供たち自ら考え、選択することができる。 - したがって、山田小・中学校は現状のままでよいと考える。	山田
41	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	城山中学校が近いが、山田中学校が良くて、わざわざ通う事にしました。 保育所から同じ友達と一緒に仲良く山田ならではの良い所がたくさんある、すばらしい学校だと思います。山田地域には、必要な大事な学校だと思うので、みんなのためにも、なんとか、存続させていただきたいです。	山田
42	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	子供にとって1時間半もかかる通学は大変な苦勞に感じると考えられます。登校時点で疲労してしまい学習への意欲が心配です。また、帰宅する時間にも制約が出来てしまい、多感な時期にたくさんの子供と触れる時間も短くなり、子供たちのコミュニケーションにも差が生まれてしまうのではないのでしょうか。また、地域に学校があるという魅力も失われてしまい、地域外への人口流出、子育て世代の地域への移住の可能性も格段に減ってしまうのではないかと考えられます。そのため山田地域に小中学校を存続させたいと希望します。	山田
43	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	少子化過疎化を再編の理由に挙げていますが、学校がなくなれば今以上に子育て世代が住まなくなり過疎が進んでいくのが目に見えます。 ・通学に1時間半は、負担が大きいです。バス酔い等がある為、毎回酔い止めor親の送迎を考えるとキツイです。子供の体が弱いから、山田内に居てくれる方が良い。遠くなるという事は状態が悪化するという事も考えられる。新しい環境に、体がどこまでついていけるか、不安もあります。 ・音川小学校は、少人数でも、何でとりあげられないのでしょうか？音川小学校の子達が山田小学校へ来る方が近いのではないのでしょうか？	山田
44	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	山田地域から小中学校が無くなると共働きの親の負担、孫の世話をしている祖父母達の負担にもなるし、子供達も通学で早く起きないといけないから負担にもなる。 他校へ移る事によって子供の心の問題も出てくるし保育所からずっと一緒に歩んできてる仲間とはなれてほしくない。	山田
45	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	・山田の特徴として、地域に密着しており、小規模校だからこそ、人と人とのつながりが良さとして出ていると思う。 ・山田小中学校がなくなってしまうと、通学距離が遠くなり不便となる。また、子どもだけでなく、保護者も不安が大きくなる。 ・子どもたちのことを考え、心豊かな子を育てるためにも山田地区に学校存続を強く希望する。	山田
46	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	統合は反対です。 児童の数が少ないからといって簡単に統合する富山市の考えが理解できません。通学距離がさすがに遠すぎます。遠距離通学によって、子どもたちにストレスがかからないのですか？山田の子どもたちに不利益なことばかりな気がしてなりません。冬期間、近年豪雪も増えてきており、朝の通学は大丈夫なのですか？ 適正規模のことばかり言われていますが、小中学校の適正配置ではないはずです。小規模校ならではの良さや、小中一貫校の特徴を活かし、親の選択肢の1つとして残して下さい。	山田

パブリック・コメント 八尾・山田

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
47	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	学校再編計画（山田地域から小中学校が無くなる案）については、反対です。 もし再編され、八尾の小中学校に統合された場合、子供にかかる負担が多いと考えるからです。 1 通学時間が長くなることが負担となる。 2 人間関係や校舎が変わるなど、不慣れな環境へ一変すること。 3 移ることになる山田側の生徒は「転校生（部外者）」のような状態となること。 小規模校では人間関係が固定化されやすい、主体性が育たない等の意見も聞きますが、それは違うと思います。小規模校では同時期に学校に通っている子供たちは学年を超えて交流があります。逆に、規模の大きな学校では「顔も名前もわからない人の方が多い」と聞きます。また、大きな学校では、誰かがやってくれるため、学校行事、活動など無関心のままでいても、そのまま何もせずに過ごせます。小規模校には一人一人に役割が与えられ、主体性が育つと考えます。そして、先生の目が子供たち全員に届きやすいというメリットもあります。よって再編案には反対です。	山田
48	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	山田地区の学校存続を強く希望する。 山田は同居世帯や敷地内同居世帯が多く、家族・地域住民が手を取り合って子育てに参加している。子どもたちは恵まれた自然環境の中、地域全体に見守られながらのびのびと育っている。現在山田に住居を構える子育て世代の多くは、そのような環境の中、この土地や人を大切に思う気持ちを養いながら子供たちに学校生活を送ってほしいと願っているはずだ。 わたしはこの1年、出前講座やフォーラムにも参加し、市や教育委員会の意見を聞いてきた。どれも小規模校に通わせることのデメリットにばかり焦点をあてる内容であったことが残念でならない。 人数が少ないこと、複式学級となることは必ずしもデメリットとはいえない。1クラスの人数が少なければ、子どもが授業に参加する機会は高まり、多人数クラスの子どもよりも社会性を身につけられる。複式学級には教え合いと学び合いが自然と起こる。また、教師の目が行き届くため個々人に合った良質な教育を受けられる。このような小規模校のメリットは世界的に認識された事実である。 山田に通う学生が小規模校が嫌だから大規模校に移りたいと言っただろうか。東京オリンピックで銅メダルに輝いた中山さんは、先日小中学校で開かれた交流会で「やっぱり山田はいい」「山田の人でも活躍できるよと伝えたい」と語った。これこそが全てではないだろうか。 学校がなくなれば今以上に子育て世代が住まなくなり、過疎が進むことは目に見えている。ますます地域は疲弊し、子どもの数は減り、悪循環だ。今回の学校再編案は、そのような地域は見捨てるというメッセージのようにも聞こえる。 少なくとも、通学に1時間半かけて現在よりも古い校舎に統合する案、一時的にとはいえ適正人数を超える大規模校となることが分かっているながら統合を推し進める案、このような案が”子どもたちのことを第一に考えた案”だとは到底考えられない。 山田地区の学校再編案を柔軟に修正いただくよう、ここに意見する。	山田
49	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	現在 山田地域にて住まいを構え、子育てをしている家庭は敢えて生活面では不便でしかないこの地を選択していると思います。決して効率や教育における競争の有無、選択肢の多さで選んでいる訳ではありません。私は生まれ育ったこの地で自分の子にも学び、地域の皆さんと触れ合い、大先輩方から大切な歴史を受け継いで欲しいと思っています。将来、その上で自身の生きる地を選択できる人間になってほしいと考えています。 富山市が進める小中学校の再編は、教育の効率化でしかなく、多様性を伸ばすものではありません。大人達の教育行政の失敗を子ども達に転嫁しているだけではないでしょうか。（”時代の流れ、で片付けるべきではありません”） 山田地域からはオリンピックが2名も出ています。内一名はメダリストです。これは、山田小・中学校の教育の賜物であると思います。この火を消してしまうのはあまりに勿体無いと思います。学校としての存続が難しいのであれば、何とか分校（サテライト）として残し、授業内容によって活用して頂きたいです。子供達がいなくなった地域は死にます。それは地域が一番避けたいことであり、この地を選んだ若い家庭が”裏切られた、”と感じる点でもあると思います。	山田

パブリック・コメント 八尾・山田

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
50	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	年々過疎化が進み、児童数は少なくなる一方なのは目に見えている現状です。再編案に山田地区が含まれるのは、当たり前だと思います。しかし、山田地域から学校をなくすとなると、地域活性化が継続されず、途絶えてしまいます。 学校行事の中には、地域の方とのふれあいも含まれており、地域の方に温かく見守られながら学校生活を送っています。子ども達も、地域の方々とふれあいながら過ごすことに楽しさを感じています。地域の方々も、子どもたちの明るく元気に登下校する姿を励みにしておられます。 ”学校がなくなる”とは、子どもたちと地域の方々の関わりを遮断することと同等の意味を持ちます。そのようなことが起きてもいいのでしょうか。 万が一、学校再編で山田地区から学校がなくなった場合、登下校の交通手段や学童クラブの手続きなど、どのように配慮して下さるのでしょうか。 具体的なメリットを提示することなく再編を進めること自体、好ましいことではありません。	山田
51	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	まず、再編計画の原案で山田から学校がなくなるかもしれないと知った時、とてもショックを受けました。小規模校と大規模・適正規模校の両方のメリット・デメリットを理解した上で一番心配に思うことは我が家からの通学時間です。山田でも一番八尾から離れた今山田からはスクールバスで1時間半かかるということ。これから小学校に入学する■人の■■は毎日、9年間通学しなければならないという負担が楽しいはずの学校生活をそうでなくする可能性があると思います。徒歩で通学する児童たちと差もでてくるかもしれないと思いますが、そのフォローはしてもらえるのでしょうか。家が遠いからという理由であらゆる活動に制限がないのでしょうか。多様な意見にふれる機会は、学校でなくとも地域の方や大人とのかかわりでもできると考えますし、小規模校同士のオンラインなどでの交流もしていただければと思います。もし、原案通りに再編が進められた場合、私たちは八尾ではなく最寄りの砺波市内への進学を検討せざるをえません。他にも同様に考える家庭があれば、せっかく■■■から山田に移住してきたにもかかわらず、山田地域の魅力が半減し、築いてきた関係もまたバラバラになってしまうようで残念に思います。とにかく子供たちにとって何が一番ベストなのかをよく考慮して進めていただきたく思います。私は山田の学校を残すことを希望します。	山田
52	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	地域住民として存続を希望していたが、山田地域から小中学校が無くなるという案となっており、非常に残念です。 また、在学中の子、これから入学の子をもつ親としても、地域から小中学校が無くなることは許容できません。学校が地域から無くなってしまった場合、子育て世帯には厳しい地域となり、親、子どもの負担が増大することは明確です。特に通学に関して、スクールバスでの通学になると考えますが、毎日1時間以上かかるスクールバスでの通学を1年生からさせることになり、低学年の児童への負担が心配です。また、事故（特に冬季間）に対しても非常に不安があります。 小規模校の課題として”多様な考えや意見に触れる機会が少ない”、”中学校では、専門教科の教育が確保できない”という点が挙げられていますが、現在はオンラインでどこでも誰とでも繋がれる時代です。Chrome Bookも全児童に貸出済みであり、リモート授業などを活用することで小規模校の課題をクリアすることが可能だと考えます。	山田

パブリック・コメント 八尾・山田

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
53	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	この度の富山市学校再編案において、山田地域をはじめ細入、大山の特色ある小規模校が他地域の学校に統合される案が示されたことを非常に残念に思います。 富山市教育委員会学校再編推進課では、再編について「教育の質を保つため」「多様な考えに触れ切磋琢磨しながら向上心を育むためには、一定規模の集団が必要」と説明されているとのことですが、私はそうは思いません。そのことは、現在、社会人となって様々な分野で活躍している「山田っ子達」を見てもらえればわかります。また、現在はオンラインで世界中の人達とつながることのできる時代です。そのことは今回のコロナ禍において実証されています。学校教育の場において環境が整いつつあるのではないのでしょうか。よって、人数の問題を理由とした再編にもどうしても納得できません。 富山市は、海拔0メートルから3000メートルの海から山岳地帯までの多様な環境が特徴の市です。まちなかの賑やかな地域もあれば、のどかで静かな山間の地域もあります。その特徴を活かしたまちづくりをしてほしいです。ですから学校も、大人数の所もあれば少人数の所もあっても当然だし、それぞれの地域ごとの特徴を持ったバリエーションに富んだ様々な学校があっていいのではないかと思います。オンラインを活用すれば、一つの授業を複数の学校で共有することも可能だし、必要に応じて合同での行事をすれば学校間の交流も盛んになると思います。学校再編によって人口の多い所にさらに人を集中させる必要はないと思います。 学校の再編によって多くの人が懸念していることとして、人口の流出、特に若者や子育て世代が住まなくなり、高齢化に拍車がかかるということがあります。そのことによって中山間地の農業の衰退による耕作放棄地の増加、里山の保全ができなくなります。里山は野生動物の生息地であるばかりでなく、大気浄化や都市部の微気候の緩和、土砂流出や崩壊防止、水源涵養や水質浄化などの機能を持っています。つまり、里山が荒れることにより、そこに住む人だけでなく、平野部、まちなかに住んでいる人達にも多大な影響が及ぶということです。富山市全体の大きな問題となるのは目に見えています。 こんなことを考えると、富山市が誰もが安心して住める魅力ある市になるためには、もはや中山間地域から学校をなくすという選択肢はないと私は強く思います。残すことを前提に建設的な議論をしていくべきだと考えます。 山田地域にはすでに小中一貫的連携教育が実践されているし、校舎も新しく環境的にも整っています。子育てしやすい、学校が小規模だから手厚くみてもらえる、地域全体で見守ってくれている安心感がある、そんな理由で山田に住むことを選ぶ人が自分の周りに少なからずいます。「子どもがほとんどいなくなった時点で再編を議論しては手遅れになる」と新聞には書いてありましたが、私達は「いなくなる」ことを前提には考えられません。この環境を最大限に活かせる方法を学校関係者や山田地域の住民、子供達、周囲の人達みんなで考え実践して、魅力ある学校、地域であり続けることを願っています。それが富山市全体の活性化につながると 생각합니다。中山間地を切り捨てては富山市は成り立ちません。 今回、富山市学校再編案が出されたことで、改めて自分の住んでいる地域のことを考えるきっかけになりました。富山市全体の「我が事」として、多方面からのご検討をして頂くことを切に願います。	山田

パブリック・コメント 八尾・山田

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
54	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	この度の学校再編案で山田地域から小中学校が無くなり、八尾地域に統合される案が示されたことを大変残念に思います。すでに小中一貫的連携教育が実施されている富山市でも数少ない特色ある学校として、今後は義務教育学校への移行も視野に存続させることを希望します。 小中学校が八尾地域に統合された場合、山田地域の児童・生徒は全員スクールバス登校になるでしょう。子ども達はもちろん保護者の負担が相当増え、子育て世代の人口流出は避けられず、山田地域の過疎化・高齢化が進むことは明白です。近年はライフスタイルや働き方が多様化する中で、若い世代を中心に都市部から地方への移住が注目されおり、山田地域でも地域おこし協力隊等を利用した子育て世代も含んだ移住が増えてきています。学校が無くなることは、こうした中山間地域活性化のための移住支援策があっても定着に結び付かず、山田地域の地域づくりに打撃を与えることも間違いありません。 今回の再編案を巡って、富山市教育委員会はあくまで住民や保護者と議論するためのたたき台と強調しています。また、教育委員会が策定する「富山市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針」では、学校規模の適正化を進める上で考慮すべきこととして、義務教育学校など多様な教育方法を検討することが明記されています。小規模校でも特色ある学校として存族する方法がないか議論していくことが重要だと思います。 平成31年2月には総務文教委員会が義務教育学校の導入の可能性を探るため、小中一貫的連携教育を行っている山田、芝園小中学校を視察されました。その報告書を見ると、山田小中学校は一貫的な連携教育には取り組んでいるが、目に見える学力の向上や入学希望者増等のメリットが生まれていないと指摘されています。一方の芝園小中学校は、ICT教育のモデル校としてプログラミング教育や外国語活動に力を入れており、校区外から入学を希望する児童生徒が多く「選ばれる学校」となっています。「わざわざ通いたくなる中山間の学校」を目指すことが山田地域の学校存続のため重要なことではないかと考えます。 千葉県の市川市立塩浜学園では、義務教育学校の教育過程の特例を活用して、「塩浜ふるさと防災科」を設定し、「ふるさと」と「防災」に関する内容を9年間を通して学ぶ教育に取り組んでいます。山田地域は地域全体で学校を支え、子ども達を育てることを大切に、地域住民との交流行事や地域の歴史や特産品に理解を深める課外活動に力を入れてきたと思います。（山田めぐり、りんご収穫、そば栽培製粉～そば打ち等を行った記憶があります。）まあ、かつては「電脳村」と注目を浴びた山田地域です。様々な分野でDXが推進されるようになっている時代、デジタルテクノロジーに触れる機会が多く、地域に密着した教育過程があったとしたら魅力を感じないでしょうか。例えば、SNS等を利用して山田地域をどのようにPRするかを地域住民と一緒に考える活動（同時に情報リテラシーを学ぶ機会、地域にとっても子どもたちの柔軟な発想からヒントを得る機会）や高齢化した農業についてICTを活用したスマート農業について考える活動、eスポーツを通して地域の高齢者と交流する活動、県立大学や企業の協力も得て子どもたちが成果物を制作する活動など。 小規模校は多様な考えに触れる機会が少ない、人間関係が固定化する、専門教科の教員が確保できないなどの課題が指摘されていますが、今はオンラインで繋がることのできる時代です。ICTによる遠隔教育を活用すればその課題は解決するのではないのでしょうか。私が通っていた頃の十数年前でも、県内外の他校の児童とテレビ電話を通して意見交換したり、イギリスの学生（どの学年か忘れましたが）とメールで英語の文章をやりとりしたりする活動があったことを覚えています。 ここまで、私が思いつくままに書きましたが、この学校再編の議論をきっかけに様々な方の意見を集め、魅力ある学校の姿を議論し、地域の活性化にも結びついて行くことを期待しています。 以下、私と同時に卒業した同級生たちの声を紹介します。 ・山田小中学校で勤めることが教員人生のゴールです。（3名） ・少人数だったからこそ主体性が養われたと感じる。社会人になって大きな組織の中で行動するようになった今も、周りに流されず、自分自身で意思決定して行動できていると思う。 ・自立してリーダーシップを持って行動できる力が身についた。大きい学校だったら、ピラミッドの上部の人しか身につかない能力だと思う。少人数だからこそ、それぞれが個性を生かして各々の得意な分野で引っ張る力がついた。人間性を育ててくれた環境に感謝！	山田

パブリック・コメント 八尾・山田

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
55	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	山田から学校がなくなれば、若い人があえてこの地に住む意味がなくなり、保育所も行政も企業までもが消滅していき、ますます過疎化、高齢化が進むのは必至です。このような再編案が出るだけでも子供達や若い人々の不安を招き、住民流出が加速するのでやめてもらいたいです。消防団他、地域の各コミュニティ団体も存続できなくなり、住民の安全なくらしが守られなくなります。山田から議員が選出されていないから見捨てられているようにしか見えません。山田から人がいなくなれば農業も衰退し、中山間地も守られません。 小さい子供に通学1時間半かけろというのは無理な話ですし、受験生となる中学生にとっても通学の時間がかかるのはとてもかわいそうです。市の目指す適正規模校とは一体何に対して「適正」なのか疑問です。大人の目線で効率のみを重視し、大人の都合で子供に多大な負担をかけるのはいい教育とは言えません。学校と地域が一体となった現在のこの教育が子供の豊かな心を育み、そのコミュニティによって地域が活性化するのです。 せっかく小中一貫のきれいな校舎や施設が整っているのですから、小中一貫校として（または分校としてでも）残してもらうことを強くお願いします。	山田
56	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	先ずは山田地域から学校を無くす事は反対です。学校の統合在りきを前提として話しが進められている様に思えます。効率を優先したやり方としか見えません。学校が無くなる事は地域の衰退に拍車をかける事は言うに及ばず、地域の核を失い、地域の存続にかかわる大きな問題である事を行政は認識しているか疑問である。 それでも最悪どうしても統合するとなれば、中山間地がかかえる多くの問題に一つ一つ住民の納得のいく対策を具体的に示し協力に実行してもらわなければならない。 統合の話しは何で八尾なのか？	山田
57	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	学童の通学時間が長時間となる事は疲労度が大きくなり、学習に集中することが出来なくなると思います。 冬期の雪積時には道路条件が悪いので通学に要する時間が2時間以上になる可能性もあると考えられます。 父兄の学校行事への参加も遠方の地となればやめる事が多くなると思います。	山田
58	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	山田地域から小中学校が無くなるのは、どうしてもいけません。（ダメです。）（山田地域から家がなくなります。）→ではどうしたらいいか どうせ八尾地域も少なくなってしまうます。なら ①山田にまだ小中学校が存続しています。 ②マンモス校と呼ばれる速星などの学校の分校にしたらいいと思います。（将来のためにも）マンモス校なら先生も豊富にいらっしゃると思います。（先生の移動も近いです。） 一以上一 何かあれば、■■■■ー■■■■■ー■■■■■まで連絡下さい。 山田から八尾は、西部地区が遠すぎます。なら、速星地区になれば、東部も南部も西部も等距離にあるのではないのでしょうか？	山田

パブリック・コメント 八尾・山田

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
59	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	合併して16年でこのようなことになるとは思いませんでした。当時は、山田村の■■■■をしていて新しい学校ができれば少なくとも30年は安心と思っていた。これほど早い段階で統合問題が出てくるとは、何のために合併したかわからない。山田地域の住民にも少しは責任があるかもしれないが、中心市街地の振興ばかりを行い、中山間地域を見向きもしなかった森市政の大きな失政と思う。学校の統合は教育行政にとどまらず地域の大きな核を失うことになる。行政の怠慢が招いた現実を地域に押し付け行政効率だけを追い求められると中山間地域は存在できない、条件不利地を切り捨てるのは誰でもできる、そこをどうやって守っていくかが合併した富山市の大きな責任だと思う。新市長にはこのことを踏まえ統合問題は白紙にさせていただきたい。小中一貫校以外は受け入れられない。先々月発表された『富山市過疎地域持続的発展計画』にも再編、統合の文言は書かれていない、まずはどうあれば残せるか、どうすれば残せるのか地域振興とともに総合的に考えていただきたい。私は、中山間地振興と未来の富山市の為に、児童、生徒が一人になっても残すべきと思う。	山田
60	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	中山間地域の小中学校ですが、オリンピック銅メダル、世界選手権3位と輝かしい成績を残した中山風奈さんを生みました。そして地域に熱い元気を、若い世代に勇気と希望を与えてくれました。後に続く若い世代の為に学校を無くしたくありません。また、山田小中に赴任して来られる教員は校長先生を筆頭に毎年よい先生がおられ、児童、生徒の指導も熱く、地域の歴史や産業他に取り組み、住民の信頼も厚く、小中の連携はもちろん、地域住民との連携も深く、こんな素晴らしい学校を無くしたくありません。 私の住んでいる西部地区は再編統合で一番遠くなりコミュニティバスで1時間半かかる地区です。子供も負担、親の負担、家族の負担を心配しています。往復3時間も児童生徒はほんとうに通学出来るか大変心配しています。若い世代の流出も心配です。 今、地区では自治振興会の協力のもと県の中山間事業「話し合い」促進事業を行っています。他の市町村と違うところは子育て最中、将来地域を担う若い世代を中心メンバーとして行っている事です。 ①他から来訪者を呼ぶにはとか、 ②賑わいを作るにはとか、 ③地域の人も来訪者も楽しむにはとか アイデアが山積みに出ます。しかし、学校が無くなって若い人が、いなくなったら折角のアイデアも事業計画も台無しです。地域の活性化も夢、まぼろしとなってしまいます。 活性化には学校は地域の中心として必要です。なによりも子供の為に必要です。是非学校を残していただきたい。	山田
61	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	初めから再編ありきで、教育委員会が市の上層部から、協議させられてきた事項と推察される。特に財政的な見地からの要素が強いと思われるが、少人数、小規模校では、教育ができないというのだろうか。無駄が多いということだろうか。もしそうだとすれば、山間僻地の者は、大変お荷物であり、市街地に引っ越せよという発想に他ならない。 地域から、学校を無くすと言うことは、大きな問題である。教育委員会は、環境つくることを、真剣に模索し検討すべきである。すべてを一律、公平に、そして効率よくすることは、大事であるが、合併して広域となった今、各地域の実情に合わせた施策を、特に過疎対策を、優先して進めるべきである。山田に住みたい、来たいという人は、多くいると承知している。各地域への人口の分散が少しでもなされれば、おのずと学校問題も解消される。	山田
62	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	山田地域に学校がなくなることは、地域住民にとってデメリットが多い。 ①通学距離が遠くなり時間がかかる。保護者の負担が大きくなる。特に冬期間の通学が問題である。 ②人口流出がさらに進み、より過疎化する。各々の集落の存続の危機、地域が崩壊する（田畑の農業が衰退し農地・山林の管理困難となる。自然環境にも影響を及ぼすことになると思う） ・子供を育成する教育の場が無くなる事は、人が来ない。定住しなくなる 地域が存続できなくなる ・山田の小中学校に行き学びたいと他地域の子供から思ってもらえる学校づくりをさらにすすめ 学校を存続させたいと切に望む。	山田

パブリック・コメント 八尾・山田

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
63	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	学校が統合することにより、子供達の負担、親の負担は大きいでしょう。学校が無くなる事で若い世代の流出が進み、地域の過疎化が進みます。そのためにも、学校は必要です。 山で不便な所ですが、子育てにはとても良い環境だと思います。	山田
64	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	(わーい・わーい) 学校の窓から聞こえる子供の声、その声がその地域にどれだけの豊かさを与えているだろうか。自分が実際体験したことです。地域は学校を中心に部落の隔たりなく活発な交流がありました。いや今もそうでしょう。 学校が無くなった途端、隣の部落とのつながりが疎遠になりつつあります。私の部落には獅子舞があります。その子供の獅子打がいなく困窮したこともありましたが、今は子供の数も少しずつ増えてにぎやかに走り回る姿をよく見かけるようになりました。そんな昨今 学校再編の話がもちあがっています。 小・中が同じ校舎にて学ぶ良さ、校舎もまだ新しくなんで今?八尾まで1時間半もかけて通学、冬期間は大変だろう。子育て世代や若者がまた 村を跡にする事態にならないか 高齢者だけの村になれば、又山河まで荒れる。山間地の荒廃は街の生活にも無縁ではないのです。 経費削減の行政はいいことです。しかし人の営み対して削減だけではいけないこともあるでしょう。再考を願うばかりです	山田
65	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	山田小中学校は統合しない方がよい。通学が大変になるから。山田で雇われた職員も失職し、就職活動が困難。学校がなくなると、山田地域に若者が減り、過疎化してしまう。	山田
66	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	山田地域から 小中学校が廃校になるのは 絶対考えられません 様々な事情があるのは分かりますが 義務教育期間ですから 通学に少しでも支障がないのが良いと思います。	山田
67	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	現在の山田小・中学校は、校舎も新らしく、同じ校舎で、子供達が学び大変環境もよく、今のままで 学校を残してほしいと思います。 再編案については、地元には何のメリットもありません。通学時間は長くなり、特に冬場は大変になると思います。	山田
68	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	通学距離が遠くなり子供や保護者の大きな負担で反対をします。 又、若い人達が負担の為に山田外に流出し過疎化が進む。	山田
69	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	絶対統合反対です 医療機関が次は教育機関 その次は何にしますか 山田住民をバカにしないで下さい。	山田
70	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	既に山田地区は医療機関が無くなっているのに、教育機関まで無くなると、住むメリットが有りませんので	山田
71	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	・山田小、中学校の統合反対 ・統合ともなれば長距離通学となり早朝より家を出、冬場ともなれば生徒の負担も大きい。 ・学校が無くなる事で若者の流出が進み、より地域が過疎かし発展しない	山田
72	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	山田小、中学校は山田地域に残さないと各集落がますます衰退してします。 過疎化防止の為にも絶対残すべきです。自然豊かな環境で伸び伸びと成長させる必要が有る。	山田

パブリック・コメント 八尾・山田

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
73	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	人口減の山田地域から小、中学校生の活動する姿を見る事がなくなると、地域の活性化が衰え、ますます、過疎化が進むと思います。 人口減の中でも オリンピック選手が活躍しています。少人数の学校でも いろいろ活躍できると思っています。統合だけが道ではないと思います。 絶対、反対です。	山田
74	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	山田小・中学校の廃校、統合には反対です。 児童生徒は少なくなっていますが、大規模校には出来ない、きめ細かい教育、心の教育が可能になると思います。小規模校は存続させつつ、近隣の学校との定期交流等の方法も考えては、どうなのでしょう。 幼ない時期の通学時間（長時間の）は、大変な負担になります。山田地域の活気、過疎化にも更に懸念されます。学校は残して下さい。 合併で山は切り捨てられていくのですか？ 釈然としない気持ちでいっぱいです。	山田
75	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小学校・中学校の統合には反対です。 コミュニティバスを利用しても最長1時間30分もかかる通学時間は、子供達にとってかなり負担になると感じます。それになによりも地域に学校がなくなること、子育て世代がますます山田地区を敬遠し、人口の流出に繋がるのではないかと懸念されます。検討されている「空き家利用などで人を呼び込んでの過疎化対策」などにも、かなりのマイマスになってしまうでしょう。また小中一貫校としての校舎は建築よりまだ十数年しか経っておらず、それも勿体なく感じますし、小規模校ならではの地域とのコミュニケーションがなくなってしまうのも寂しいです。	山田
76	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	八尾地域と山田のすべての小学校が統合し、八尾地域統合中学校併設小学校。大規模校になります。通学距離が遠くなり、山田地域の児童は全て遠距離通学となり、コミュニティバスで1時間30分もかかる児童が何人もいるようになります。保護者負担が大きくなります。冬期間の通学が問題となります。ので ぜったい はんたいです。	山田
77	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小学校も中学校も統合すれば良いと思う。通学にもバスを利用すれば、1時間30分もかかるはずも無く、30分程度と思われます。学校がなくなる事に対して問題とは思いません。子供のうちから外に出る事でよりコミュニケーション能力も培われると思います。 また、現在の中学校の部活動においても上手く機能しているようには思いません。チームとして成立していない。活動内容も適当に行われている。競い合う事で向上心も養われるのではないのでしょうか。 若い世代、これからの子育て世代の方達の意見を一番に考えてあげたほうが良いと思います。	山田
78	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	学校がなくなると地域間コミュニケーションが無くなるし、保護者の負担も大きくなります。 富山市に2校しかない小中一貫校存続してほしいです。	山田
79	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	山田小中学校を存続してほしいので再編は反対です	山田
80	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	山田に学校が無くなると、ますます過疎化が進むと思います。 何かいい案がでる事を望みます。	山田

パブリック・コメント 八尾・山田

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
81	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	統合による問題点 1、まず学校がなくなるとゆう事は、山田から出ていきなさいとゆう事。 1、保護者の負担が大きくなり児童たちにはストレスがたまりいじめにはってんしかねない 1、学校がなくなると、山田の人工は半分以上になりかねない。 学校は残すべきである。	山田
82	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	通学距離が遠く交通安全が心配、 学校が、まだ新しいので残してほしい。	山田
83	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	今回「富山市立小中学校再編計画（案）」に反対します。 この再編計画については、児童・生徒の負担増、保護者の負担増、過疎化に拍車をかけることは元より、山田地域の将来に対しての展望が全く考慮されていません。学校再編による地域への影響力は、計り知れないものがあります。山田地域の現状が把握できているはずの行政が、地域住民により良い改善対策を提示すべきところを、一番安易な方策へ進もうとしています。 過疎化が進む山田地域の中で、学校が無くなればどうなるか、過疎化を解消するためにはどうすればよいか、等々地域住民と共に切磋琢磨してもらえるのが行政ではないでしょうか。	山田
84	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	山田から学校が無くなるなんて考えられません 統合先が遠すぎて生徒たちにすごく負担がかかると思います。もちろん本人だけでなく親、家族にも大きな負担になるでしょう 絶対反対です。	山田
85	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	現在の山田地域は過疎化のため、活気のない状況になってきています。この状況で学校までもが、なくなってしまう事は子供の声も聞けず、さみしく地域の消滅を迎えるだけだと思います。 この地域をなくさない為にも、ぜひ学校は残して下さい。お願い申し上げます。	山田
86	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小中学校の再編計画は、反対です。 山田地区から学校がなくなることは、過疎化が一層深刻になり、明るさもなくなるのではと考える。地域での活動も少なくなり、活気がなくなってしまう。 やまだからがっこうがなくなるのはいやです。	山田
87	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	山田地域から小・中学校が無くなることに反対します。 通学距離が長くなることによって保護者の負担が大きくなることはもちろん、児童生徒の学習時間が短くなります。これからたくさんのことを学ぶ児童生徒のみなさんにはここ山田でもっとのびのびと過ごしてほしいです。	山田
88	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	山田に学校が無くなれば山田はもう終わりだと思います。衰退する一方でしょう。絶対、反対です。山田から学校を無くさないでください！！	山田
89	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小中学校再編計画についての意見ですが、これからの山田は、人口の流出、過疎化になる。地域の崩壊、私どもも考えなければならない時期にきていると思います。 それに追い打ちをかけるように小中学校の統合と言う問題ですか？山田をどうしようと思っているんでしょうか？統合、その背景にある問題点わかっていただけますか？ 1. 通学距離が遠くなり、コミュニティバス1時間30分かかる。冬の期間の通学の問題。 2. 子ども達の心の負担。 3. 保護者の負担以上のような問題 もう一度、二度、三度、再編計画（統合）を検討してくださるようお願い申し上げます。	山田

パブリック・コメント 八尾・山田

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
90	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	通学に関しての考え方としては時間の問題がとの事ですが、たしかにその通りだとは思いますが、いずれは、統合はされるのではないのでしょうか。今回の統合は無くなったとして、何年かの後に改めて統合の話が出た際には、今回以上にさけられない問題となるのではないかと思います。そうなった際に山田の児童の通学に関するかんきょうをより良い条件へ、今以上に少なくなった際に、子供達の事も考えるべきではないかと思います。 山田の小中学校が残る事ができれば、うれしい事ですが、児童の学校生活を、数年後を考えてしまうと、残す事が正しい事とは思ってしまう所です。	山田
91	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	山田小学校と八尾小学校、山田中学校と八尾中学校との再編統合はかたちがわるい、うつくしくない。 山田小中学校を義務教育学校として再編統合は、形が良い、美しい。 生徒、児童の人数合わせの再編統合では、大事なものが見落とされているように思う。	山田
92	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	山田に学校は全体に必要です。 大きい学校からの不登校生の受皿になったこともあります。このような自然と地元に着した学校が必要です。地域に子供の声が聞こえなくなると益々、さびしい地域にはくしゃがかかるとは思います。	山田
93	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	存続してほしい 学校前を通っても子供の声・姿も見れない事は、我々年寄にとっては山田がとても淋しいものと思われます 親子さん達も今までよ 負担も大きくなります 朝10分-20分は親たちの大きな負担になります 今まで通り 存続して下さい	山田
94	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	・山田地区における、学校の存在を考えて欲しい。児童や生徒がいなくても通学する姿を見て、この地域の活力をもらっている。この地区に学校がなくなれば地区全体が老人ホームの様に活力がなくなる。この様な形であれ、学校を残すべき ・当局は単に数や費用で、画一的に物事を考えるべきではない。その地区の実状を見て決めて頂きたい。 実察にこの地区に住む立場になって見て欲しい。	山田
95	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	現状の小中一貫校の存続を切に希望します。 立派な校舎を廃校にするのは資源の無駄使いとなり 何より子供達の通学にかかる時間の負担が大きくなるため 小中学校の再編に反対致します。	山田
96	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	統合には反対です。 今の小中一貫校にとっても満足しています。教員の目も1人1人にしっかり行き届き、小規模校の良さを実感しています。逆に大規模校は児童数が多すぎて荒れているのではないですか？ 八尾へ統合となれば、通学距離がかなり遠くなり、子どもたちの負担になります。山田に住んでいるから、児童数が少ないから負担は仕方ないということなのですか？ 義務教育を受けることに住んでいる場所によって負担が生じるのは不公平です。 山田に学校を残して下さい。	山田
97	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	地域に学校がなくなるということは、活気がなくなり、ますますの過疎化につながることを思います。 山田地域の存続自体にも関わる問題です。小中学校の存続を願います。	山田
98	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	学校再編は、子供達には、メリット、デメリットが、いろいろあるが、地域住民には、デメリットしかない。 基本的に、統合は反対です。子供の為に、親や大人ががまんするのは、まちがいだと思う。 30年後、50年後、100年後の山田地域を考えていただきたい。真剣に。	山田
99	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	孫が、山田小学校と中学校に通っています。山田に学校がなくなって、他の地に通うとなると、距離が遠くなり時間もかかり、のりつぎになるのか、通学のことで、とても心配です。 保護者は仕事があり、送迎はとてもできません。 何とか、学校を残してもらえないか、願っております。よろしくお願いします。	山田

パブリック・コメント 八尾・山田

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
100	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	・富山市では小中学校の再編計画がなされ、その中で山田の小・中学校が入っていると聞き普段から「子育てを大切に」と言っておられる方々からデメリットの多い方に向いているのはどう言う事かと思います まわりの人達が今まで育てて来た日本古来の郷土愛、近所の人との付き合い方等が育っています。今 学校が無くなり 若い世代の人口流出がおれば この良き伝統が消滅して 人間形成にもマイナスになると思います ■■の住人の人に聞いた話ですが 近所の子供に「おはよう」と言っても返事がないそうです（一部かも知れませんが） 山田の子供達はきちんと返事してくれます これは人間として正しく成長されている一端だと思います。何とか学校を残して下さい	山田
101	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	スキー場の整備計画が一段落したと思ったが、次に学校再編で、山田地域から学校になるとは、非常に残念至極です。 合併以頼、行政機関や関連施設の整備が著しく「さみしい地域」になっていたが、こん回の再編計画で一層拍車がかかると思う。 若い人は、こうした地域に早々に見切りをつけ、学校近くへ移転するだろうし、現に行政手当のないこの地域は、急激に過疎化、限界集落の増加が進んでいる。 学校区は、地域住民の信頼と連帯感がある、一行政単位であり、学校がなくなる事で、こうした事が希薄になる等、山田地域の場合、旧村以来唯一残った「心のより所」であったが、残念でたまらない 行政は整備・・・整理するだけで そこにいる人や、後の振興をなにも行っていない。何のために「住民税」を払っているかと思わざるを得ない 何としても、住民の寄り所である小、中学校を残してほしい	山田
102	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	市は、生徒達の気持を考え検討ほしい 大きな学校になると虐めが遭ったりする可能性がある。生徒の中には雰囲気にも馴染めなく萎縮し勉強に影響が出る可能性もある。 今まで、幼稚園小中学校が近いから生徒間のコミュニケーションも取れていた それが無くなると地区とのコミュニケーションも無くなる。 通学時間も長くなり生徒と保護者の負担も多く成り体調を崩す可能性もある。 小中学校統合に反対します	山田
103	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	市町村合併後 スキー場、温泉センター、行政問題 農協問題等 次々といい話がない今日このごです。今度は 学校の再編等このままでは、今後の山田はどうなるのでしょうか。 私事ですが、学校は残し 婦中道島地区の児童を山田へ難しいことです？ 合併の場合 三月期は、山田で冬期分校とする等 最後に、この案が実施されると 益々過疎化が進むと思います。 関係者 皆様方努力により 残すように宜しくお願いします。	山田
104	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小中の義務教育学校にするとともに、小規模特認校として特色ある学校運営を進めることとし、市内全域から児童生徒を集めて活気あふれた山田地域をめざす。	山田
105	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	山田地域から小中学校が無くなると過疎化がより一層深刻になると思いますので、存続をお願いします。	山田

パブリック・コメント 八尾・山田

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
106	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	今回出された小学校の再編案を見て、私は胸を押しつぶされる思いです。我が家には■■■■と■■■ ■に通う子供がいます。■■■■に通う子供は標準より小柄で（100人並んだ場合、前から■、■番 目）小学校に入学したら「ランドセル症候群」になるのではと心配しています。それが、アップダウ ンが激しく、カーブも多い悪路の山道を、片道30分も通うことが、どれほど子供に負担を強いること になるのか。過酷すぎます。今は朝7時30分に家を出発し、集合場所へ行き集団登校で15分程度で、 八尾小学校より新しく空気のきれいな冷暖房完備の素晴らしい小学校へ通っています。子供を最優 先に考えていただきたい。小規模校に子供に「上質な教育を」と言われるなら、人数を勘案した平等 （国の基準等）な教員配置ではなく、小規模校の子供たちに公平（市の裁量等）な教育の場を与えて ください。 どうぞ、小学校の再編案の再考をよろしくお願いします。	山田
107	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	山田から子供の声がないとさみしくなります。	山田
108	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	子ども達、保護者の負担を考慮すると、山田地域には学校の存続は必要。是非とも残してほしい。 学校がなくなれば、人口の流出により、過疎化になる。未来の子ども達の為にもお願いします。	山田
109	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	山田地域に小学校の存続は絶対に必要。 八尾地域への通学は子供たちに大変な負担になる 子供たちのことを第一に考えてほしい 山田地域の過疎化をすすめてしまうので山田地域への学校の存続は必要	山田
110	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	地域間のコミュニケーションが無くなり。児童自身も通学に時間がかかり学業もたいへんです。今 後、現在行っている小中一貫校として、山田小中学を尊属すべきです。小規模校でも、よいと思いま す。 富山全体としてではなく、単独でも、山田地域として、あるべきと思います。 以上	山田
111	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	山田地域は現在、小中一貫校として児童生徒同志の関係は、とても密であり、職員間の連携の取れ た教育は、他校にないすぐれた所だと認識しています。 他校との統合には絶対反対です。現在の理想の形を取っている状況に対して、一方的な論理で押し 通される意味が理解出来かねます。	山田
112	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	効率化や予算ばかりが優先されて残念でなりません。小さな学校で競争したり、部活動が選べない など、悪い面もありますが、少人数で色んな事に取り組める、仲が良い、いじめが少ないなど、良い 面がたくさんあります。自分も生まれ育った山田村から小・中学校がなくなる事は、大変悲しいで す。子供や親もそうですが、先生方も同様な意見を持っておられるのではないかと思います。働き方 改革等が進められる中で、こういった小規模が残ることも重要ではないかと思います。 通学が長時間になることも心配です。バスでの事故のリスクも当然増えます。 私達のふるさとから、学校がなくならないよう切に願います。	山田
113	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	☆山田地域にとって学校の存続は絶対必要である。 ☆義務教育学校として残してほしい。 ☆小中一貫校として、子供達のがのびのびと育ち、市立図書館も併設している、恵まれた環境を無くす 方向じゃなく、生かす方向に向けてほしい。 ☆限界集落にしないためにも学校が必要である。 ☆マンモス校を増やすよりも、マンモス校から小規模校を希望する人が通学出来る事を考えてほし い。 ☆学校は地域防災の拠点となるので今後の防災の観点からも、学校を無くすべきではない。 ☆地域と密着した小規模校こそ残すべき	山田

パブリック・コメント 八尾・山田

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
114	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	山田地域から学校が無くなると若い世代の人口が減ってしまい、過疎化が進んで地域の崩壊につながってしまう 通学に時間がかかり、児童生徒や保護者の負担が増え、とても不便になるため、他地域への転出者も発生する。 山田地域の存続のためには、学校を残すことは必須であることを改めて認識してほしい。 せっかく新しく建てた山田小中学校をムダにしてほしくない。	山田
115	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	山田地域に学校が無くなると、児童、生徒の通学の負担、保護者の送迎の負担が増える事、地域間コミュニケーションが減り、活気が無くなる事が考えられるので、義務教育学校として学校を存続させる事を希望します。	山田
116	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	・山田地域の学校は、市全体のバランスのある地域振興の観点からも絶対に無くしてはならない。 ・山田地域においては、義務教育学校としての存続が不可欠であり、ICT・外国語・自然と触れ合える教育等、「小さくてもキラリと輝」、山田地域ならではの特徴ある学校としての運営がふさわしいと考える。 ・山田地域における学校のあり方と地域存続の関係性は大きく、非常に重要である。 ・山田地域にとって、学校の統廃合の議論には中山間・過疎地域振興としての観点からもその対策を検討し、講じていくことが重要である。 ・山田地域に学校がなくなると、児童・生徒の通学時間や保護者の負担が相当大きくなることは避けられない。 ・広大な市内の何処に生活していても、特に利便性の悪い中山間地域での居住においても、「住んでいてよかった」と思える市を創っていくべきである。 ・山田地域にとって学校は地域の要・拠点であり、学校統合は地域の存続に関わる非常に重要な問題である。 ・学校が無くなると地域衰退に拍車がかかり、将来、地域がなくなってしまうというを示している。 ・学校が無くなるようでは、「住んでいてよかった」とは到底感じ得られない。 ・山田地域への居住希望が見受けられるが、市の中山間地域振興策としても積極的な受け入れ体制を整備することで、市全体の人口対策にも繋がる。 ・ただし、学校の存続が重要であり、地域に学校があるかないかは実際の転入・転居に大きな影響を及ぼす。 ・山は山なりに、海は海なりに、街は街なりに、それぞれの地域・地区ならではの特性を活かし、脈々と満遍なく地域を振興していくべきである。 ・このような広大で地域性の異なる市における学校統合を、一体的に、一括り的に推し進めるのは無理強いといえる。 ・広大な市の地域性を考慮した施策・対応が重要であり、そのような取り組みが一体感を醸成していくことにもなる。市全体の地域振興の観点からも、山田地域の学校は無くしてはならない。	山田

パブリック・コメント 八尾・山田

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
117	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	【通学時間の問題点】 1. 通学時間が1時間から1.5時間かかると想像され小学校低学年の児童には精神的、肉体的に大きな負担になる。 2. 受験を向かえる中学3年生の生徒には思うような勉強時間が取れなくなり可哀想である 3. 程んとの子供たちはスクールバスでの通学になると思いますが、保護者の方の送迎も有ります。日の長い夏場はともかく冬など大変な負担に成ります。特に雪の多い時など 交通事故等の心配も考えられ家庭崩壊にもなりかねない。 4. 通学時間が長いことから途中でトイレ等の心配から不安な通学になります。 【教育に絡んだ問題点】 1. 先生方は大変だろうが小、中学校で校長先生、教頭先生が兼務、複式学級等 難しのでしょうか。マンツーマン授業も良いのでは 2. 小、中一貫校としてまだ新しい学校です。教育資材、設備も問題ありません。何とか有効活用、PRして学校存続させるよう働きかけましょう。 【社会的現象】 1. 小、中学生の抱える家庭が不便な山田地域から転居することが考えられ若者たちの、子供たちのいない一段と、過疎化が進み 限界集落になりかねない。 2. 自然豊かな、空気のきれいな環境の基で勉強出来る学校の良さをわかってもらえるよう働きかけよう。 3. 住み良い地域造りの為、住宅地の斡旋、地場産業の掘り起し等で若者、子供たちを呼び寄せ賑わいのある地域に、そして生徒数を増やして地域の活性化に繋げたいものです。 以上	山田
118	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	山田地区は自然豊かで多様な暮らし方が出来る魅力的な所だと思っています。だから私も住んでいます。 特に若い世代の皆さんには、学校があることが、住む、暮らす条件にはとても重要なことだと思います。子を持たない私が言うのも心苦しいですが・・・ コンパクトに暮らせる地域づくりを望みます。親も子もおじいちゃんもおばあちゃんも安心して通わせられる学校は、中山間部だから必要だと思います。	山田
119	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	山田は年々過疎化が進み、それに伴い子件の数も減少しているのが現状です。 ですが、それだからこそ小中一貫校とするなど努力してきました。校舎も比較的新しく、耐震性なども問題ないと思います。公共施設の耐震補強が必須となり、古い校舎等の耐震補強費用が財政を圧迫し、やむをえず小中学校の統合も必要ではあると思いますが、山田小中学校はその対象にはあたらないと考えています。 子供の教育を大事に考えていかなければいけないこの時代に、「生徒数が少ない」という理由で遠くの学校へ通学をしいられてはいけないと思います。 子供たちのことを考えるのであれば、地域の学校は存続させるべきだと思います。	山田
120	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	①八尾の山手、旧村が合併後、小学校もなくなり人口も30～50%減となった 山田も再編の中に入らない方が良い 山田にはスキー場、温泉があり、若者の移入 産業の進行等々柵を立てるべきではないか。 ②反面このままでは3～5年後には生徒数は半減することが考えられ、平行して検討すべきではないか	山田

パブリック・コメント 八尾・山田

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
121	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	子どもにとって 山田の子供は皆一緒に大きくなります。小中が一緒なだけでなく保育所の子たちも顔を知っていて関りを持ちながら育ちます。こんなに子供にとって恵まれた環境はありません。人と人の関係が薄くなった今だからこそ大切にしたいです。 山田にとって 山田の人たちは子供が中心になったイベント事によく参加していると思います。子供がいなくなっていくとそういった催しが減っていくと思います。若い世代の転出が加速するような取り組みは山田の元気をうばうことになります。山田にとっては何も利にならない案です。 富山市にとって おそらく、山田の様な中山間地 過疎地への予算を減らして市政をまわす財原をとということかだと思います。理解できますが、山田に人が減っていくことで増える予算はないんでしょうか。例えば、水路の管理など、山田の人がやっているのでは？外部になると、より多くの予算が必要では？新たにやれる予算なども考えるべきかだと思います。長期的な目線で。	山田
122	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	山田から学校が無くなるのは困る。 学校が無くなってしまうと、せっかく戻って来てくれた若い人たちがまた引っこしてしまうと思う。	山田
123	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	中学生の現状の子供達の人数を考えると部活動等に支障があると思います。総合的に考えると統合すべきです。ただ今の時代学校を好きに選べるので そこにこだわらず好きに学校に行かせる 小学生に関しては新しい校舎を廃校にするのはもったいないので校舎を残すという事もふまえて反対 又、低学年等の小さい子が通学が遠いと大変なのではないかと感じます。 統合案は納得する事がありますが何故統合場所が八尾地区なのか。婦中地区（城山中学）や（音川小学校）ではダメなのか？ 保護者の負担を減らしたいのなら婦中地区の方が近いし、利便性や交通の便も八尾より良いのではないか 仮に小中学校統合の場合 空きとなる校舎をどのように活用される予定なのか教えていただきたいです。	山田
124	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	息子は■■■の大学を出て■■■で働いていましたが富山市内で働くご縁をいただき帰って来ました。それから十数年を経て、今は保育所に通う■■人の子供にも恵まれました。湯地内では子供の数も少なくなりそのためか地域の皆様にもかわいがられて育てております。嫁はこの地域に嫁いでくれ、仕事と子育てに努力している最中です。それはこの先もこの地域で安心安全に子育てができるという確心があるからこそだと思います。今、山田で暮らしておられる若い方達は全員がそうなんです。学校がなくなったら、ここには住めないと言われる若いお嫁さんの声も聞きました。 全国には山田小、中学校より少ない児童生徒の学校がたくさんあります。どうして、ここでも小規模でも学校が成立できないのでしょうか。大規模な学校教育だけが教育だとは思いません。こんな時代だからこそ小規模な学校で育つことを大事にしてあげたいと思うのです。たとえ小さな学校でも学ぶべきことは学べると思います。	山田

パブリック・コメント 八尾・山田

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
125	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	○私共の生活する山田地区には学校を設置する事が絶対的に必要と考えます ○私、家族は、40才代でこちらに戻って来ましたが、学校が無くなったとしたら全く考える事は出来ませんでした ○又、学校を無くす事は、その地域の文化を無くす事になり、軽々しく述べる事でないと話された学校教育者の方よりお聞きした事があります ○市広報でも”再編”という用語で出しておられますが、この地域は山や谷で囲まれた地区は統合、廃校であり 平野部の交通網道路事情の良いところは人口の偏りから線引きし再編が出来ると思います。 ○八尾町へとつながる道路はほぼ1本です。災害発生したとき、徒歩で帰宅できる環境も無い事も考えるべきです ○テレワークも発達しつつある今日 小さな学校間で組織替えをして〇〇校舎△△校舎・・・山田校舎というふうにはできないものではないでしょうか。集団授業のときこそバス会社を利用移動で行う考えも出来るのではないのでしょうか。	山田
126	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	先般、報道で富山市より小中学校の再編計画の原案が示され、その内容が新聞に掲載され大変に愕然と致しました。 山田に生まれ、山田に育ち、今も住んでいる山田 我が母校が消滅するといった内容でした。 少子高齢化により山田地域は過疎化が進み、子どもの数も少なく、小中学校の児童数は減少しています。学校児童が少ないから他と統合しろと言われても、その地域はどうなるのでしょうか。学校もない地域に住みたいと思うのか・・・大変疑問です。地域の住民のことをすこしか考えているのでしょうか。地域間のコミュニケーションの低下、地域防災の低下、人口流出により過疎化が一層進むと思います。 こんなことが起きないためにも是非とも存続をお願いいたします。 児童が少ないなりの現在行っている小中一校舎での存続が合理的でよいのではないかと思います。 山田地域を無くさないでください。	山田
127	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	創立以来連綿と続いてきた小中学校が山田地区からなくなるということは地域住民にとって大変なことです。若い人は、子供の通学のことを考え、この山間の豪雪地帯から都市部へ転出することが加速し、集落・地域の崩壊につながる 通学距離が遠くなることは家族全体の精神的な負担にもなる 特に冬期間。 山田小・中学校の存続をぜひお願いします。又、保育所の存続もお願いします。	山田
128	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	山田地区から学校がなくなれば若い子育て世代が地区を離れ過疎化に拍車をかける事になるでしょう。自然が多く子育てには良い環境であると思います。 山田小・中学校の存続を希望します。	山田
129	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	八尾小・中学校の統一は反対です。学校がなくなることはとても寂しいことで山田地域がますます過疎化します。 小規模校（子供達が10人以下）でも学校を残して下さい！ 子供達は自走・生徒が多くいる方が競争心が出ていいのかも知れませんが なにかよい方法で残せればうれしいです。	山田
130	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	山田地域に学校がなくなると通学に時間がかかり子供達の不担が大きい。通学に時間がかかることは交通に対しても、危険や家族の負担が大きいと思います。 子供達とのふれあいが少なくなることにより地域間のコミュニケーションがなくなり、学校の近くに移動する人達がふえ、一層過疎化が進むことになってしまう。 これ以上過疎化が進むと、どんどん山や田畑が乱れてしまう。 現在の山田小中一貫校が残ることを期待したいと思います。	山田

パブリック・コメント 八尾・山田

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
131	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小・中がなくなると若い者が少なくなりかそかが進みますので小中をなくさないでください 冬に八尾に行くのが大変です 村のコニムケイションが少なくなる 残してほしい	山田
132	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小中学校がなくなってしまうということは、この山田という地域の過疎化を加速させるといっても過言ではないと思います。 どうか存続をお願いいたします。	山田
133	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	ただでさえ、過疎化が進んでいる山田から小中学校が地域からなくなってしまうと、今の若い世代は、この地域で子育てしようとは思わなくなってしまう。小中一貫校で、小人数の行き届いた教育で、子育てしていきたいと思って山田に残ろうと思っていた人たちの地域外の流出が進んでしまい、今以上に魅力のない山田になってしまう。	山田
134	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	山田地域から学校がなくなる事は想像できません。 親にとっても児童生徒にとっても、これ以上の通学距離は問題だと思います。 小規模学校なりの良さもあります。問題点があるなら、大人が考え解決していけないでしょうか。 今のまま存続できる様お願いします	山田
135	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	地域の崩壊につながる、小中再編計画に反対致します。 小中一貫校の案を望みます。	山田
136	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	存続をお願い致します。 残してほしいですね。	山田
137	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	・まだ利用できる校舎をなくし、遠くに出来る校舎へ通学させるのは、どうなのか。利用者が少なくなったのであれば、音川校下の中学生を山田校下へ通わせる考えはないのですか。 ・共働きの親が多く、迎えは祖父母。文武両道時代に高齢者への負担を増すような考え方は理にかなっていないのでは？ ・コンパクトシティーを考えておられる方には分かりませんが、R3年の冬は公共交通機関（地鉄バス）でさえ運休。その様な中で、嘱託採用が多いコミュニティーバスの運転手が、子供達を安全に送迎できますか？必ず車掌をつけるのであれば別ですが、予算上、可能なのでしょうか？それとも安全に送迎できるよう、以前の山田村のように、除雪は細まめに行っていただけなのか？ ※全ての予算減より、子供達のことをもっと考えましょうよ。廃校は反対です。	山田

パブリック・コメント 八尾・山田

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
138	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	教育委員会には、まず小中学校が存続する方法や在り方を考えることを第一優先としていただきたい。 すべての子どもたちが通学に一時間半かかるわけではないと思うが、通学時間が長くなることは間違いのない事実。子供達の貴重な時間が削られ、学びの質が落ちる結果となることだけは避けて欲しい。 特に小学校においては山田地域の歴史文化、住民活動を交えた学習を積極的に取り入れ地域交流の一環にもなっている。地域の目の届く環境は双方にとって重要。 新聞記事でも元教員の方がコメントなさっていたが、小規模校にも大規模校にもそれぞれ良さがある。多様な在り方が認められるべきで児童生徒数と教育の質は比例しないと考える。 長い目で見たらいずれは、こどもの数減少に伴い、再編計画を検討する時期は来ると思うが今ではないと思う。今回の再編計画も急浮上した感が否めず、地域住民が議論する時間が十分確保できたとは思えない。 5年後くらいに再検討の機会を設けてはどうか。 再編案についても山田全小中学生が八尾小中学校に通う前提となっているが、各地域によっても通学の利便性が変わる。通学先の学校は形式的な統一案ではなく柔軟な選択肢を取り入れてもらいたい。	山田
139	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	山田小中学校をぜひ存続させてください。 小規模校には魅力がたくさんあります。 私の勤める会社は、社員数は多いですが少人数でチームを組んで仕事をします。 年齢関係なく、自ら考え、自分の考えをしっかり主張できる人材を求めています。 小規模校では、一人一人が主役です。授業中の発言機会が多く、運動会や発表会の出番も多いため、待ち状態になることが少ないです。自分の考えを発信できる子が多いと感じます。私は大規模校出身です。運動会や発表会の練習時は待ち時間が長く、暇を持て余していたことを覚えています。セリフは毎年一言だけ。全員が一言ずつ喋るだけで授業が終わるからです。 小学校では特に、地域の方々や学校の先生から大いに認められ、見守られている実感を持たせることも重要だと考えます。 山田では子どもたちの通学路にはいつも声をかけてくださる人が何人もいます。日中仕事で家にいない私たちに代わって見守ってくださるのでとても安心です。学習発表会でも、山田で精力的に活動されている方々に子どもたちがインタビューし、その様子を劇で見せてくれました。同じ地域に住む人たちの力強さが子どもたちにも伝わっています。 子どもの数が減少していることもまた事実です。近い将来、統合してほしいという意見が出るかもしれません。 今は小規模校の魅力をとても実感しているので、ぜひとも存続してほしいです。 もし今後、統合を考えるとときは、多様な選択肢を残してください。山田は広いので、八尾だけではなく、婦中の方が利便性の高い家庭もあります。地域外の通学は保護者の協力が不可欠だと思いますので、少しでも負担が減る方法をご検討ください。 最後に、再三のお願いになりますが、小中学校をぜひ存続させてください。お願いします。	山田

パブリック・コメント 八尾・山田

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
140	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	今回、富山市から示された小中学校再編案は到底承認できません。反対です。 山田小中学校を義務教育学校として存続して頂くよう強く要望します。 八尾地域への編入は、通学時間や保護者の負担増、更には地域の衰退を加速させるといったことも大変大きな問題となりますが、そのことと併せ、教育関係者としてもっと考えて頂きたいことは、小規模校には、大規模校にはない教育環境や教育活動の魅力があるはずだ、ということです。 小規模校として、総合的な教育の資質向上の可能性を見出し、中山間地域にある自然の中でその魅力を十分に発揮し、少人数でも上級生や下級生と共に切磋琢磨し、一人一人が生き生きと行動できる教育環境を整備することが、多様な人間味豊かな人を育て、厳しさを増す社会の中で適応していくための、教育としての一つの方向であると共に、これからの教育に必要な社会的にも求められものではないかと考えます。 富山市教育関係各位には、数の論理による画一的・効率的・省力的発想ばかりでなく、逆に小規模校で少人数であっても、少人数ならではの目の行き届いた魅力ある教育方法の模索と、地域に適應した教育環境を構築すると同時に広く発信し、大規模校の児童や生徒、保護者家族からも羨まれるような学校を目指し、更には市内他校や県内外からも編入したいと思われるような教育実績を積み上げ、森市政における富山市のコンパクトシティ構想と同様に、藤井市政におかれましても、全国や世界からも注目されるような、素晴らしい中山間小規模教育構想を創り上げて頂きたいと願っております。 終わりに、自身もこの地域で生まれ育ち、現在とそれ程大きく変わらない教育環境の中で■人の子育てをしながら生きて参りました。そのような中でも、せっかく地域に根付いてくれた長男・長女夫婦と小学生・未就学児の孫■人を持つわが身としては、今、小中学校を無くすという本再編案は時期尚早で、まだまだやるべきことがあるはずだ、と考えております。 藤井富山市長をはじめ、富山市教育関係各位には是非再考をお願いいたします。 以上	山田
141	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	今回の再編案の山田地域から学校がなくなる案には絶対反対です。 山田地域から学校が無くなることは、山田地域がもっと衰退することになると思います。又 山田地域自身 方々から集まっており、八尾小学校への通学は30kをこえる生徒、児童もでできます。又、大規模校への統合は” いじめ” の原因にもなると思われ、どうしても避けたいです。 長男夫婦が私たちの隣、この山田地域に家を建て、現在孫が■人山田小学校に通学している私としては、この山田地域に小中一貫校として存続を希望します。	山田
142	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	山田小・中学校の存在が出来れば一番良いのですが、再編統合となると、子供、親に負担が無いよう万全の対応をお願いします。 再編で、子供、親が学校に行き、行かせられなくなるのは本末転倒になるので、当事者の事を考え、負担のない心の対応を宜しくをお願いします。	山田
143	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	今さらと思いますが、根本的に人口の減少、若者達がどんどん下方へ出ていき、年寄りだけが残っている状態になってしまふ。又、役場へ行っても職員も少なく、ついている電気も少なく、ほんとうに暗い状態です。これでは、ますます山田に魅力がなくなり、下の方へ出て行ってしまいます。 まして、小学校、中学校も再編統合となれば、ますます過疎へと急変しかねません。せめて小学校だけでも山田に残せないでしょうか。 山田にも八尾のように企業なり大山のように大学とかがあれば人も増え、それによってスーパーも出きるかな夢物語ですね。 田も荒れほうだいになってしまう。	山田
144	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	山田小・中学校は地域住民の心の支えである。学校がなくなれば、通学距離が長くなり、子供や親に大きな負担となる。この為、子を持つ若い人達の地域外への転出にもつながり、山田地域の衰退に一層の拍車がかかる。	山田

パブリック・コメント 八尾・山田

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
145	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	中学校、小学校が山田地区から無くなり、教育環境が悪化すると、保護者の送り迎え等の負担及び経済的な負担も重くなり、山田地区の若い世帯が教育環境の良い地区へと山田地区から出て行き、山田地区から今まで以上に若者が居なくなり、高齢化が加速的に進む事が考えられる。 高齢者も運転免許を返納せざるを得なくなり、山田地区では生活が出来なくなり必然的に生活の出来る所へと転居せざるを得なくなり、山田地区から出て行く事になる。 将来的には山田地区に住む人が居なくなり、荒れ放題に成る事が想定される。 以上のシナリオに成らない為にも中学校、小学校は存続する必要が有ると考えます。	山田
146	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	山田地域の学校統合の問題は、教育の問題だけでなく、山田地域の存続にかかわる重要な問題と考えます。 山田地域の場合は、市町村合併前から地域の重要なコミュニケーションの場であり、地域住民の学校に対する思いは旧市内の住民の方々より強いと思います。 現在は小中一貫校として整備され、小中学校の連携の取れた教育が行われ、小規模校ならではの良さもあり地域とのコミュニケーションも図られています。山田地域から学校が無くなることは、保護者や子供たちの負担が増えるだけでなく、若年層の流出が増加し、山田地域の過疎化に拍車をかけることにつながり、市の財政事情により切り捨てられるとの思いも強くなると思います。 山田地域には学校が必要です。通学が不便な山田地域、重要なコミュニケーションの役割をになう学校を存続していただけるよう要望します。	山田
147	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	山田村が無くなってからは地域の活性化が消えてきています。今回の富山市立小・中学校再編案の中で山田地域から学校が無くなってしまいますと、更に活性化がなくなり消滅集落が進んで行く事が確実に見えてきます。富山市こどもの村がある山田地域から学校を残し、今あります小中一貫教育を有効に活用して頂きたいです。 山田に近い地域、又は遠距離通学の募集をして生徒数を増やして山田地域の学校を残して頂きたいです。 山田地域から学校が無くなりますと若い世代が子供を考えると学校がある地域へ引っ越してしまいます。高齢者だけが残り、人口の減少を加速させない為にも、ぜひとも山田地域に学校を存続して頂きたいと宜しくお願い申し上げます。	山田
148	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	地域にとって学校というのは、大切な財産です。学校があることで行事に関わったり、生活科や総合的な学習の時間で関わりが生まれたりします。子供たちにとって、自分の地域への愛着が深まるきっかけを作るのも学校です。その大切な学校がなくなると、若い家族が子供の学校を求めて、地域から流出して行ってしまいます。 子供たちにとって、小さな規模の学校は決して悪いものではありません。学習については、きめ細やかな指導を受けることができます。また、多人数の場で学ぶ機会は高校という場があります。また、中学校でも、富山市内なら希望すれば、地域外の学校へも行けます。 このようなことから、是非、山田地域に小中学校を残していただきたいと、切に願います。地域は、学校にいくらかでも協力できます。	山田
149	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	私は、山田地域から小中学校が無くなることに反対です。 通学距離が遠くなることも時間がかかることも、子どもや保護者の負担が大きく、デメリットしかありません。 また、利便性を求めて地域外へ転出することになれば、過疎化が進みます。生活の基盤を地元に置きたいと考える子世代、孫世代のためにも学校を残すことは必須だと考えます。	山田
150	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	・私の地区は八尾まで距離は近いので通学にはあまり変わらないと思いますが南部、西部地区の生徒さんや保護者の負担が大きく成ります。 ・冬期間はその負担が2倍3倍に成ります。私は妻と■人暮らしで■■■■■■■■■■最終的には児童生徒の意見や意思が一番大切だと思います。	山田

パブリック・コメント 八尾・山田

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
151	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	だんだんと若い人達が、町の方へ出て行って、家を建て、自立している今日頃々です。だから学校の生徒数が少なく、見ていてかわいそうになる位です。子供にとって人数が多ければ、それなりに競争心もわくし、良い事だと思います。学校が、きれいで、小、中学校の一貫校で、何か利用できればいいのだけど。近くの学校の統合で、山田に来てもらったら良いのに・・・・。	山田
152	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	◎通学距離が遠くなり、1.5時間かかる 冬期、特に降雪時2時間以上になる ◎学校が無くなれば、若者が定着せず、老人達も山田を出て行き過疎化が進む ◎保護者の負担が増すと共に子供達も想像以上の負担がかかる。又、通学バスが運行されても、高学年、中学生になると、クラブ活動や進学等の学習で帰宅時間がまちまちになり、バスの確保が得られず 父兄や家族が毎日送迎しなければならなくなる。 この様な事から、再編審議委員の方々は、現地査察等をしての案ですか？ただの数合わせ、市議会議員がいらないから良いだろう等の単純な考えからでは？ 案には、強く反対致します。	山田
153	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	山田の里山から子供達の笑声が消える 時代の流れとは言え淋しい限りです 又過疎化も進むでしょう 何卒、存続をお願い申し上げます。 八尾小との統合との事です 現在の八尾小の立地状態を御存知でしょうか。敷地は狭く、駐車場も狭く小学校に至るまでの道路も狭く複雑、怪奇、何卒再考をお願い申し上げます。	山田
154	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	地域から学校がなくなると ますます、人口流出が進み過疎化していく。 子供の通学距離が遠くなり、児童保護者の負担が大きくなる。 今ある校舎もまだ新しく小中の学校も同じ建屋の中にある為 小中一貫校として続けてもらいたい。 八尾小学校と八尾統合中学校との再編には反対です。	山田
155	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	八尾小学校の分校として山田小学校を残す事は出きないのでしょうか。 中学校は、遠距離通学の子供達の家が必要と思うのですが、要望していないのでしょうか。	山田
156	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	統合 山田の将来を考えると絶対反対	山田
157	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小中一貫の設備の整った校舎があるので、将来の子供のために毎日の通学が不便になる統合はやめてほしい。 山田小中学校の良さを地域外にアピールして、他の地域外から山田に通ってもらうようにしたらよい。 どうしても残せない場合でも 分校として残し、子供たちが山田地域に愛着を持てるようにすると人口減少も抑えられると思う。	山田
158	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	今は通勤の都合で■■■■■■■■園に入っていますが卒園後は通学時間が短い山田小中学校に入学させたいと思います。	山田

パブリック・コメント 八尾・山田

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
159	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	大変難しい問題ですが、これから増々子供が少なくなっていくと思います。でも今現在、通学している子供、親の負担は大変になるのは確実です。なるべくなら地元の学校は無くしてはいけないと思います。中小一貫校と言うのもめずらしく、環境も良いので、よそから子供を呼び込むと言う事も出来ると思います。しかし、子供が少ないと高校に行った時に問題になる事も有るのでそこが心配です。なるべく残して下さい。	山田
160	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	地域に学校が無くなると若い人が世代が住みつかなく、にの足ふむと思う。淋しい老人は思う。保護者、子供達通学に負担。時間的にも山田地域、せつかく新しい学校、山田の学校。学校と地域のつながり。自然に恵まれている山田 人口が減り過疎に。みりょくのない山田にしないで 新しい校舎が泣くでしょう	山田
161	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	山田地域の小中学校 存続を支持します。再編統合 反対！	山田
162	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小学校や中学校が統合する事になると通学や、子供達や保護者の負担が大きくなる。通学に1時間以上かかる事になると 子供自身のストレスにもなると思う。冬期間ば通学はどうするのか？地域との交流も少なくなり、コミュニケーションがとりづらくなり、過疎化になる要因になる。現状維持のまま、小中学校 存続して頂きたく協力できる事は、したいと思います。	山田
163	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	山田の将来の事を思うと最低でも小中一貫校であるべきである	山田
164	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	山田小・中学校の再編については現状の1クラス10人程度なので、再編の議論が出て仕方がないと思いますが、遠い所からの通学は大変だと思います。なるべく残してほしいのが現状です。	山田
165	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	私は■人の子供がいます。■人は、保、小、中で山田で育ちました。少人数だったけど先生方は1人1人見ていただいて本当に良かったです。PTAも皆で協力して学校をささえてきました。今、学校が無くなるのかざんねんです 反対です。このまま、山田保、小中を残してほしいです。山田、保、小中でまなんで、今は元気でいい所に行っていっています。保、小中、山田に本当に残して下さい。子供のまごも山田にもどってほしいです。その為 山田小、中、残して下さい。お願いします。	山田
166	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	現状の山田小中学校のありかたを考えると、一貫校にならざるとしても仕方ない事と思いますが、それをさらに婦中や八尾と統合という方針は、いかがなものかと思います。通学時間や保護者のさらなる負担が大きくなり、それが地域の人口減少にも、しいては人口流出の引きかねにさえなりうる事と重く受け止める事と私は思います。また、色々の教育問題も多い、近年、統合というイベントは、あまり良い考えではないのではなかろうかとすら考えます。市の教育委員会の方々におかれましては、山田のゆくすえや、その他の事にもう一度考え直して頂きたいと思い意見を書かせて頂きました。	山田

パブリック・コメント 八尾・山田

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
167	11/15	持参	再編計画に利害関係を有する者及び法人その他の団体	先月10月15日学校再編計画案が示されましたが保護者、地域住民から原案に対する否定的な声、意見書を多数頂いております。 計画案の内容は家庭内、子供達に困難を与えるだけでなく地域社会の崩壊に繋がりがねません。学校が地域社会の核としての性格を有する事を踏まえ保護者や地域住民の十分な理解と協力を得るなど丁寧な議論を行うことが重要だと思います。 これから保護者、地域住民一丸となって小規模校のメリットの拡大、デメリットの克服を考えながら学校の存続を懸け運動を続けていく所存でございます。	山田
168	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小中一貫の義務教育学校として、現校舎で勉強できることが一番だと思います。諸般の事情により、やむなく再編（案）の道が選択されるとなれば、山田の子供たちと保護者の皆さんにとって安心、安全な通学環境を整えておく必要があります。さらに、この機会を地域社会の衰退につなげてはならないと思います。変革をチャンスと捉え、逆に山田に人を呼び込むために、持続可能な魅力ある環境を整備するのもいいのではなかろうか。 ◎具体的に、現校舎に公立図書館を維持【富山市民プラザ別館として活用】する内容 ①富山市生涯学習交流センター（発表会等） ②富山市デジタル社会学習センター（端末機器の正しく健全な活用講座） ③富山市民工芸美術研修館（陶芸、ガラス、創作人形、木工等） ④山田地区小中学生冬期及び気象災害時等臨時リモート教室（自宅受講可） ⑤貸会議室（地域団体等）	山田
169	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	小・中一貫校ではなぜいけないのか？ 統合して通学時間が長くなれば小学校低学年には負担も大きく、中学生は部活動もできなくなるのではないのか？校内でのいじめにも拍車がかかるのではないのか？ 又、地域に学校がなくなれば、一層過疎化が進むことは目に見えている。 学校に電気がつき、先生方の車が並んでいて、子供達が歩いて学校に入る、バスから降りてくる、そしてチャイムが鳴る！この光景は何物にもかえがたいものです。 私達の生活、楽しみ癒の場を残して下さい。	山田

パブリック・コメント 八尾・山田

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
170	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	山田地域の住民に笑顔と元気を・・・ 「富山市立小中学校再編計画」に対する再考とお願いについて 私はここ山田に生まれて、山田に育ち、山田をこよなく愛し、やがて、ここ山田で命を全うするであろう当年■■■歳の一住民であります。 山田地域の住民に笑顔と元気を取り戻したい！そんな思いで今、筆を執っております。 平成十七年の四月に平成の大合併が施行され、当地区（旧山田村）も現在の富山市として生まれ変わりました。一市民として、期待と希望を持ってスタートしてから、もう二十年の歳月が流れました。合併してからのこの二十年、合併はここ山田地域に何をもたらしたのでしょうか？それは失うものがあったても、得るものがなかった二十年でありました。既存の公共施設の見直しに始まり、存続から撤退へと方向性が打ち出され、ここ山田地域も多くの施設の存続が問われ、失われようとしております。より効率の良い財政規律を求めて施策がなされ、その政策が中山間地区に与えた影響は計り知れません。 コンパクトシティの政策の基にかじ取りがなされ、中山間地区への政策は置き去りにになりました。ここ山田地区は基より、山間地域の環境が大きく変わりました。このような山間地域は、行政と地元住民が一体となって初めて豊かな生活基盤が造れます。そして、行政の強い指導と支援がなければ生活の基盤が造れません。 そんな折、先月富山市において小中学校の再編協議が行われ「再編計画の原案」が示されました。そのことが新聞で報道され「ここ山田地域から小中学校が無くなり、八尾の小中学校に再編統合する。」という内容でありました。その報道は、我々山田地域住民にとって信じがたい驚きの報道でありました。 私達住民にとっては、最後の牙城が打ち碎かれる思いであります。長きにわたって築いてきたこの地域の生活、文化、歴史の根底をなす学びの小中学校が無くなるということは、死活問題であります。単に、財政規律、効率的な学校運営から再編協議がなされた。とするならば、この地域に生じる様々な問題を考えた時に、図り知れない問題が生じます。まず考えられるのは子供たちの通学路であります。当、山田地域から八尾小中学校への通学となると一番遠いところで一時間三十分もの時間を要します。こと冬期期間の通学を想定すると低学年の児童や父兄の負担は想像を超えたものになります。また、通学にあたってコミュニティバスや学童バスが定期的に運行される事になっても児童、生徒たちの帰宅時間はまちまちであって、特に高学年の子供たちにおいては、クラブ活動や進学に伴う学習で帰宅時間が遅くなることが予想されます。。帰宅に伴うバスの確保は容易でないと思われます。家族、父兄の皆様は毎日送迎をゆだねるということは不可能であります。このように通学が容易でない状態が続くと、おのずとこの地を離れて市街地に移住するという人口の流出に拍車がかかり、過疎化が一層進み、より深刻になります。この地域の崩壊であります。 現在の小中学校は平成の合併に先駆けて建立された校舎であります。先代の方々の子供の教育に対する強い思いがここにあります。また、富山市においてもまれな小学校と中学校が一つの建屋の中にある小中一貫校であります。小規模な学校であるが故の良さもこの学校にはあります。 私たちの置かれたこのような実情に、今一度、学校統合再編計画の示された原案を再考されますようお願いする者であります。 今、地域は疲弊しております。合併前のようなあの活気は無くなりました。その要因は何だったのでしょうか？合併に伴って、以前は行政と地域住民が一体となって地域造りがなされてきましたが、今日それがなくなったのが大きな要因です。 今、この地域か住民の笑顔が消えました。かつては、どこにいても住民の笑顔が見られました。年老いたおじいちゃん、おばあちゃん、・・・そして、今は小さな子供たちすら笑顔が消えようとしております。 私は、ここ山田地域において十数年に渡って山田小中学校の教育の振興のお世話をさせていただいておりました。この地域の笑顔を取り戻したい！後世にこの山田を残したい！そんな私の一心の思いと願いをお伝えします。	山田

パブリック・コメント 八尾・山田

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
171	11/15	持参	市内に在住、又は通勤・通学している個人	まず、始めに富山市教育委員会が策定した基本方針について、①だれが策定したか？（小学校12～18学級・中学校9～18学級で1学級少なくとも21人以上）これは瑕疵が前提にあります。 「当事者の予想する完全性が欠けている」生徒数や学級数がすべてではないはず。過疎地域における学校統合・廃合後の細入・山田・小見地区の歴史や伝統の継続性の重要性がなくなります。単に画一的に他県の教育委員に横並びの発想力で進めていないでしょうか。地域の伝統や歴史的な行事は子供が主力な面が多くあります。再編→人口減→行事中止のスパイダルが加速します。過疎になったので大きな学校に統合する…なんとなく正論のような錯覚になる（教育の特に得意とする数字的思考）で処理されては、何百年の神社・寺の行事・お祭の伝統など心配です。これからは多様性の時代だと思います。複式学級は「悪」ですか？多分再編により「いじめの巣窟化した大規模校で小規模校の生徒はいじめの対象になります。過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法があったかと思います。 そっと、いままで通りに残して下さい。 地域が反対しているのに「公務員の職務の（人事の為の）点数をあげる必要はありません」よろしく対応願います。	大山 山田 細入

パブリック・コメント 婦中

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
1	10/16	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	古里小学校は令和5年度150年を迎える歴史ある小学校です。裏には千坊山もあり自然と共に子供たちも生活しています。少子化のため仕方ないとは思いますがこの歴史ある小学校は残していただきたいと思います。	婦中
2	10/16	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	新聞発表を見ました。朝日小学校に通っていますが、小規模特認校で大変有意義な学校生活を送っている中、小学校の段階で早めに大きな速星小学校に統合されるのが残念です。通学手段、通学路の安全性、放課後学童保育、統合後に不登校等適応できなかった生徒への配慮など、これから課題に取り組み、完了後に統廃合の実施をお願いします。大切な子供を通わせている対象校の保護者への説明義務は重大です。	婦中
3	10/22	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	再編賛成です。現在規模の小さい学校に通学していますが、友達が少なく遊びの幅が狭いです。また、周りの小さい学校の子供を見ていると、1度合わないとなると友達を選べず復学は厳しいと感じます。 地域が特認校として残す努力をされていますが、不登校になった子や他と交わるのが難しい子が集まってきて、地域の子供達の為にはなっていないと思います。特認を利用して来られた児童の対応に追われ、先生たちも今まで通りにはいなくなっているように感じます。何の為の、誰の為の特認校なのかと疑問です。 しかしながら、不登校やコミュニケーションが難しい子、そういった子には何かしら対応できる場所があったほうが良いとも感じます。	婦中
4	10/22	メール	市内に在住、又は通勤・通学している個人	私の住んでいる小学校は、6年前は全校児童40人台と小人数の学校でした。原因は、地区全体が優良農地として市街化調整区域に指定され、農家住宅以外の住居が増えず、50年近く世帯増、人口増は全くなく高齢者は増え、就学児童は年々減少300名の児童は10分の1近くまで減少しました。 10年前に地域の発展は小学校の児童を増やすことから始まる、小学校は地域の核、児童の声は地域を活性化するのものと、小学校の児童増を目指し数々の取り組みをしてきました。団地誘致・空き家を調査し、他地区からの住人を求めてきました。若者へ婚活を進める「おせっ会さん」の設立。50世帯集落から50m以内の農地を宅地に住民の協力を得て、他地区からまた、分家住宅として増えた世帯数は20世帯を超えました。 また、小規模特認校として指定も受け、設置後、地域ミニ放課後児童クラブも地域の方々の協力で支援員も集まりもう9年近くになります。小規模特認校として、小規模ならではの教育活動を学校と一体となって進めてまいりましたおかげで、来年から70名以上と10年で30名増え、今後未就学児を数えると90名近くになる事になるでしょう。 近年、不登校で30日以上欠席した児童は全国で19万6千人、富山県でも平成19年より114人増え1,865人と5年連続で増えています。コロナで生活のリズムが乱れやすくなったこと、学校生活に息苦しさを覚えた児童が増え、人間関係を築きにくくなったり、孤独感や不安、ストレスを抱え登校する気力を失った児童が少ないと思われます。 私は、富山市に一校ぐらい小規模特認校としての小規模ならではの生かせる教育の場が必要と思われる。他地区から入校された児童はすすくと卒業されています。保護者も児童が必要とされる小規模の学校が一校是非残し、弱い人に優しく寄り添える施策として生かしてほしいです。	婦中
5	11/12	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	婦中地域・朝日小学校が速星小学校と再編となっているが、資料では、H7・H12では大規模で通学距離も半数以上が3kmを超えることから適正とは言えないのではないかと。また、朝日小学校はH29.4から小規模特認校に指定され、当時の40人から現在61人（地区外から15人）と地域住民の協力と行動により分家住宅の増や地区外からの移住など成果が徐々に出てきており、H4には複式学級もなくなり約70人となる予定である。やはり、大規模校に馴染まない児童がいるのも現実あるなか、この小規模特認校での教育・特性・環境が十分に発揮されるものと考えます。是非とも、富山市のほぼ真ん中である平地に小規模特認校があってもいいのではないかと考えています。どうか、通学区域審議会で現状況などについて提案願います。	婦中

パブリック・コメント 婦中

No.	受付日	提出方法	属性	意見	意見の地区
6	11/14	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	私が住んでいるところは幸いにも再編対象ではなかったのですが、過疎地域で再編対象となってしまう住民は可愛そうだなと思いました。特に小学校は地域文化の伝承という意味でもなるべく存続させるべきではないかと思います。近年は、コンパクトシティ政策で、総曲輪や駅北を整備しておられるようですが、郊外や山間部は恩恵が薄いというのが実情です。しかし、都市部が賑わって税収が増えれば、その財源を郊外や山間部に回せるという市の説明を受けて、郊外や山間部の住民は我慢していたのではないかと思います。しかし、その我慢とは裏腹に、小学校を統廃合という結果に陥ったのはとても残念ではないかと思います。それなのに、申し訳ないという姿勢が感じられず、「適正人数のほうが学習の質が上がる」とあたかも良いことをしているかのように振る舞っていたのには、いささか疑問を感じます。 ここからは、具体的な再編内容の話です。私は、婦中地域に住んでいるのですが、朝日小学校が児童の割に校舎が広く、設備維持費が余計にかかっているように思えます。そこで、同じく朝日小学校校区にある安田城跡資料館を朝日小学校の移転することで、設備維持費が減らせないでしょうか？資料館を小学校に併設することで、教育的に活用できるという効果も期待できます。また、速星や鵜坂校区の希望する児童は朝日小学校に通学できる制度があってもいいかもしれません。素人考えなので、うまくいくかはわかりませんが、検討のほどお願いします。	指定なし 婦中
7	11/15	入力 フォーム	市内に在住、又は通勤・通学している個人	富山市教育委員会事務局 学校再編推進課 御中 お世話になります。〒■■■■■■■■■■富山市■■■■■■■■■■に住んでいる ■■ ■■ と申します。現在朝日小学校に子供が通学しておりますが10月に発表された婦中地区婦中地区小中学校再編原案を確認したところ朝日小学校が速星小学校に統合される案となっております。現住所から速星小学校までは3キロ以上あり小学生が徒歩で通える距離ではありませんし、通学路も整備されておらず到底受け入れられる内容ではないので再検討をお願い致します。 また朝日小学校は小規模特認校として他校区からの児童を受入れしていますが速星小学校に統合された場合、特認校制度を利用し朝日小学校に通っている児童についての扱いも気になります。来年度も特認校制度を利用して入学する予定の児童がいるようですが入学したものの地元の小学校に転校せざるを得なくなるのではないのでしょうか？敢えて小規模校がよいと理由で朝日小学校に他校区から入学された児童にとっては速星小学校に統合されて大規模校に変わるのであれば、朝日小学校に入学させることはなかったということになると思います。 以上現在の統合案では通学距離が3キロ以上になって通学が困難である点と小規模特認校制度を利用して朝日小学校に通っている児童の扱いについてどうするかの2点について明確な対応案が提示されない限り、現行の再編案を受け入れることは困難です。以上ご確認のほどよろしくお願い致します。	婦中